

HYCUマルチクラウド・データ保護

ハイブリッド・クラウド環境に最適なデータ保護とモビリティを実現



V5.3.0

2026年8月9日



アジェンダ

1. 座学
2. 基本構成
3. HYCUサーバーの準備
4. 簡易ヒヤリングシート
5. バックアップコントローラーの展開
6. インスタンスの展開
7. HYCUの運用
8. アップグレード（バージョンアップ）
9. アップデート（修正パッチ適用）
10. セルフサービス

HYCUとは

俳句から社名を付け、俳句が短い詩の中で心象を伝えるように、HYCUは容易な構築・操作の中で優れたデータ保護（バックアップ）を提供します



- ✓ 2015年創業
- ✓ 28年以上の製品開発の歴史
(15-20のバックアップ/監視製品の開発請負い)
(製品提供開始後、HYCUとして分社化し、2018年設立)
- ✓ 100%チャネルビジネス（間接販売）
ディストリビューター経由での提供
- ✓ 2022年6月に\$53Mの追加投資を受け、
合計\$140Mを調達し投資ラウンドシリーズBへ

HYCUの価値：各プラットフォームに最適保護サービスを提供

運用負荷を低減するシンプルで容易な操作、機能連携、エージェントレスが特徴

オンプレミス環境：製品で提供

HYCU R-Cloud Hybrid Cloud Edition

- **Nutanix環境**
- VMware環境
- Hyper-V、Azure Local環境
- XenServer環境
- ファイルサーバー
- 物理Windows
- 物理Linuxマシン
- アプリケーションの保護

クラウド：SaaSで提供

HYCU R-Cloud

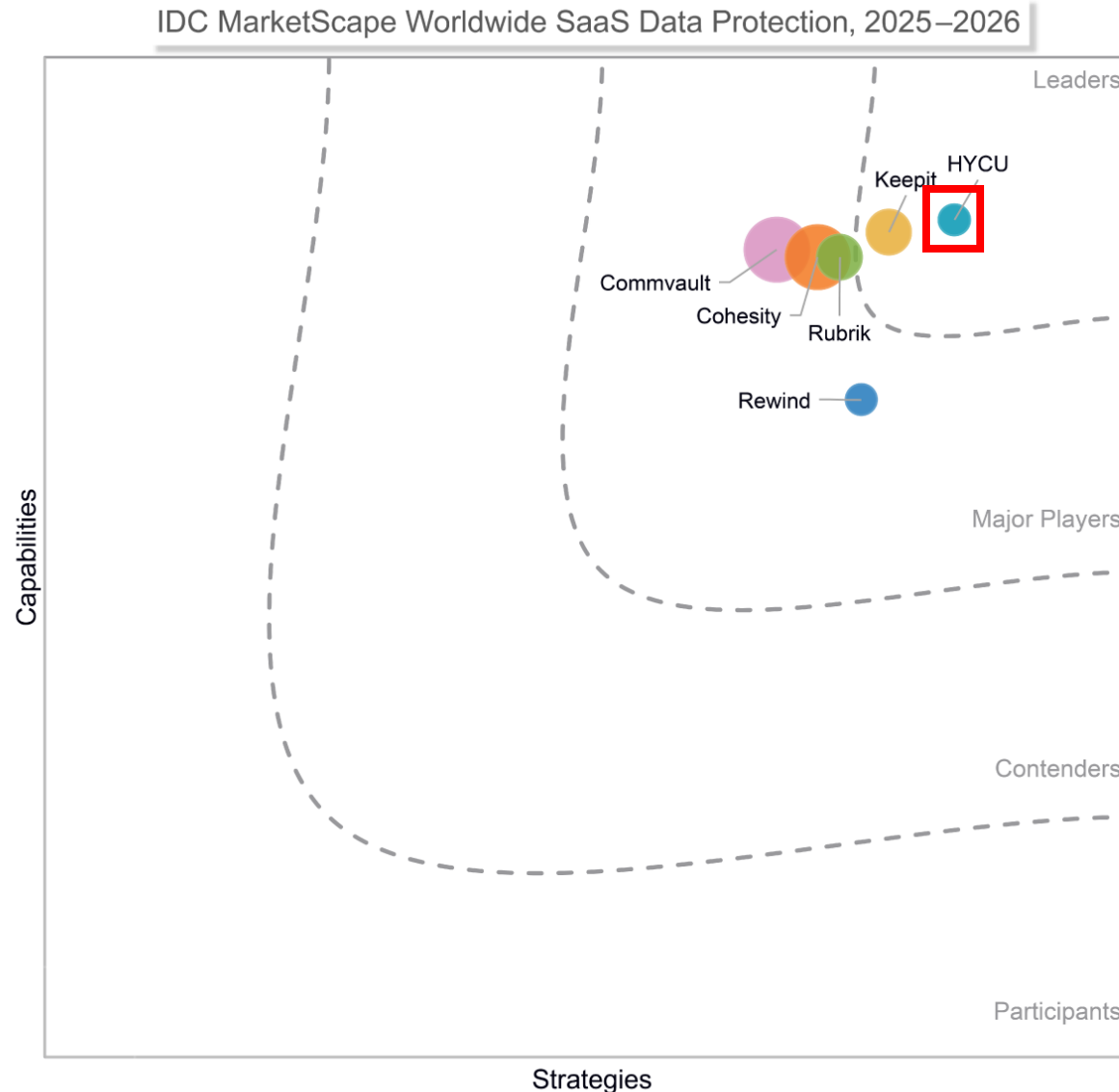
- Microsoft 365
- Google Workspace

HYCU R-Cloud

- AWS, Azure, Google Platform
- EntraID等のSaaSバックアップ

例：Amazon RDS, Atlassian Confluence, Atlassian Jira, Google BigQuery, CloudSQL, Okta, Salesforce

Leader in the 2025 - 2026 IDC MarketScape for SaaS Data Protection

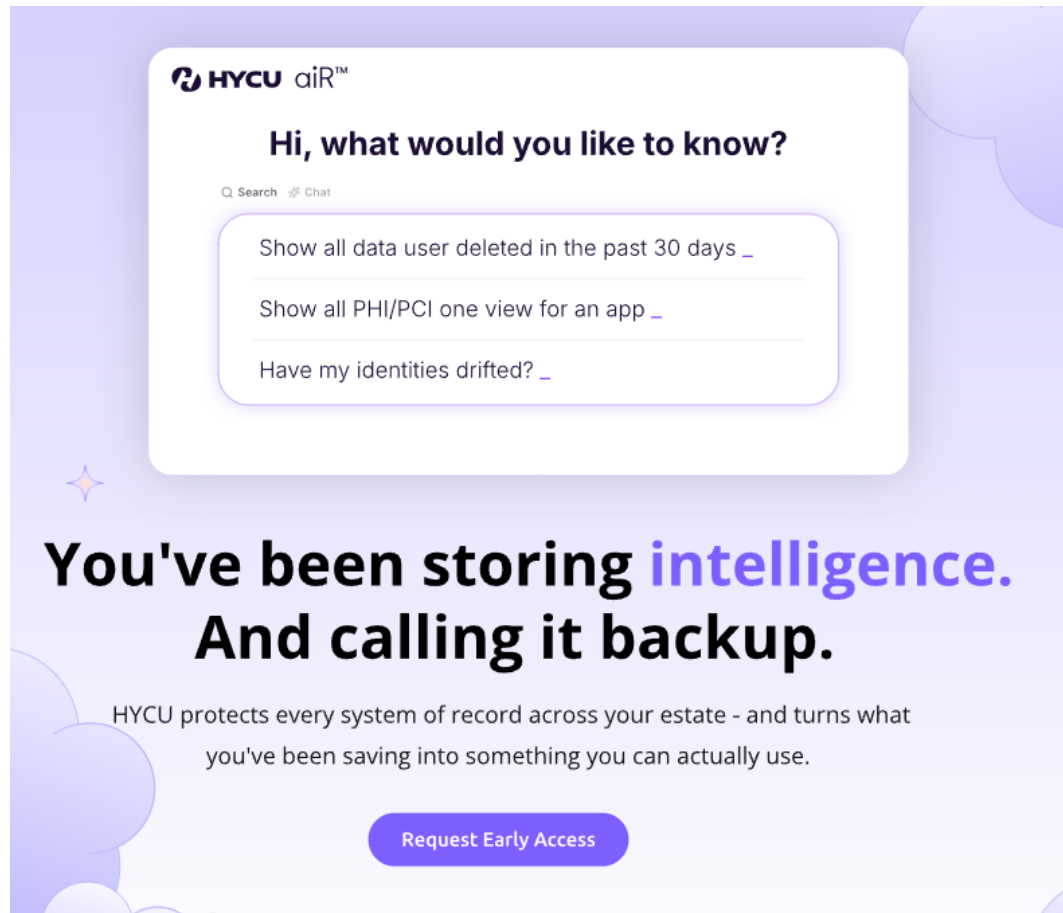


IDC MarketScapeとは、IT業界の調査会社である IDCが発行するベンダー評価レポート。特定分野の製品・サービス提供企業を「現在の能力」と「将来戦略」の2軸で評価し、競争力を可視化

横軸：戦略（将来性）
縦軸：能力（現時点の実力）
円の大きさ：市場シェア

HYCU aiR を発表し、AI時代のデータレジリエンスへ

データは「守る」だけでなく、データ利用の「リスク把握」と「安全活用」の時代へ



HYCU aiRとは：

AI Resilienceの意味で、バックアップデータを“保存するだけ”ではなく、AIで分析・検索できるようにする新しい機能/プラットフォーム。

自然言語検索：

- Salesforce と M365 のバックアップ内に個人情報が含まれるファイルを探して
- 過去90日で Okta 権限変更があったユーザーを教えて
- AIエージェントがアクセスした顧客データを確認して

主な特徴：

- バックアップデータを横断検索
- PII/PHIなど機密データ検出
- Insider Risk（内部不正）
- 分析Identity Drift（権限変更追跡）
- AIエージェント活動の可視化
- SaaS/クラウド/DevOps/DBを横断分析

座学

HYCUの優位性

- 競争力のある価格体系
- 事前構築した仮想アプライアンス型バックアップサーバーにより、環境構築に伴うリスクを抑制し、バックアップ基盤のセキュリティ強化
- 感染拡大につながる常駐エージェントを排除
- 運用負荷の軽減と導入・管理における手離れの向上を実現
- バックアップデータの異常状態を検出するセキュリティスキャン機能により、ランサムウェアなどのサイバー脅威からの復旧に備えた強固なデータ保護を実現
- クラウド活用を支える包括的なデータ保護・移行ソリューション
- Nutanixとの圧倒的な機能連携、Validated Design、Nutanix新サービスへの迅速な対応
- 完全日本語対応による、安心・快適な製品利用環境を提供

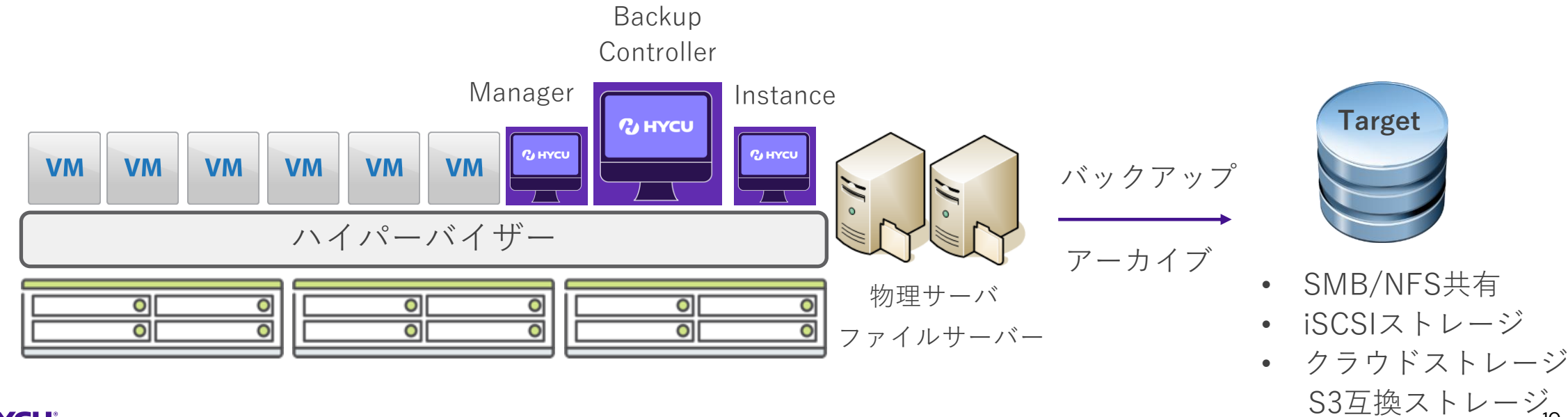
ライセンス体系

- ライセンスはCPUソケットライセンス、CPUコアライセンス、マシン数のOSインスタンスライセンス
ファイルサーバーの容量ライセンス
- オンプレミス環境にバックアップを提供するスタンダードエディションと、クラウド移行やマルウェア検出機能を含むプレミアムエディションの2通り

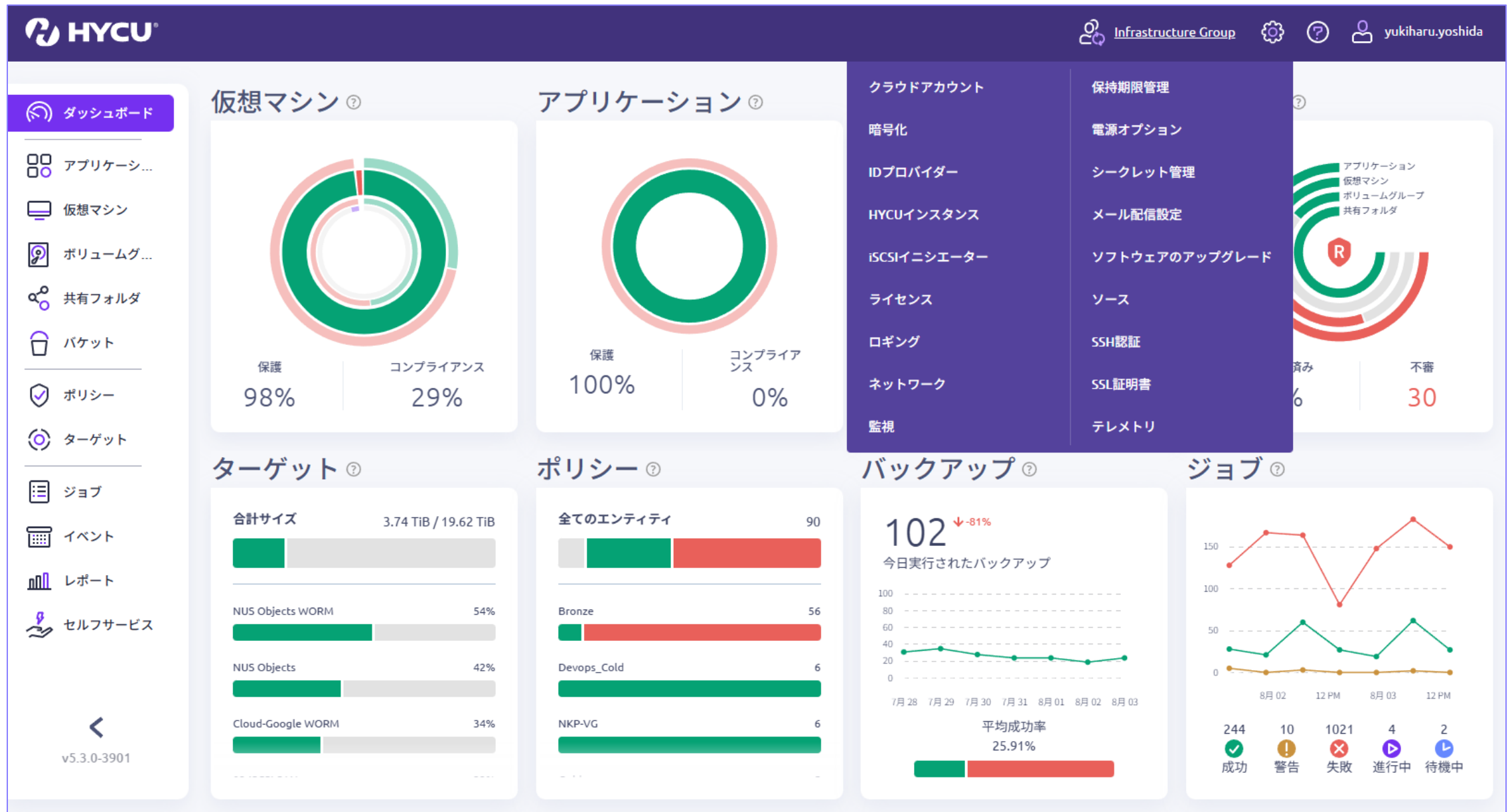
抜群の手離れ！超シンプルな構成

Manager	複数のBackup Controllerを統合監視
Backup Controller	管理サーバー：仮想マシン/物理マシンのバックアップとマルウェア/ランサムウェアスキャンを実行
Instance	ファイルサーバーやVMware VMのバックアップとマルウェア/ランサムウェアスキャンを実行

- ※ エージェントレスのシンプルな構成
- ※ **スタンダードエディション**：オンプレミス環境のバックアップ
- ※ **プレミアムエディション**：クラウド移行やマルウェア/ランサムウェア検知等の機能が含まれます

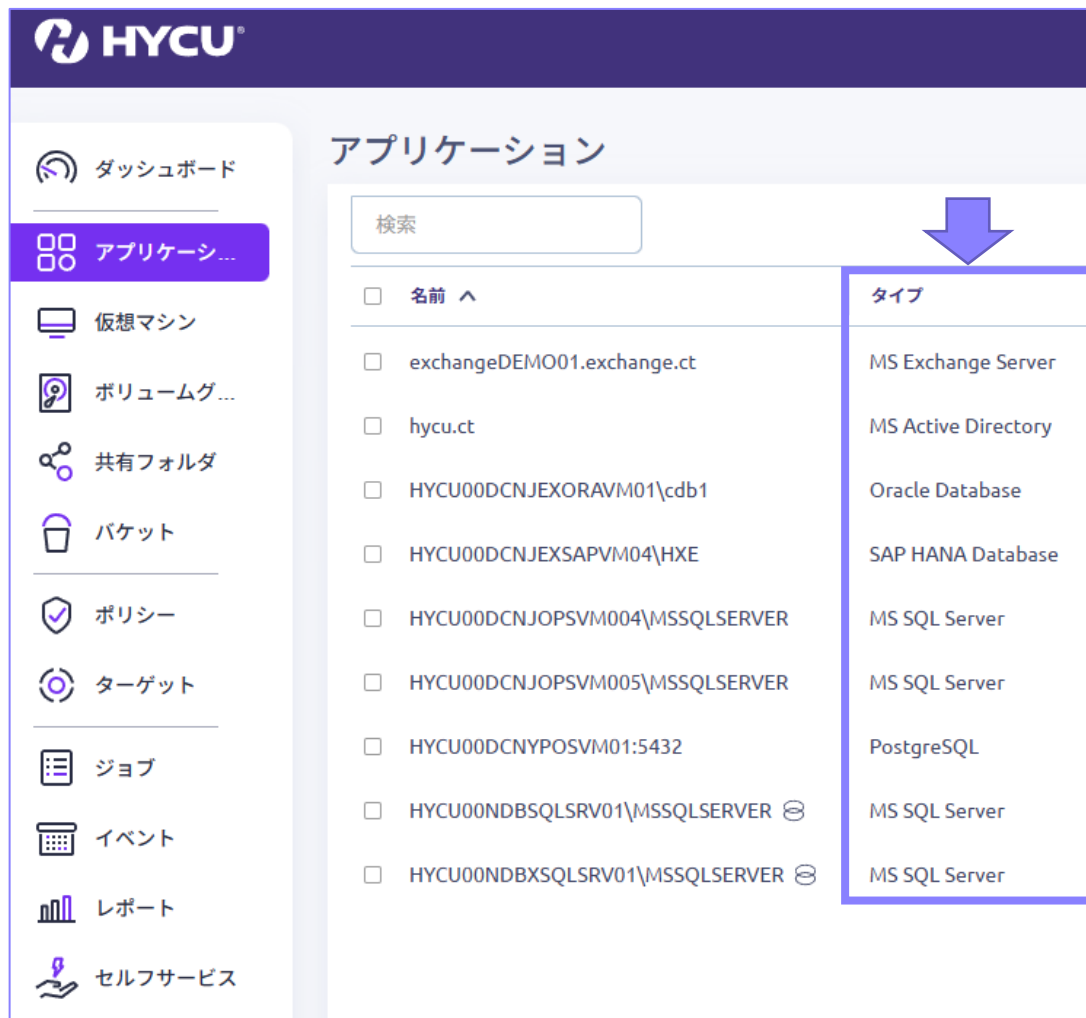


完全日本語対応による、安心・快適な製品利用環境を提供



感染拡大につながる常駐エージェントを排除

エージェントレス：エージェント不要のアーキテクチャ



- アプリの自動検索・認識（特許取得済み）
Active Directory, Exchange, MS SQL
Oracle, PostgreSQL, SAP HANA
- アプリケーション単位の復元
- データベースのポイントインタイム復元
- VM/ディスク/ファイル単位で復元、プラットフォームを跨いだ場所への復元も可能
- Nutanix/VMware/Hyper-V間の双方向移行
物理マシンを仮想環境へ復元
- オンプレミスとパブリッククラウド間の双方向移行（スピンアップ）

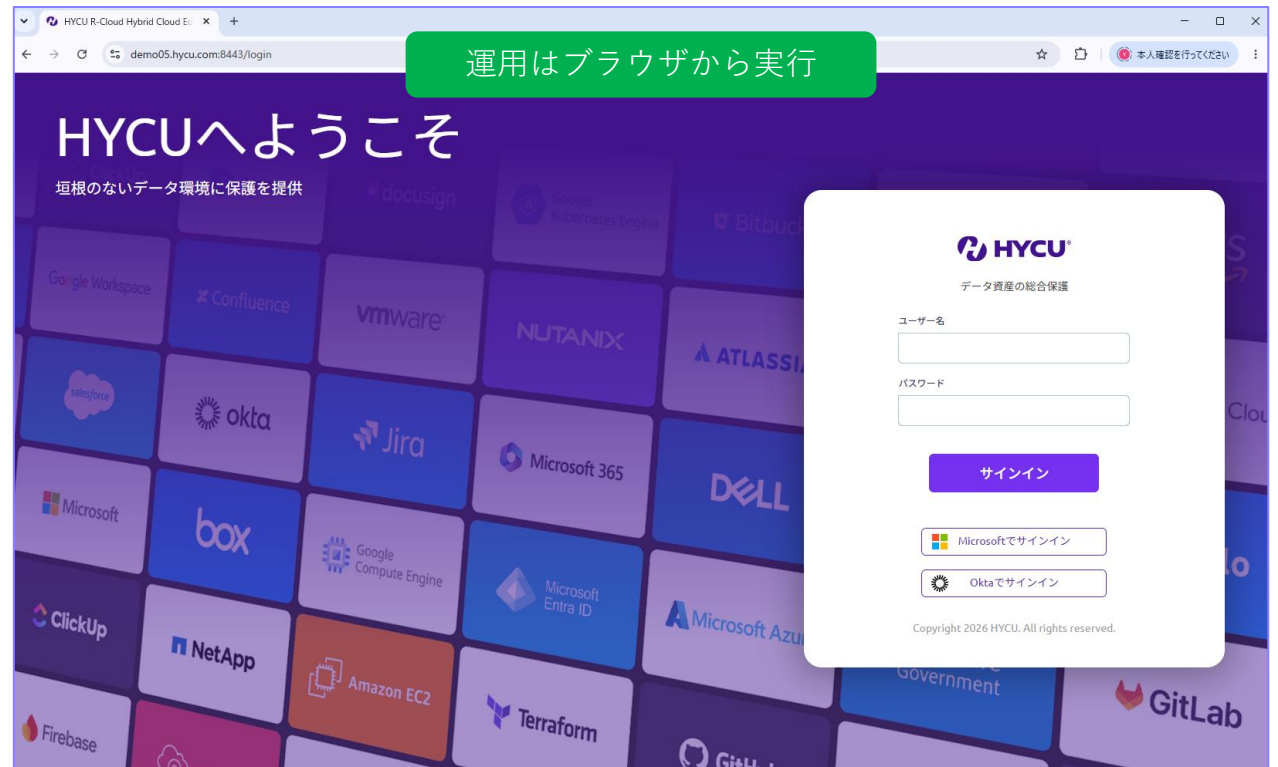
不正アクセスを制限したロックダウン型アプライアンス

- Rocky Linuxベースの仮想アプライアンスにより、攻撃リスクを低減した安全なバックアップ基盤
- 必要最低限のパッケージのみインストール、不要なサービスやポートを無効化、不要アカウントの削除
- 特権アクセスを排除する高いセキュリティ管理
- 最新のセキュリティパッチ適用により、継続的な安全性を確保

```
HYCU Data Protection for Enterprise Clouds 4.9.0-5310 powered by  
Rocky Linux 8.8 (Green Obsidian)  
Kernel 6.2.8-200.hycu20231010.fc37.x86_64 on an x86_64  
  
login: _
```

※SSH接続を無効化することで、HYCU仮想アプライアンスのOSへのリモートアクセスを制限。OSレベルの管理操作は、仮想基盤側のコンソールなど限定された管理経路からのみ許可することで、攻撃対象領域の削減に貢献。

※HYCU自体が過去マルウェアに感染した事例なし。



マルウェア検出（ルールベース/シグネチャ検知）

オープンソースのYARAスキャンエンジンを活用した高速かつ効率的な検出

高速検出

- 本番データに近いスナップショットに対するスキャン実行により高速検出を実現
- バックアップデータの再スキャンも可能

データコントロール

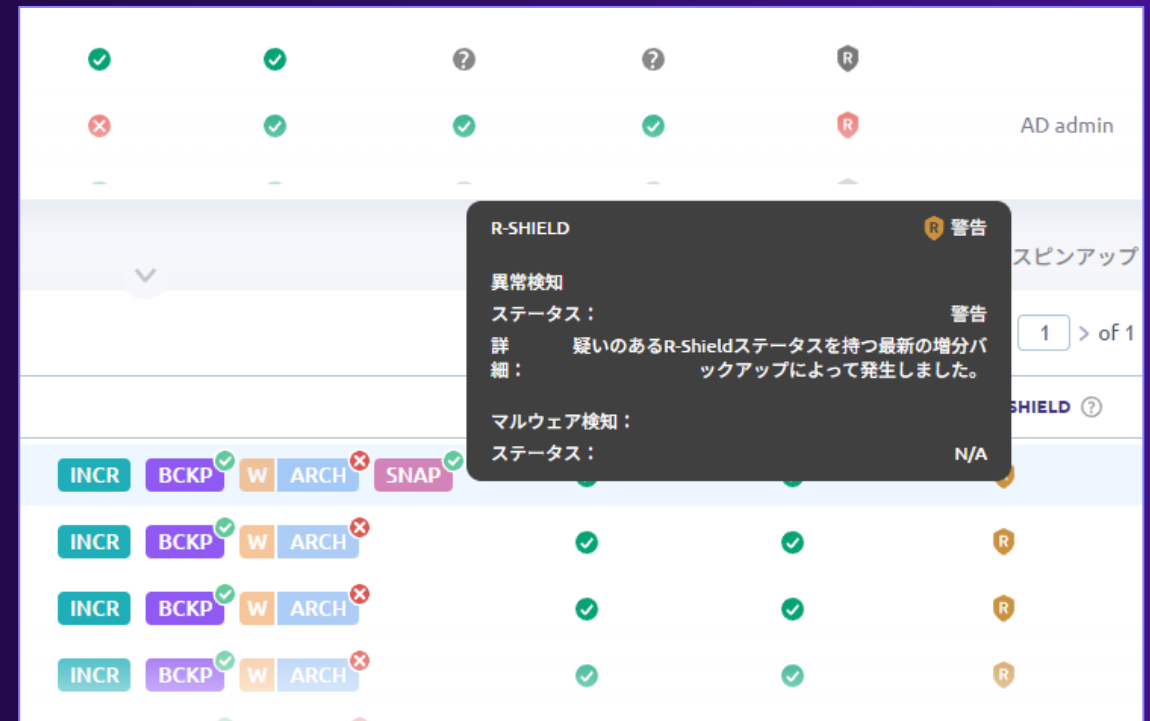
- データは常にお客様の管理下にあり、別環境に転送されるリスクなし

二重の保護

- メタデータ解析に加え、バックアップ内の実データをスキャンすることで、より精度の高いランサムウェア感染兆候の検出を実現

フルスキャンと増分スキャン

- バックアップデータ量に応じて効率的にスキャンを実行し、スキャン負荷を最適化



1. 最初のNutanix AHV専用のバックアップ/リカバリ製品
2. 最初かつ唯一のNutanix AHVにおけるエージェントレス・アプリケーション・バックアップ
3. ESXiホストのNutanix環境で、最初かつ唯一のスタンフリー・バックアップを実現
4. Nutanix Filesに対する最初の効率的でスケーラブルなバックアップ・ソリューション
5. Nutanix NearSync Volumesをバックアップする最初の認定製品
6. Nutanix Database (NDB) への対応
7. NC2 (Nutanix Cloud Clusters)への対応
8. 最初にNutanix Mineとの組み合わせを提供開始
9. 最初かつ唯一のNutanix CALMから完全展開が可能なバックアップ製品
10. 最初かつ効率的でスケーラブル、インパクトフリーのSAP HANA (AOS上) バックアップ
11. 最初かつ唯一のアプリケーション復元時間を保証する (RTO) バックアップ
12. 最初かつ唯一のアプリケーションを自動検索するバックアップ・ソフトウェア
13. 最初かつ唯一のレプリカ・スナップショットからのバックアップと復元機能を提供
14. 最初にNutanix Objectsの認定を取得
15. 最初にAHV Metroの認定を取得

Nutanix社内3,500台のシステムを保護するHYCUの信頼と実績

➤ 背景

- Nutanix社内環境は、USの3つのメイン・データセンターと世界各国の拠点到点に点在する小規模のデータセンターから成り立ち、3,500台にも及ぶ仮想マシンで構成される
- Nutanixクラスタ間はReplicationが広範囲に使用されている
- 最適化かつパフォーマンスの高いAHVバックアップソリューションが必要

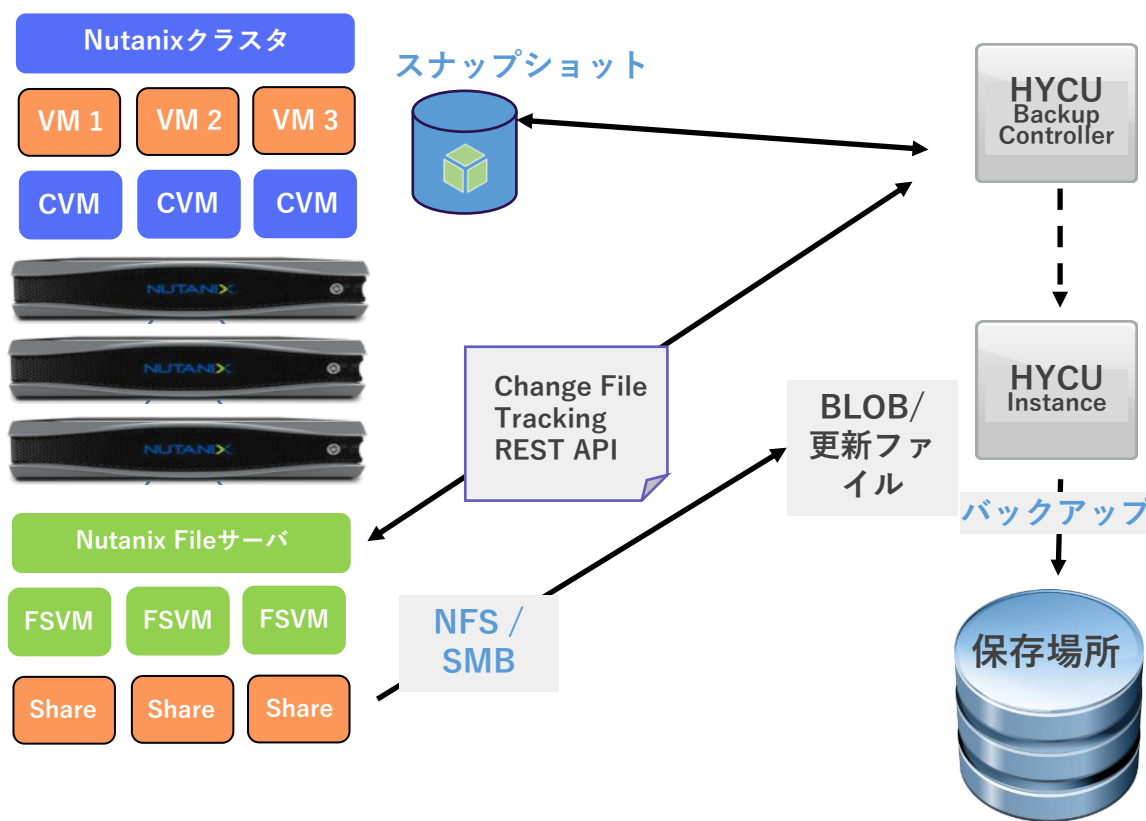
➤ HYCU選定理由

- HYCUによるNutanixとの親和性の高さとAHV対応
- リモートオフィス/ブランチオフィス環境への対応（Nutanixレプリケーションと連携し、リモート拠点からデータセンターへレプリケートされたデータ経由でバックアップが可能）
- Nutanix新機能・新バージョンへの迅速な対応

HYCU for Nutanix Files

ファイル整合性を維持しながら、最高のパフォーマンスを提供

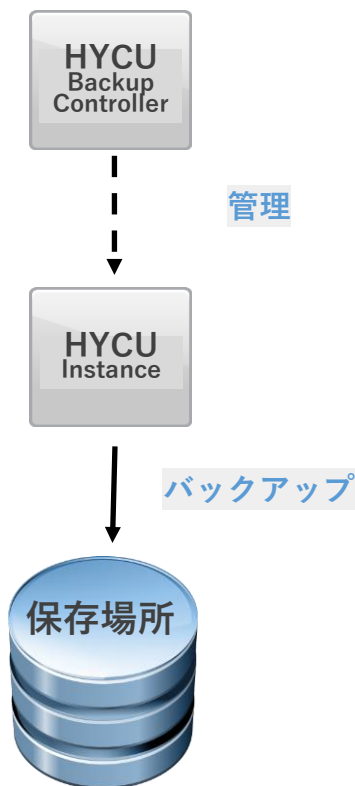
重要：パフォーマンスとコストの両面から他社製品を断念し、HYCUを検討する理由の一つ



- ✓ **CFTを活用**した高速増分バックアップ
(※CFTはNutanixとHYCUの共同開発)
- ✓ ファイルサーバーに余計な**負荷や処理**はなし
- ✓ スナップショット活用による**ファイル整合性**と**ポイントインタイムバックアップ**
- ✓ **BLOB**によるバックアップ高速化
- ✓ HYCU instanceのスケールアウトによる**ロードバランス**
- ✓ **永久増分バックアップ**

Nutanix Files以外のファイルサーバー

永久増分バックアップも可能

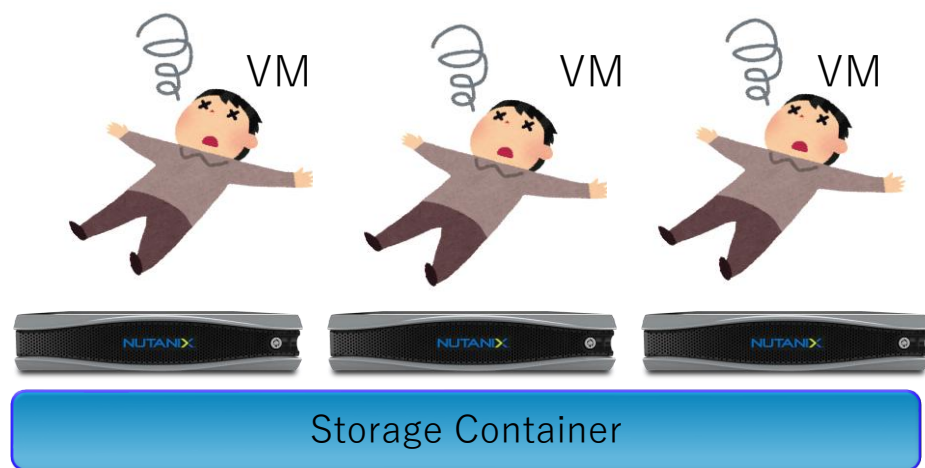


- Dell PowerScale OneFS
スナップショット活用によるファイル整合性とポイントインタイムバックアップ
変更ファイルリスト活用による高速増分バックアップ
- NetApp ONTAP
スナップショット活用によるファイル整合性とポイントインタイムバックアップ
変更ファイルリスト (SnapDiff) 活用による高速増分バックアップ
- Azure Files
SMB共有のバックアップ
- 汎用ファイルサーバー
機能連携なし、ただし全てのSMB/NFS共有のバックアップを実現

Nutanix Prism + ESXi ホストにおけるVMバックアップ

重要：VMスタン回避が課題で他社を断念し、HYCUを選択
Nutanixスナップショットを活用した高速復元

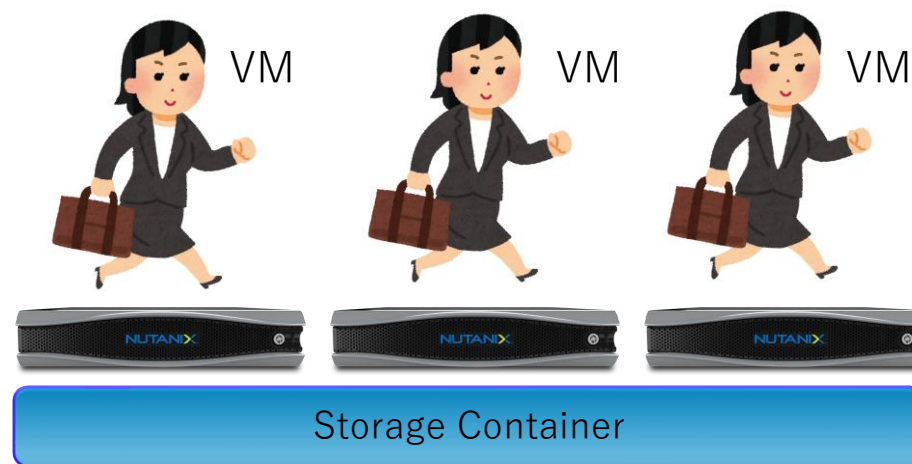
他ベンダーだと
VMスタン発生リスク



IT管理者はスタンが起こらないことを祈るのみ



HYCUはVMスタンが発生しません



IT管理者はいつも通りの指示をするだけ



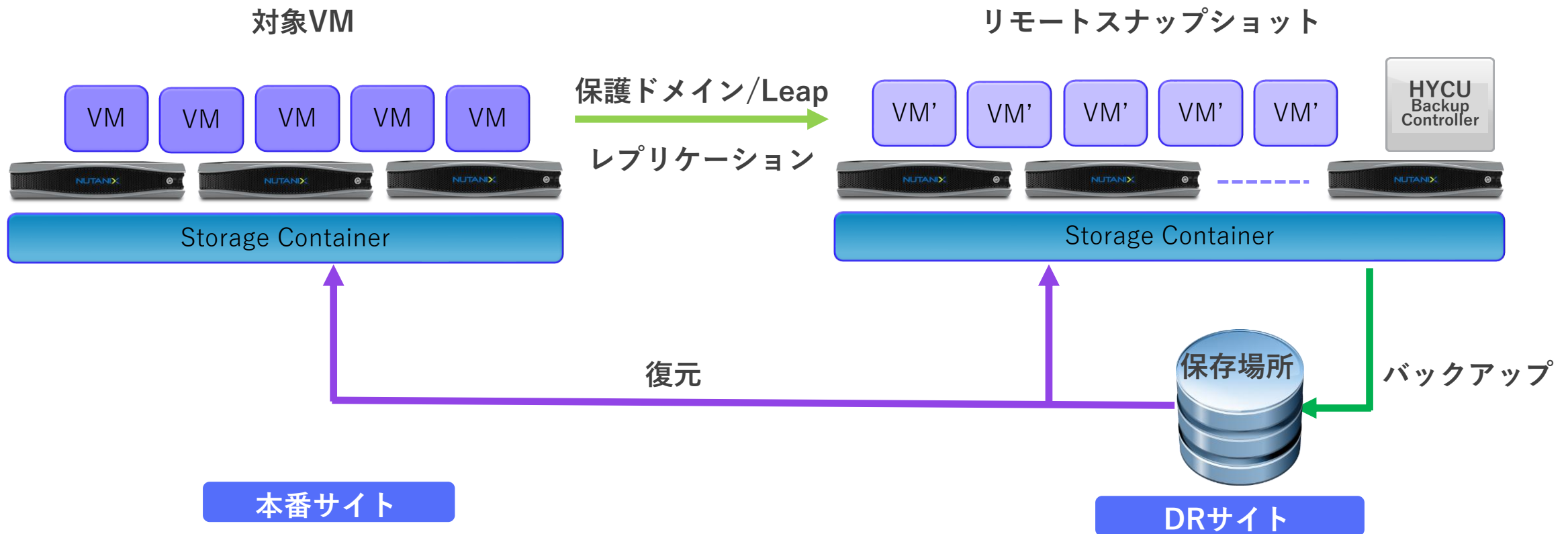
HYCU Backup from Replica

Nutanixのレプリケーションと連携し、3-2-1ルールを実現する機能

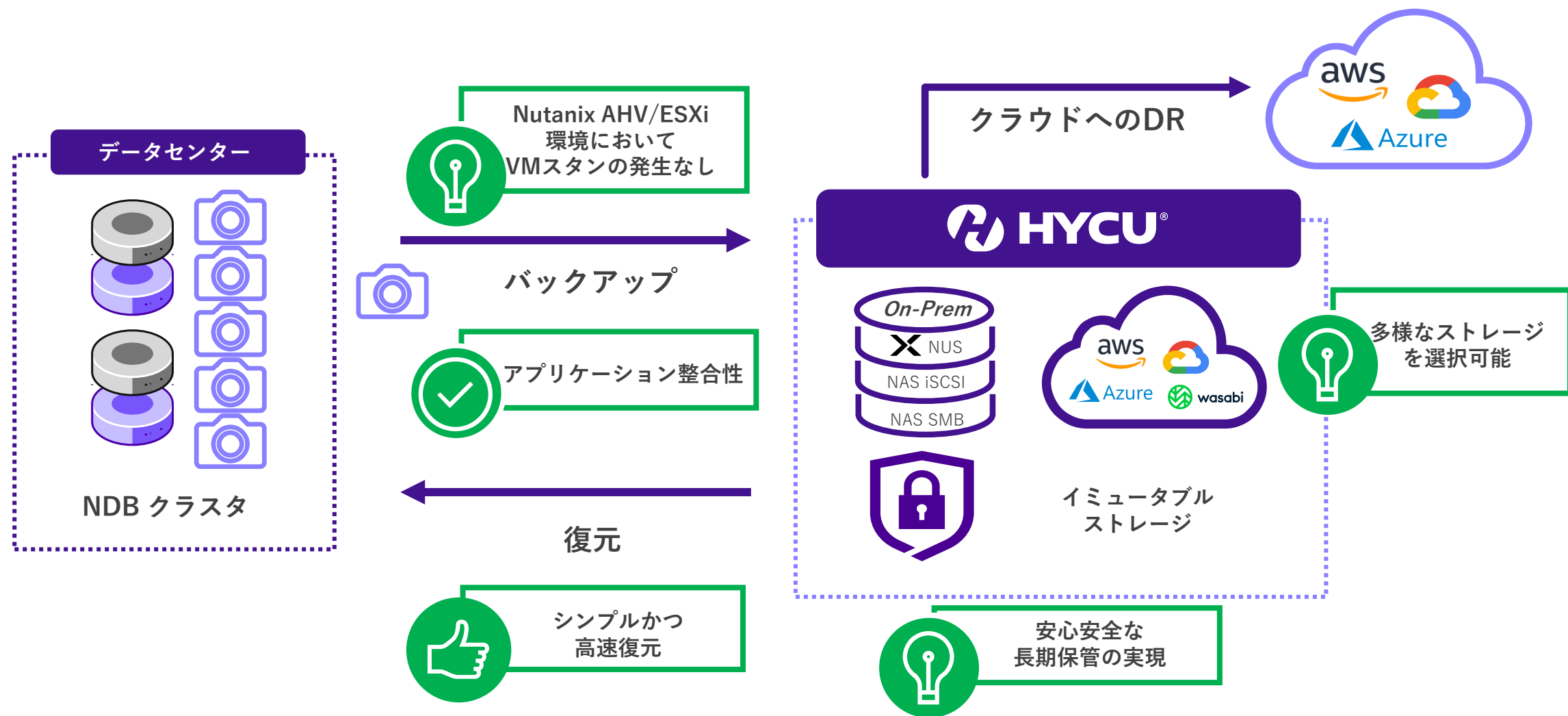
Async、Near Sync、Leapに対応！



Near Sync環境で動作するバックアップはHYCUだけ！



Nutanix Database (NDB) 保護



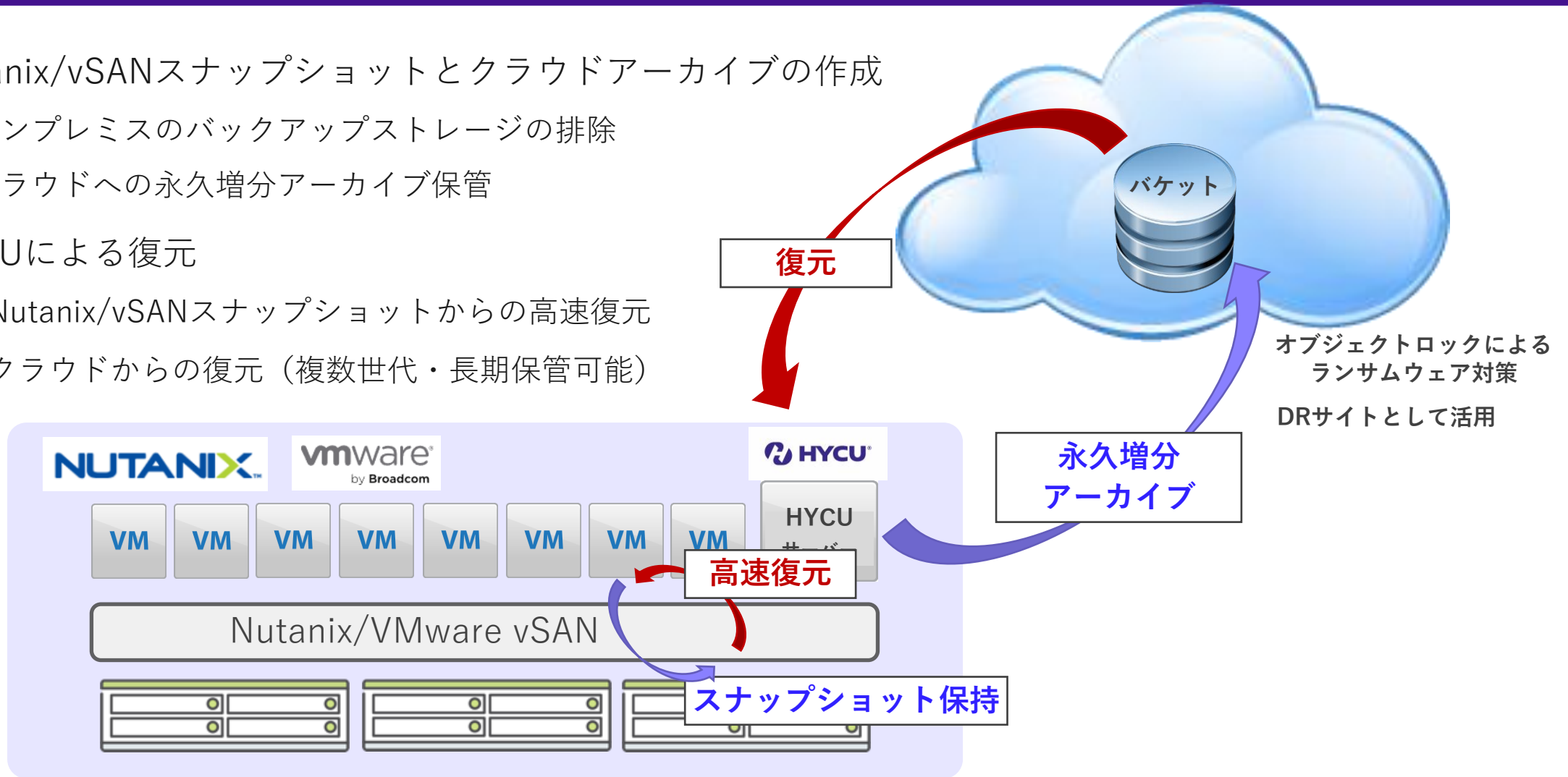
効率的な災害対策とランサムウェア対策：Nutanix/VMware + HYCU + クラウド

➤ Nutanix/vSANスナップショットとクラウドアーカイブの作成

- ・ オンプレミスのバックアップストレージの排除
- ・ クラウドへの永久増分アーカイブ保管

➤ HYCUによる復元

- ・ Nutanix/vSANスナップショットからの高速復元
- ・ クラウドからの復元（複数世代・長期保管可能）



※構成ファイルの変更により、VMFS/NFSデータストアでも同様の設定が可能

(VMwareスナップショットを保持するとパフォーマンス低下するため既定で無効化)

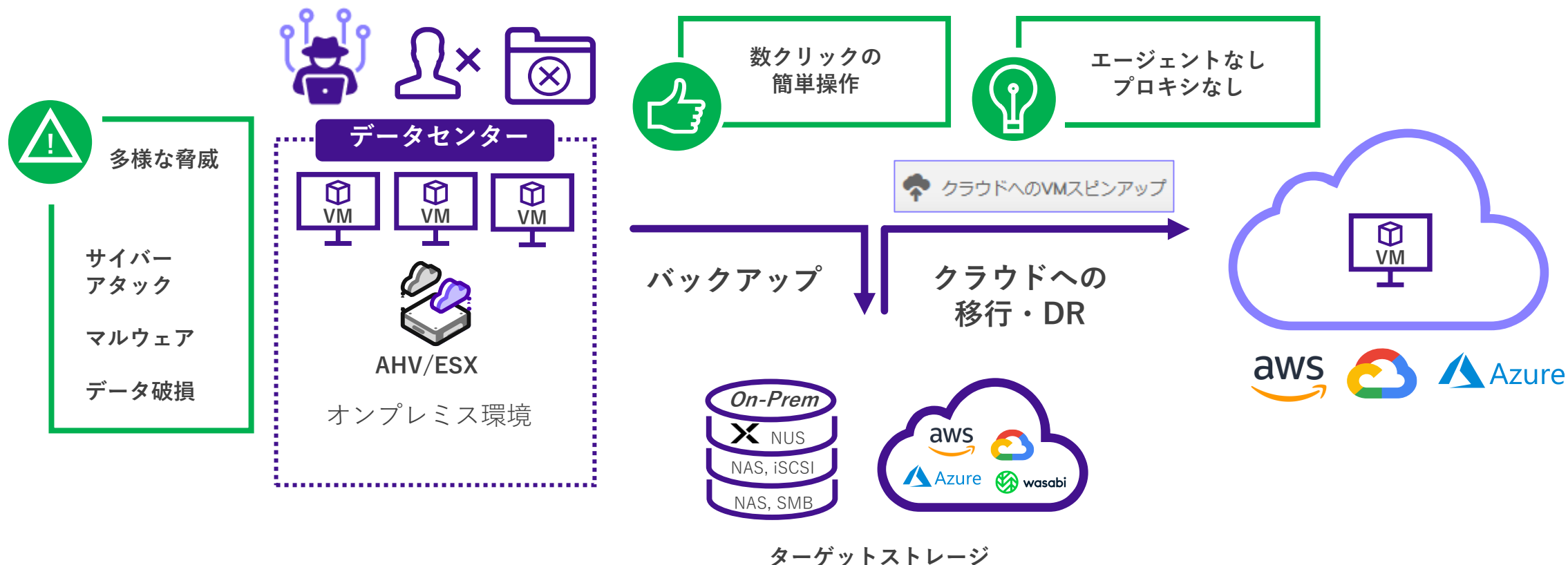
低コストかつシンプル構成でのクラウド連携

クラウドへのバックアップ

クラウドへの移行

クラウド環境のバックアップ

※クラウドへの移行とクラウド環境のバックアップにはプレミアムエディションが必要です



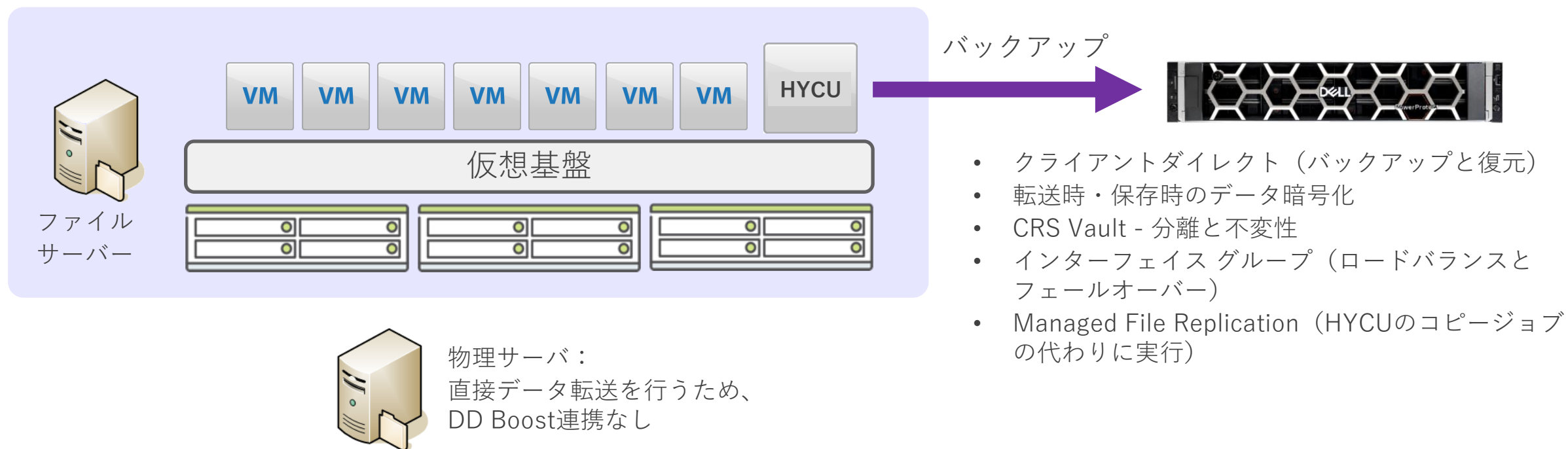
Data Domainとの DD Boost統合

DD Boost 連携：

必要なデータのみをHYCUが転送することでスループットを最大50%向上
ネットワークへの負荷を低下

Retention Lock 連携：

ランサムウェア対策としてデータを書き換え不可の状態を設定期間保存
保持が必要なデータに対して、HYCUが書き換え不可期間を自動的に更新



基本構成

HYCU R-Cloud Hybrid Cloud Edition（略称R-Cloud HCE）について

- HYCU R-Cloud Hybrid Cloud Editionとは、オンプレミス環境のデータ保護（バックアップ/アーカイブ/復元等）を提供するバックアップソリューションであり、仮想アプライアンスとして提供される製品である。
- HYCUサーバーは動作モードは3つ：
- **HYCU Backup Controller**：仮想マシン/物理マシンのデータ保護を実行し、また、プレミアムエディションではマルウェア/ランサムウェアスキャン機能も実行する。仮想基盤上に展開し、1台で複数のクラスタ環境と物理マシンの保護が可能。
- **HYCU Instance**：ファイルサーバーのデータ保護を実行し、VMware vSphere環境ではHotAdd転送モードを行うプロキシとして動作する。また、プレミアムエディションではマルウェア/ランサムウェアスキャン機能も実行する。
- **HYCU Manager**：複数のHYCUバックアップコントローラーを統合監視用途で使用する。多くの場合展開は不要。
- HYCU内蔵のディスクには構成情報やログを保持
- ターゲットストレージに保存されるバックアップ/アーカイブデータはメタデータを含むため、別のHYCU Backup Controllerから復元を実行することも可能。

HYCUサーバーについて

- HYCUサーバーはRocky Linuxをベースに必要なソフトウェアをパッケージ化した軽量の仮想アプライアンス。
- 30日間のフリートライアルのキーが組み込まれている為、ライセンス無しでも直ぐに評価を開始可能。

フリートライアルのリクエストはこちら：<https://www.hycu.com/ja/get/trial-start>

- ビルドはイメージファイルとして提供しており、イメージファイルはサポートポータルから入手します。

<https://support.hycu.com/hc/en-us>

- 30日間のトライアル期間のほか、トライアルライセンス・NFRライセンス・正規ライセンスがあり、トライアルとNFRのライセンスキーは申請により提供可能です。

データ取得の仕組み

データ取得ルールはポリシー内で指定

- データ取得はバックアップ、コピー、アーカイブの3タイプ
- 仮想マシンのバックアップはNASへの「完全バックアップ+増分バックアップ」、オブジェクトストレージへの**永久増分バックアップ**=「**スナップショットのみ**」+「**永久増分アーカイブ**」
- 物理マシンのバックアップはNASへの「完全バックアップ+増分バックアップ」のみ
- ファイルサーバーのバックアップは「完全バックアップ+増分バックアップ」または「**永久増分バックアップ**」の2種類
- アーカイブは「オブジェクトストレージストレージへの永久増分アーカイブ」または「その他ストレージへの常にフルアーカイブ」の2種類。ただし、ファイルサーバーの「永久増分バックアップ」と組み合わせると、常にフルアーカイブになる
- コピーはバックアップデータのコピー実行
- バックアップのスケジュールはポリシー内のバックアップ頻度とバックアップウィンドウで管理
- コピーのスケジュールはコピーウィンドウで管理
- アーカイブのスケジュールは開始日/時間を指定
- データ取得時にデータの保持期間を指定し、期限切れ後、関連するデータ（完全+増分）が削除可能なタイミングでまとめて実データを削除、削除は1時間毎に実行するクリーンアップジョブにて行う

データ取得方式の一例

対象ソース	種類	データ取得方式	バックアップ先	アーカイブ先（長期保管）
Nutanix AHV/ESXi	仮想マシン	完全/増分バックアップ	SMB/NFS/iSCSI/オブジェクトストレージ	オブジェクトストレージ
		永久増分バックアップ (スナップショット+永久増分アーカイブ)	スナップショット	オブジェクトストレージ
VMware vSphere	仮想マシン	完全/増分バックアップ	SMB/NFS/iSCSI/オブジェクトストレージ	オブジェクトストレージ
	仮想マシン ※VMFS/NFS時は構成 ファイルの変更が必要	永久増分バックアップ (スナップショット+永久増分アーカイブ)	スナップショット	オブジェクトストレージ
Azure Local/Hyper-V	仮想マシン	完全/増分バックアップ	SMB/NFS/iSCSI/オブジェクトストレージ	オブジェクトストレージ
XenServer	仮想マシン	完全/増分バックアップ	SMB/NFS/iSCSI/オブジェクトストレージ	オブジェクトストレージ
		永久増分バックアップ (スナップショット+永久増分アーカイブ)	スナップショット	オブジェクトストレージ
Windows	物理マシン	完全/増分バックアップ	SMB	オブジェクトストレージ
Linux	物理マシン	完全/増分バックアップ	NFS	オブジェクトストレージ
ファイルサーバー	共有フォルダ	永久増分バックアップ	SMB/NFS/オブジェクトストレージ	SMB/NFS/オブジェクトストレージ ※アーカイブではなくコピー

運用について

- HYCU VMは時刻設定を行う必要がなく、HYCU VMが稼働するNutanixクラスタをソースとして登録することで、Nutanixクラスタ側の時刻設定を引き継ぎます。
vSphere環境では、vSphere環境から時刻設定を引き継ぎます。
Azure Local/Hyper-V環境では、時刻設定を引き継ぐことはございません。
- 帯域幅は「ネットワーク」→「スロットリング」メニューで設定
宛先、帯域幅制限、時間帯を指定
- 通知は「イベント」→「通知」で設定
EメールまたはWebhookを利用
カテゴリーとステータスを指定
- Active Directory連携やシングルサインオン対応、RBAC権限管理、セルフサービス

HYCU自身の保護について

- HYCU Backup Controller他の仮想マシンと同様にバックアップすることができます。
※HYCU Backup Controllerはライセンスを消費しない仕様です。
※HYCU InstanceとManagerはバックアップすることなく、再構築で対応できます。
- 復元は以下の手順で行います
 1. 一時的なHYCUバックアップコントローラーを展開
 2. バックアップデータが保存されているターゲットを「インポート」
 3. 復元先仮想基盤をソースとして登録
 4. バックアップから元のHYCUバックアップコントローラーを復元
 5. 手順1で作成したHYCUバックアップコントローラーを削除し、元のHYCUバックアップコントローラーを起動

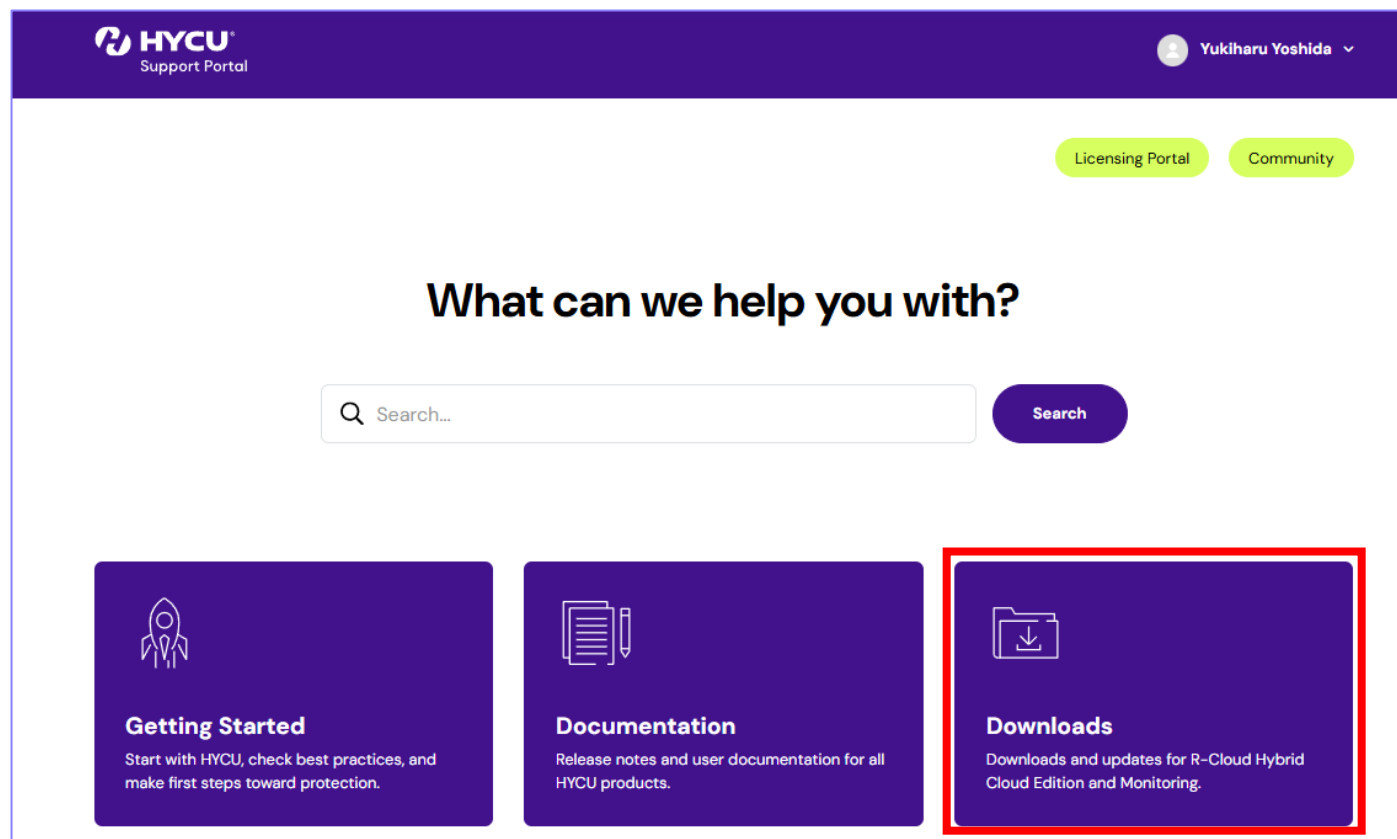
HYCUサーバーの準備

製品の入手

製品入手方法は2通り。1つはHYCUからダウンロードリンクをご案内します。

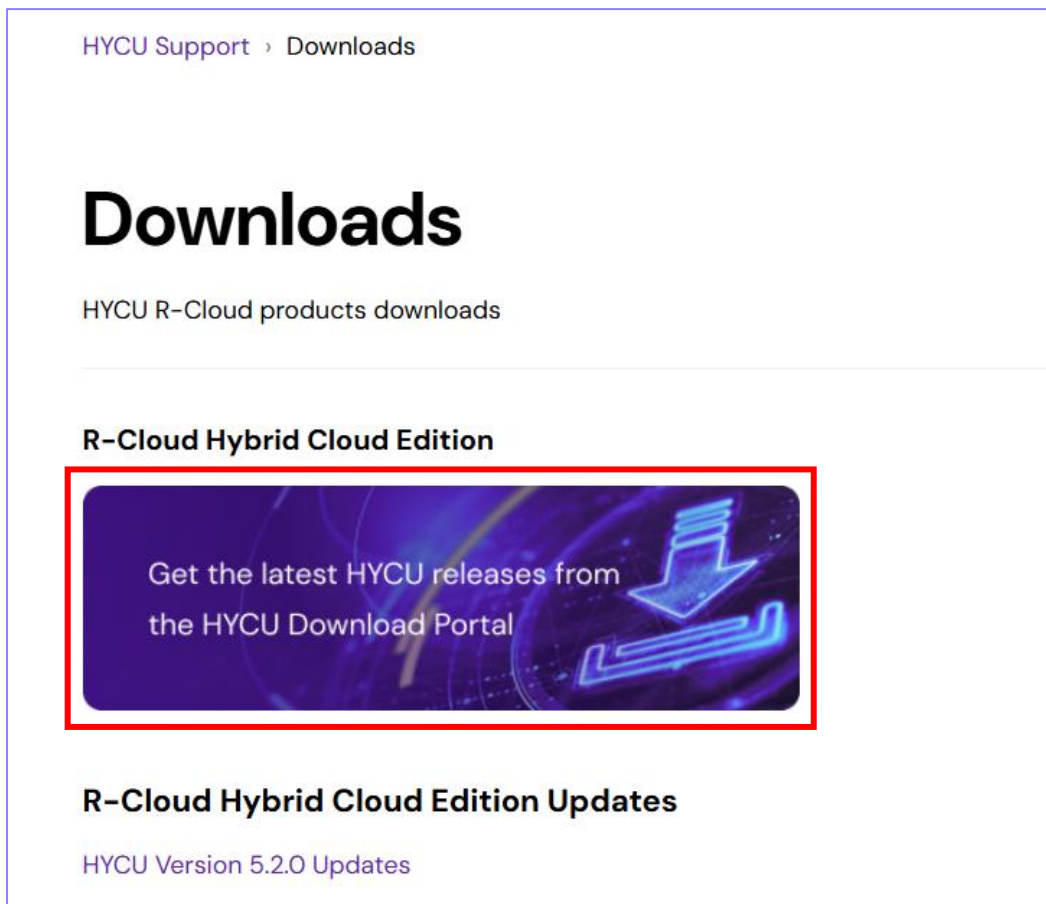
もう1つは、サポートポータルアカウントを入手し、サポートポータルからダウンロードする方法です。

- ① <https://support.hycu.com> へサインインします。
- ② [Downloads] を選択します。

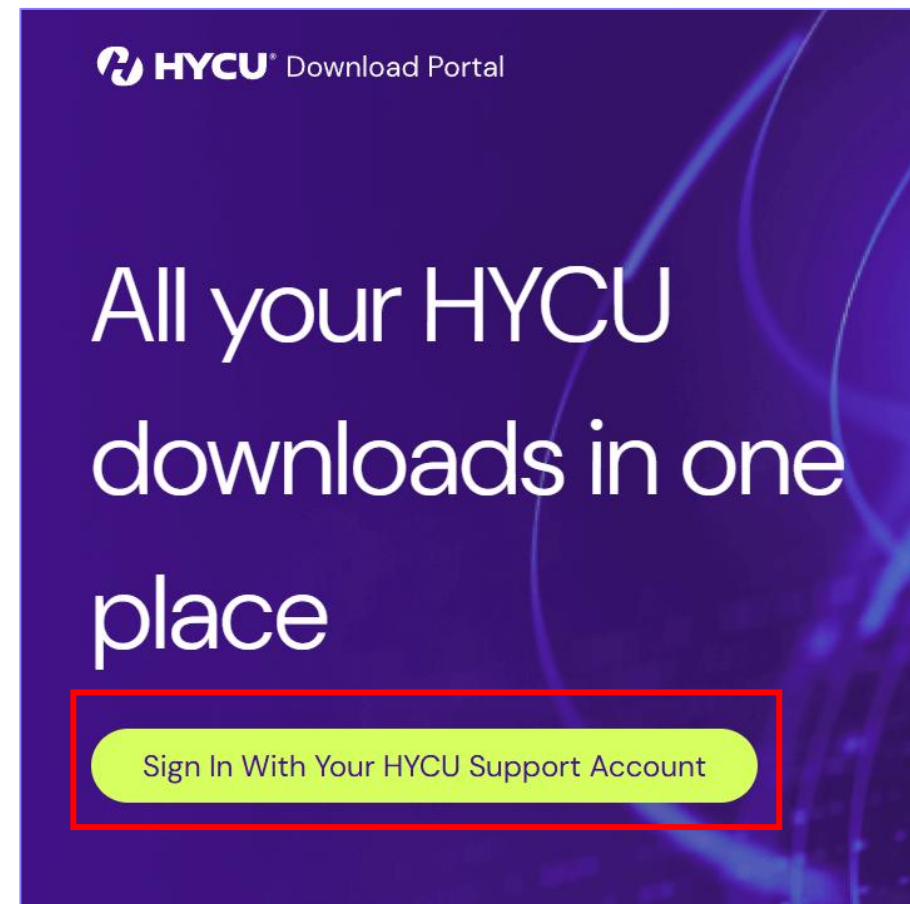


製品の入手

③ [R-Cloud Hybrid Cloud edition]下のリンクから
[Download Portal]を開きます。

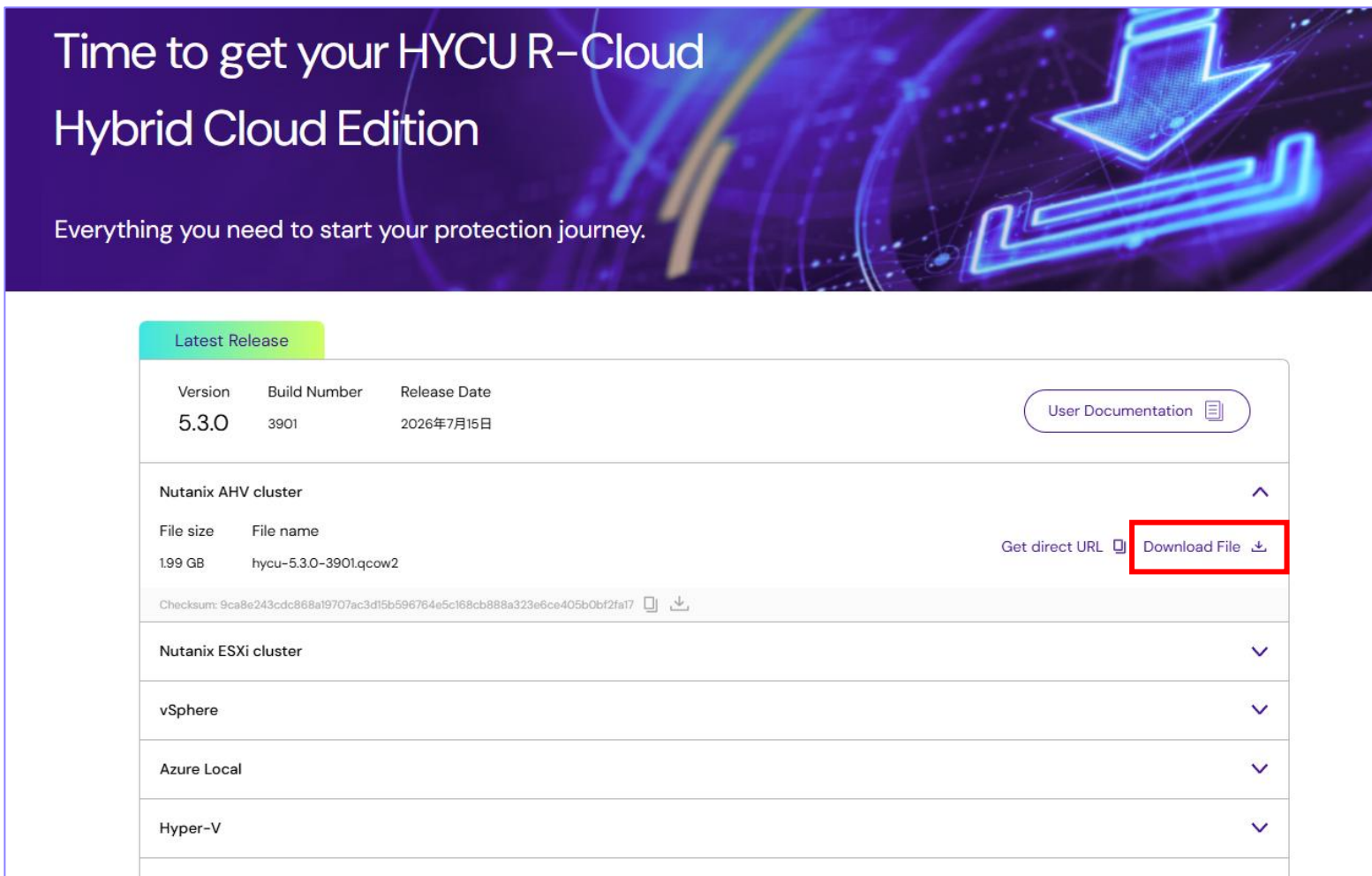


④ [Download Portal] へサポートアカウント
でサインインします。



製品の入手

- ⑤ 対象となるイメージファイルをダウンロードします。



The image shows a webpage for downloading the HYCU R-Cloud Hybrid Cloud Edition. The header features the text "Time to get your HYCU R-Cloud Hybrid Cloud Edition" and "Everything you need to start your protection journey." Below this is a table with the latest release information. The table has columns for Version, Build Number, and Release Date. The current version is 5.3.0, Build Number 3901, released on 2026年7月15日. To the right of the table is a button for "User Documentation". Below the table, there are sections for different hypervisors: Nutanix AHV cluster, Nutanix ESXi cluster, vSphere, Azure Local, and Hyper-V. Each section has a "Download File" button, which is highlighted with a red box in the image. The "Download File" button is located next to the "Get direct URL" link.

Time to get your HYCU R-Cloud Hybrid Cloud Edition

Everything you need to start your protection journey.

Latest Release

Version	Build Number	Release Date
5.3.0	3901	2026年7月15日

User Documentation

Nutanix AHV cluster

File size	File name
1.99 GB	hycu-5.3.0-3901.qcow2

Get direct URL [Download File](#)

Checksum: 9ca8e243cdc868a19707ac3d15b596764e5c168cb888a323e6ce405b0bf2fa17

Nutanix ESXi cluster

vSphere

Azure Local

Hyper-V

HYCU仮想アプライアンスのサイジング

HYCUコントローラーのリソース

VM数	vCPU数	コア数	メモリ (GB)	OSディスク (GB)	データディスク (GB)
最小	4	1	4	20	128
50台未満	8	1	12	20	128
50-200台	8	2	24	20	128
200-500台	16	2	48	20	128
500台以上	複数のHYCU VMを検討				

詳細：細かなサイジングは以下の考え方に沿って行います。

- クラウドストレージにデータを保存する場合、vCPUとメモリを16以上にします。保護対象VMが少ない場合はこれに限りません。
- 同時バックアップ数に合わせてvCPUとメモリを追加します。HYCUによる圧縮処理が無い場合は同時1台につきvCPUを1とメモリを1GB追加します。圧縮処理を行う場合は同時1台につきvCPUを1.5とメモリを2GB追加します。
 - ✓ 例1：4台同時バックアップ、HYCUによる圧縮なし
5 vCPU（管理用1 + 同時4）、8GBメモリ（最小4GB + 同時4 GB）
 - ✓ 例2：8台同時バックアップ、HYCUによる圧縮あり
13 vCPU（管理用1 + 同時8 x 1.5）、20GBメモリ（最小4GB + 同時16GB）
- 暗号化を有効化しても、リソース追加は特に必要ありません。
- 推奨リソースを満たしていなくてもバックアップ/復元は行えますが、パフォーマンスに影響があります。

※R-Shieldによるマルウェア/ランサムウェアスキャンを行う場合、CPU/メモリリソースは単純に2倍と考えてください。リソース増加が難しい場合、HYCU Instanceを展開することで、HYCU Instanceがマルウェア/ランサムウェアスキャンを実行することもできます。

マルウェア/ランサムウェアスキャンを実行するマシンは製品が自己判断/自己選定します。

HYCU仮想アプライアンスのサイジング

HYCU インスタンスのリソース

- 多くの場合、8vCPU、1コア、16GBメモリ、OSディスク20GB,データディスク128GBのリソースで自動作成。必要時はサイジングを実行。

※R-Shieldによるマルウェア/ランサムウェアスキャンを行う場合、CPU/メモリリソースは単純に2倍と考えてください。リソース増加が難しい場合はHYCU Instanceを複数台展開することで、HYCU Instanceがマルウェア/ランサムウェアスキャン処理を分散実行できます。

マルウェア/ランサムウェアスキャンを実行するマシンは製品が自己判断/自己選定します。

HYCU マネージャーのリソース

- 多くの場合、4vCPU、1コア、4GBメモリ、OSディスク20GB,データディスク128GBのリソースで作成。

ターゲット（バックアップストレージ）のサイジング

HYCUの圧縮機能を利用する場合、実績としてバックアップデータ容量の約50%を削減

容量計算は以下の情報を元に算出

- 保護対象となるVM数やファイルサーバーの容量
- 保護対象のデータ総容量とVM毎の平均データ容量（バックアップ対象は実容量のみ）
- 日々のデータ変更率や増加率
- バックアップ実行頻度と保持世代数、実行時間帯
- 同時処理数
- ターゲットストレージのタイプと重複排除機能の有無
- データ圧縮の必要性
- コピージョブやアーカイブの必要性

※ オブジェクトストレージへのアーカイブは「永久増分方式」を採用

※ ファイルサーバーのバックアップは「永久増分方式」が可能

※ Nutanix VM/VGに対しては、1次バックアップとしてNutanixスナップショットのみのバックアップが可能
サイジングツール：

<https://tools.hycu.com/HYCUProtegeSizingCalculator/#/sizing-tool-calculator>

ストレージ側の圧縮/重複排除機能を利用する場合、削減量はデータタイプやストレージタイプに依存するが、削減効果は高い

Windowsサーバーの重複除去機能も効果的。ただし、64TBの制限に注意

簡易ヒヤリングシート

お客様情報

お客様情報	
会社名	HYCU, Inc.
ご担当者名	IT Admin
住所	XXX,XXX,XXX,XXX,XXX
電話番号	0123456789
Emailアドレス	itadmin@hycu.com

ソース情報

ソース情報	値	ノート
ソースタイプ		Nutanix Prism、vCenter、ファイルサーバー、Hyper-V/Azure Localホスト名、または物理マシン等
ハイパーバイザーのタイプ		
バージョン		AOS、Files、または ESXi
CVM VLAN		Nutanixの場合のみ
ターゲットが同じVLAN上か	はい/いいえ	
仮想マシンVLANは管理VLANと同じか	はい/いいえ	
クラスタのノード数		
仮想マシン数、ファイルサーバーの容量		
HYCUライセンス		CPUソケット、コア、インスタンスライセンスの種類と数

ターゲット（バックアップストレージ）のパラメータ

	値	ノート
ターゲットタイプ		
容量		NASでは空白、オブジェクトストレージでは上限を設定
場所		
ターゲット名		
同時バックアップ数		
接続認証情報		アカウント情報
圧縮・暗号化機能の有無		HYCU側の設定
圧縮・重複排除機能の有無		ストレージ側の設定

バックアップコントローラのパラメータ

HYCU バックアップコントローラ (管理サーバー)	値	ノート
バージョン		
アップデート		
Adminアカウントのパスワード		GUIサインインアカウント、既定のパスワードは admin
hycuアカウントのパスワード		ローカルコンソールアカウント、既定のパスワードは hycu/4u
AdminアカウントのEmailアドレス		オプション(設定なしでも問題なし)
複数ネットワーク/複数NICの必要性		はい/いいえ、はいの場合はNICの枚数
ホスト名		
IPアドレス		
サブネットマスク		
デフォルトゲートウェイ		
DNS		
ドメイン名		

インスタンスのパラメータ

HYCU インスタンス		値	ノート
ファイルサーバーのバックアップやVMware環境のHotAdd転送モードの場合にインスタンスが必要			
バージョン			
アップデート			
複数ネットワーク/複数NICの必要性			はいの場合はNICの枚数
NIC 1	ホスト名		
	IPアドレス		
	サブネットマスク		
	デフォルトゲートウェイ		デフォルトゲートウェイは1ホストに1つ
	DNS		
	ドメイン名		
	Macアドレス		複数NICの場合は必要
NIC 2	ホスト名		
	IPアドレス		
	サブネットマスク		
	デフォルトゲートウェイ		
	DNS		
	ドメイン名		
	Macアドレス		複数NICの場合は必要
vCPU数、メモリ容量			
展開先ノード			
展開先ストレージ			

ポリシー設定

ポリシー名	説明(オプション)	有効なオプション	バックアップ						バックアップチェーン		ターゲット	バックアップウィンドウ
			バックアップ頻度	単位	復旧時間	単位	保持期間	単位	しきい値	チェーンの長さ		
Gold	Backup every 4h, recover within 4h	バックアップ	4	時間	4	時間	1	週	25%		自動選択	
silver	Backup every 12h, recover within 12h	バックアップ	12	時間	12	時間	1	週	25%		自動選択	
Bronze	Backup every 24h, recover within 24h		1	日	1	日	1	週	25%		自動選択	
日次バックアップ		バックアップ	1	日	1	日	2	週		7	SMB NAS	平日増分-週末完全

共有フォルダ

共有フォルダ名	永久増分バックアップの設定
	はい/いいえ

バックアップウィンドウ

バックアップウィンドウ				
名前(表示名)	説明	タイムゾーン	完全/増分バックアップが 実行される曜日と時間帯 (Full/Incremental)	増分バックアップが 実行される曜日と時間帯 (Incremental only)
平日増分-週末完全	業務時間外	Asia/Tokyo(GMT+9:00)	SAT 00:00 – 24:00 SUN 00:00 – 24:00	MON 00:00 – 06:00 TUE 00:00 – 06:00 WED 00:00 – 06:00 THU 00:00 – 06:00 FRI 00:00 – 06:00

アカウント設定

ユーザーリスト					
ユーザー名	言語	タイプ	名前	Email(オプション)	パスワード
HYCU	日本語	HYCU	Admin		password
AD User	日本語	AD User			

グループ				
グループ名	説明	仮想マシンの自動割り当て	メンバー	ロール
Infrastructure			Admin	管理者

ユーザータイプは「ローカルアカウント」「ADアカウント」「ADグループ」から指定します。ローカルアカウント作成時のみ、パスワードを設定します。

ロールは「管理者」「バックアップと復元オペレーター」「復元オペレーター」「バックアップオペレーター」「閲覧者」から選択します

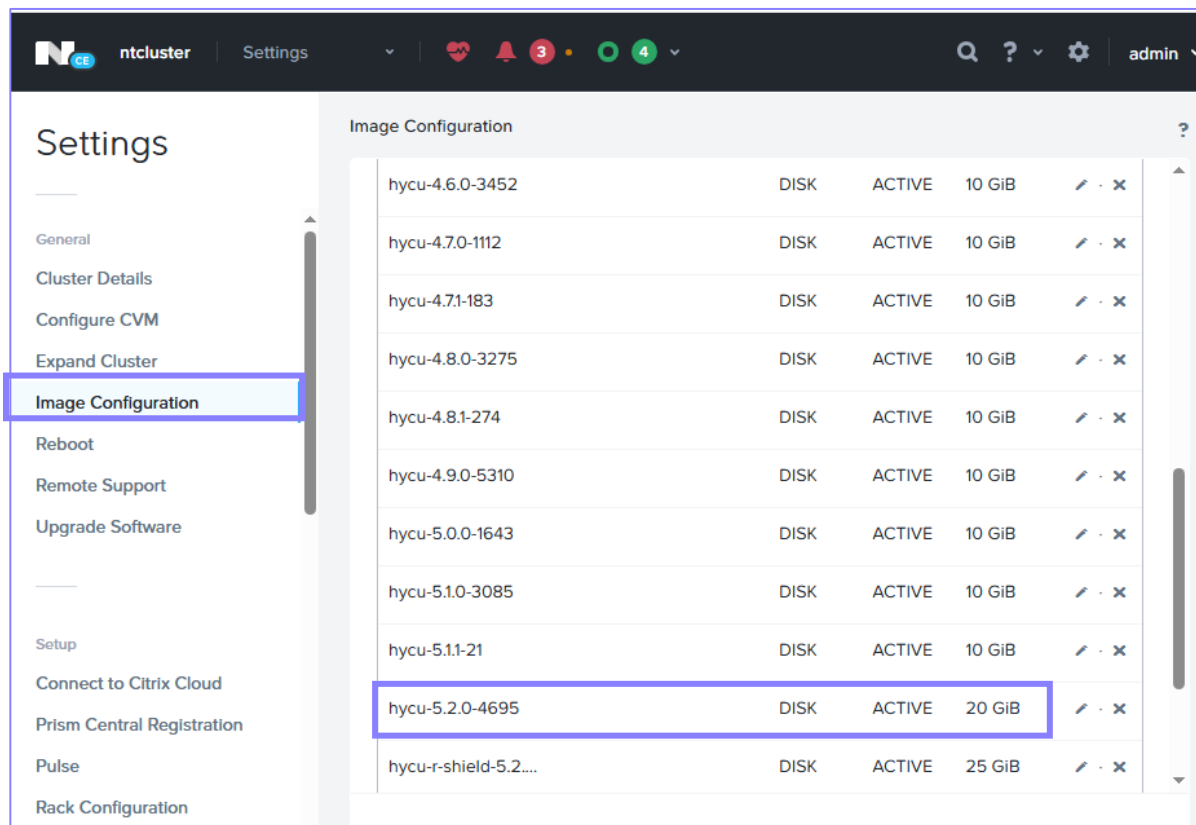
バックアップコントローラーの展開

シナリオ 1：AHVへのバックアップコントローラーの展開

① イメージファイルのアップロード

例：hycu-5.2.0-4695.qcow2の場合

※登録名はイメージ名と統一すること



② 仮想アプライアンスの作成

The screenshot shows the 'Create VM' form with the following configuration:

- General Configuration**
 - Name: hycubc
 - Description: Optional
 - Timezone: (UTC) UTC (Cluster dropdown)
 - Use UTC timezone for Linux VMs and local timezone for Windows VMs.
 - ☐ Use this VM as an agent VM
- Compute Details**
 - vCPU(s): 4
 - Number Of Cores Per vCPU: 1
 - Memory: 8 GiB

シナリオ 1：AHVへのバックアップコントローラーの展開

Disk: CD-ROMの削除（オプション）

Disk1台目：イメージサービスからクローン

Add Disk

Type
DISK

Operation
Clone from Image Service

Bus Type
SCSI

Image ?
hycu-5.2.0-4695

Size (GiB) ?
20

Please note that changing the size of an image is not allowed.

Index
Next Available

Cancel Add

Disk2台目：データディスク（メタデータとログ保存用）として128GBディスクを作成

Add Disk

Type
DISK

Operation
Allocate on Storage Container

Bus Type
SCSI

Storage Container
default-container-70412818642825 (18...

Size (GiB) ?
128

Index
Next Available

Cancel Add

シナリオ 1：AHVへのバックアップコントローラーの展開

NICの追加：

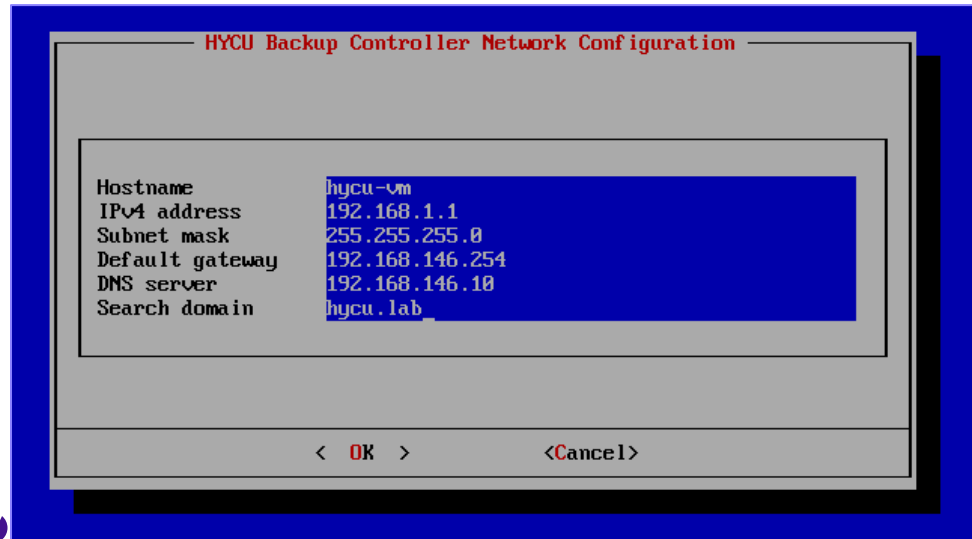
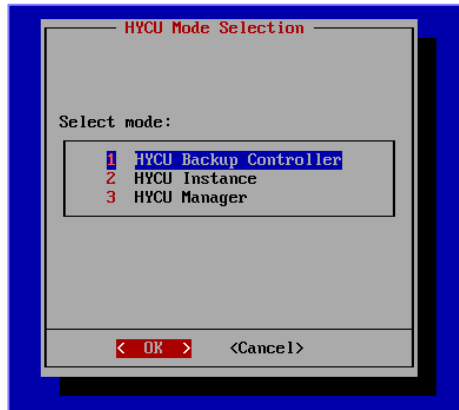
Nutanix環境との接続は1台目のNICとなりますが、異なるネットワークに接続されているストレージをターゲットとする環境では複数NICを設定します。

HYCU側でNIC枚数の制限はありません。

③ 仮想マシン作成後、仮想マシンを起動

シナリオ 1：AHVへのバックアップコントローラーの展開

④ 仮想アプライアンスのモード指定
「1 HYCU Backup Controller」と
ネットワーク設定の入力



⑤ ブラウザから管理画面に接続

https://(コントローラーのアドレス):8443 に接続

ユーザー名：admin

パスワード：admin



以上で展開作業は終了

シナリオ 2：ESXiへのバックアップコントローラーの展開

① OVFテンプレートのデプロイ

vCenterから[OVFテンプレートのデプロイ]を実行し、[ローカルファイル]の[ファイル選択]ボタンからダウンロードしたファイル2つを指定

OVF テンプレートのデプロイ

1 OVF テンプレートの選択

- 2 名前とフォルダの選択
- 3 コンピューティング リソース...
- 4 詳細の確認
- 5 ストレージの選択
- 6 設定の確認

OVF テンプレートの選択

リモート URL またはローカル ファイル システムから OVF テンプレートを選択します

URL を入力してインターネットから OVF パッケージをダウンロードおよびインストールするか、またはコンピュータからアクセス可能な場所 (ローカル ハード ドライブ、ネットワーク共有、CD/DVD ドライブなど) を参照します。

☐ URL

☐ http | https://remoteserver-address/filetodeploy.ovf | .ova

☒ ローカル ファイル

ファイル選択 2 ファイル

CANCEL

BACK

NEXT

② ウィザードに従い、設定を進める

OVF テンプレートのデプロイ

✓ 1 OVF テンプレートの選択

- 2 名前とフォルダの選択
- 3 コンピューティング リソース...
- 4 詳細の確認
- 5 ストレージの選択
- 6 設定の確認

名前とフォルダの選択

一意の名前とターゲットの場所を指定します

仮想マシン名: hycubackup

この仮想マシンの場所を選択してください。

▼ pro-vcenter.dev.com
> Datacenter

CANCEL

BACK

NEXT

シナリオ 2 : ESXiへのバックアップコントローラーの展開

③ OVFテンプレートのデプロイ

[設定]画面で[HYCU Backup Controller]を選択し、[NEXT]に進む。

OVF テンプレートのデプロイ

- ✓ 1 OVF テンプレートの選択
- ✓ 2 名前とフォルダの選択
- ✓ 3 コンピューティング リソース...
- ✓ 4 詳細の確認
- 5 設定**
- 6 ストレージの選択
- 7 ネットワークの選択
- 8 テンプレートのカスタマイズ
- 9 設定の確認

設定
デプロイ構成の選択

☒ HYCU Backup Controller

説明
HYCU backup controller mode

☐ HYCU Instance

☐ HYCU Manager

3 アイテム

CANCEL BACK NEXT



④ ネットワーク情報を入力

OVF テンプレートのデプロイ

- ✓ 1 OVF テンプレートの選択
- ✓ 2 名前とフォルダの選択
- ✓ 3 コンピューティング リソース...
- ✓ 4 詳細の確認
- ✓ 5 設定
- ✓ 6 ストレージの選択
- ✓ 7 ネットワークの選択
- 8 テンプレートのカスタマイズ**
- 9 設定の確認

テンプレートのカスタマイズ
このソフトウェア ソリューションのデプロイ プロパティをカスタマイズします。

✓ すべてのプロパティに有効な値があります

Network Settings	7 settings
1) Hostname	DNS hostname for the virtual appliance. hycubackup
2) IP address	IP address for the virtual appliance. 192.168.146.25
3) Netmask	Network netmask. 255.255.255.0
4) Gateway	Gateway IP address. 192.168.146.2
5) DNS Servers	Comma separated list of IP addresses for DNS servers. 192.168.146.11
6) Search Domain	Enter domain used as part of a domain search

CANCEL BACK NEXT

シナリオ 2：ESXiへのバックアップコントローラーの展開

⑤ OVFテンプレートのデプロイ

設定を確認し、問題が無ければ[FINISH]をクリック

OVF テンプレートのデプロイ

✓ 1 OVF テンプレートの選択

✓ 2 名前とフォルダの選択

✓ 3 コンピューティング リソー...

✓ 4 詳細の確認

✓ 5 設定

✓ 6 ストレージの選択

✓ 7 ネットワークの選択

✓ 8 テンプレートのカスタマイズ

9 設定の確認

設定の確認

作成を開始するには「終了」をクリックします。

プロビジョニングタイプ	テンプレートからのデプロイ
名前	hycubackup
テンプレート名	hycu-5.2.0-4701
ダウンロード サイズ	不明
ディスク上のサイズ	不明
フォルダ	Datacenter
リソース	192.168.146.10
ストレージのマッピング	1
すべてのディスク	データストア: datastore1-2、形式: シン プロビジョニング
ネットワークのマッピング	1
VM Network	VM Network
IP アドレスの割り当て設定	
IP プロトコル	IPv4
IP アドレスの割り当て	静的 - 手動

CANCEL

BACK

FINISH

注意点：展開後にCPU数とメモリ容量を要件に合わせて変更してください。その後にVMを起動します。

⑥ ブラウザから管理画面に接続

[https://\(コントローラーのアドレス\):8443](https://(コントローラーのアドレス):8443) に接続
ユーザー名：admin
パスワード：admin

The image shows the HYCU login interface. On the left, there is a network diagram with various nodes labeled 'HYCU' and 'Datacenter'. On the right, there is a white login box with the HYCU logo, the text 'HYCUへようこそ' (Welcome to HYCU), and 'エンタープライズクラウドの完全なデータ保護' (Complete data protection for enterprise cloud). Below this, there are input fields for 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password), and a 'サインイン' (Sign In) button. At the bottom, it says 'Copyright 2024 HYCU. All rights reserved.'

HYCU®

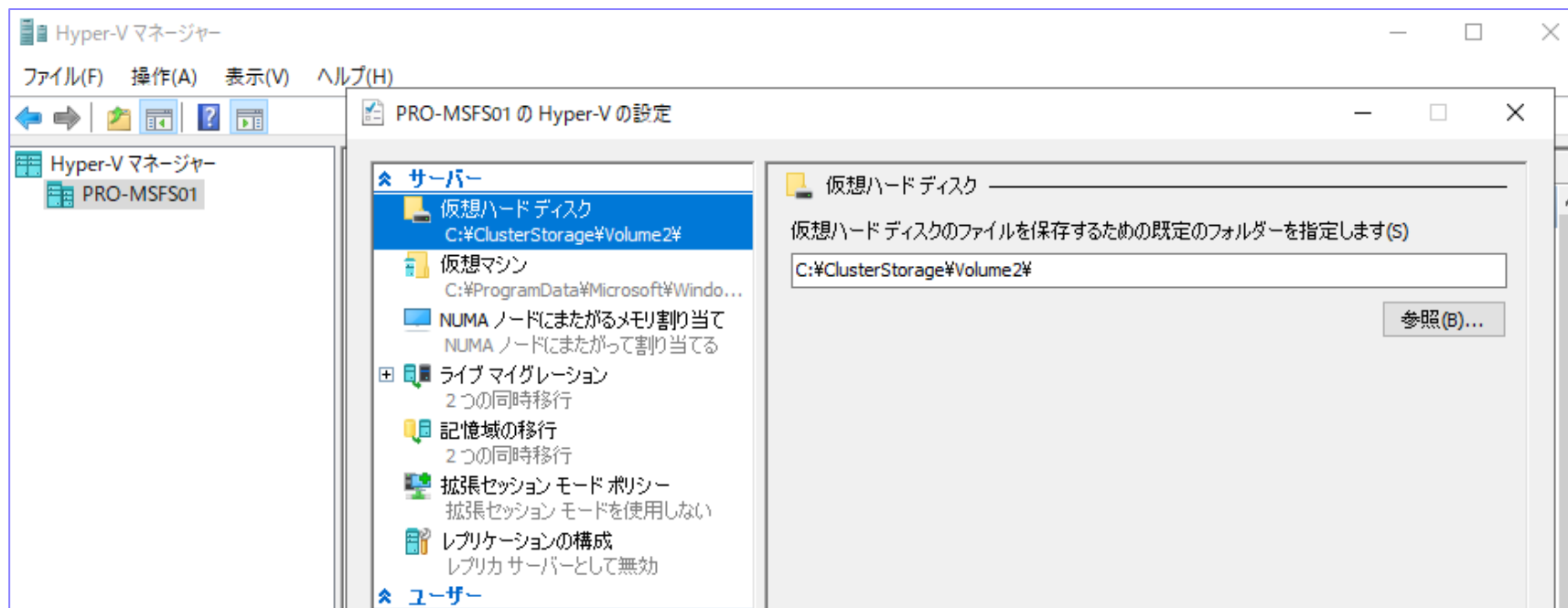
以上で展開作業は終了

55

シナリオ 3：Hyper-Vへのバックアップコントローラーの展開

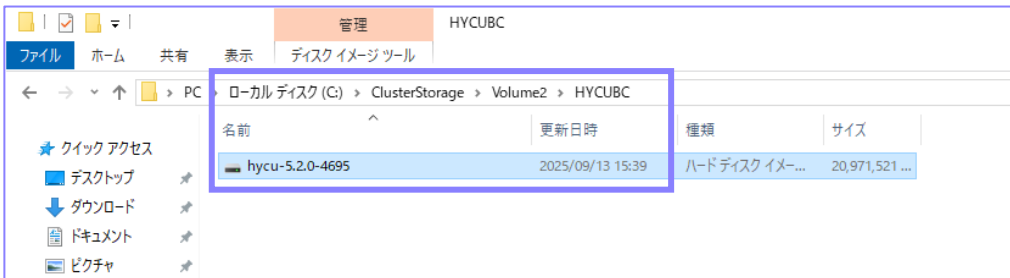
前提条件：

- ソースとして登録するのはHyper-VフェールオーバークラスタのFQDNになります。
- Hyper-Vマネージャーから、仮想ハードディスクの既定の保存先をローカルから共有ディスクへ変更します。
(既定でローカルに保存する設定であり、HYCUにアクセス権がないと“Can not initialize nbd device /dev/nbdX”のようなエラーにより、復元ジョブが失敗します。)



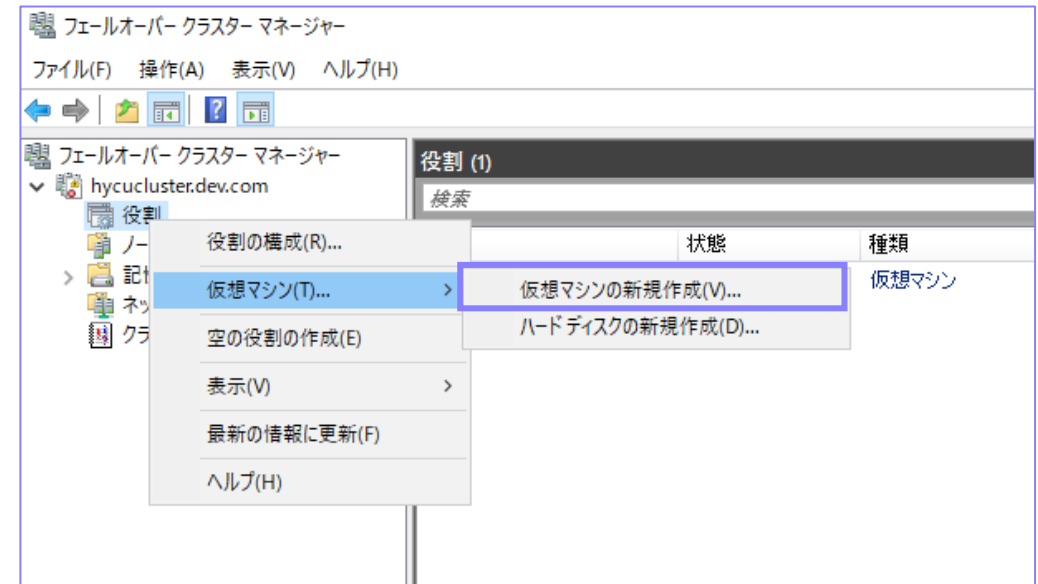
シナリオ 3：Hyper-Vへのバックアップコントローラーの展開

① VHDファイルを共有ディスク上に配置



② 仮想マシンの作成

[フェールオーバークラスターマネージャー]管理画面から、対象クラスターを選択し、[仮想マシンの新規作成]を実行します。
その後はウィザードに従って進めます。



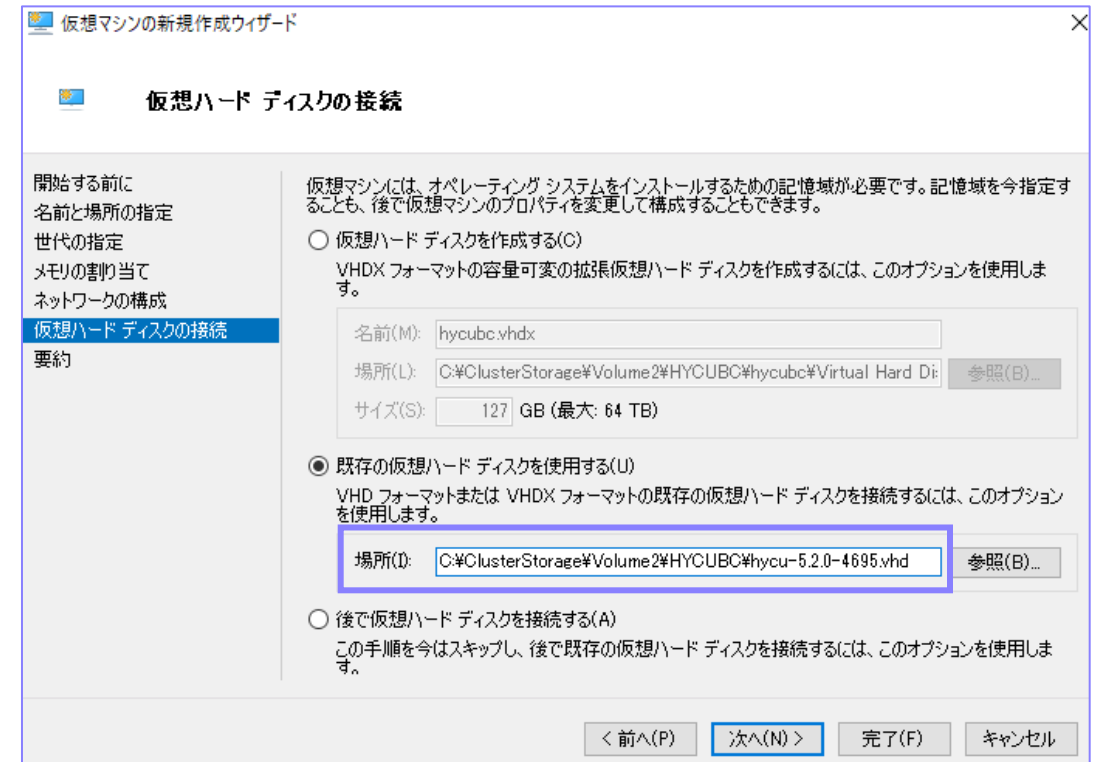
シナリオ 3 : Hyper-Vへのバックアップコントローラーの展開

③ ネットワークの構成で、フェールオーバークラスターと通信できるネットワークアダプターを指定



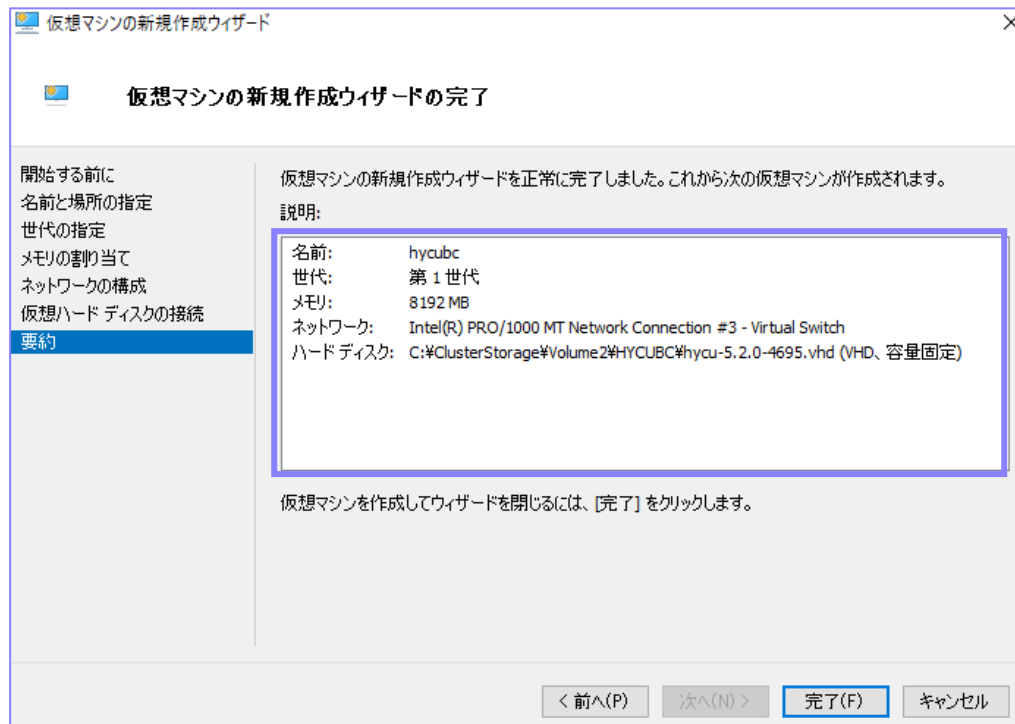
④ 仮想マシの作成

[既存の仮想ハードディスクを使用する]を選択し、配置したHYCUのVHDを指定します。



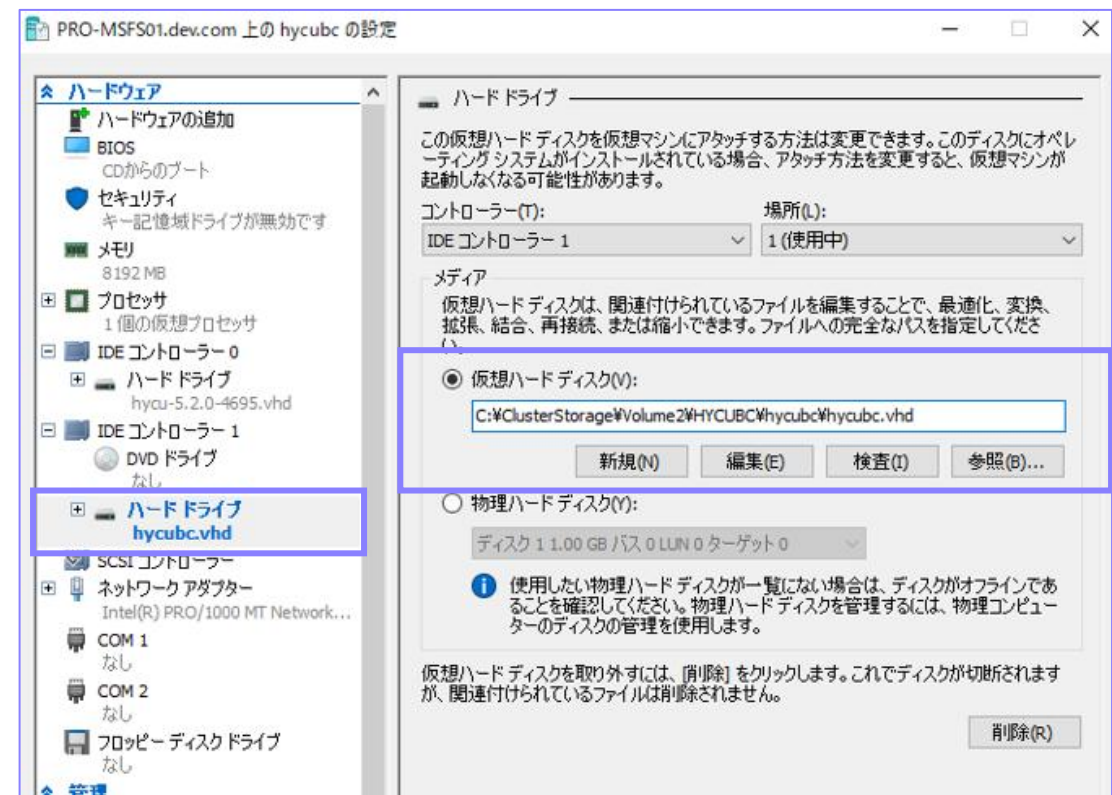
シナリオ 3 : Hyper-Vへのバックアップコントローラーの展開

⑤ 新規作成ウィザードを完了



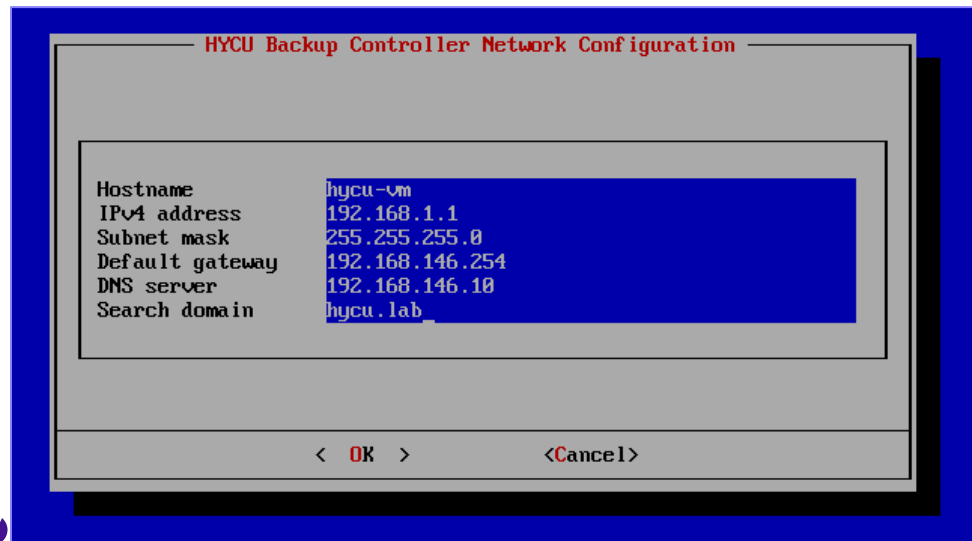
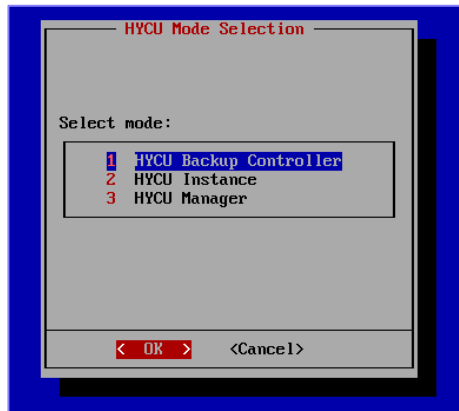
⑥ 2 台目の仮想ディスクの追加

128GBの空ディスクを作成し、2台目のディスクとして追加します。



シナリオ 3：Hyper-Vへのバックアップコントローラーの展開

⑦ 仮想アプライアンスのモード指定
「1 HYCU Backup Controller」と
ネットワーク設定の入力



⑧ ブラウザから管理画面に接続

https://(コントローラーのアドレス):8443 に接続

ユーザー名：admin

パスワード：admin

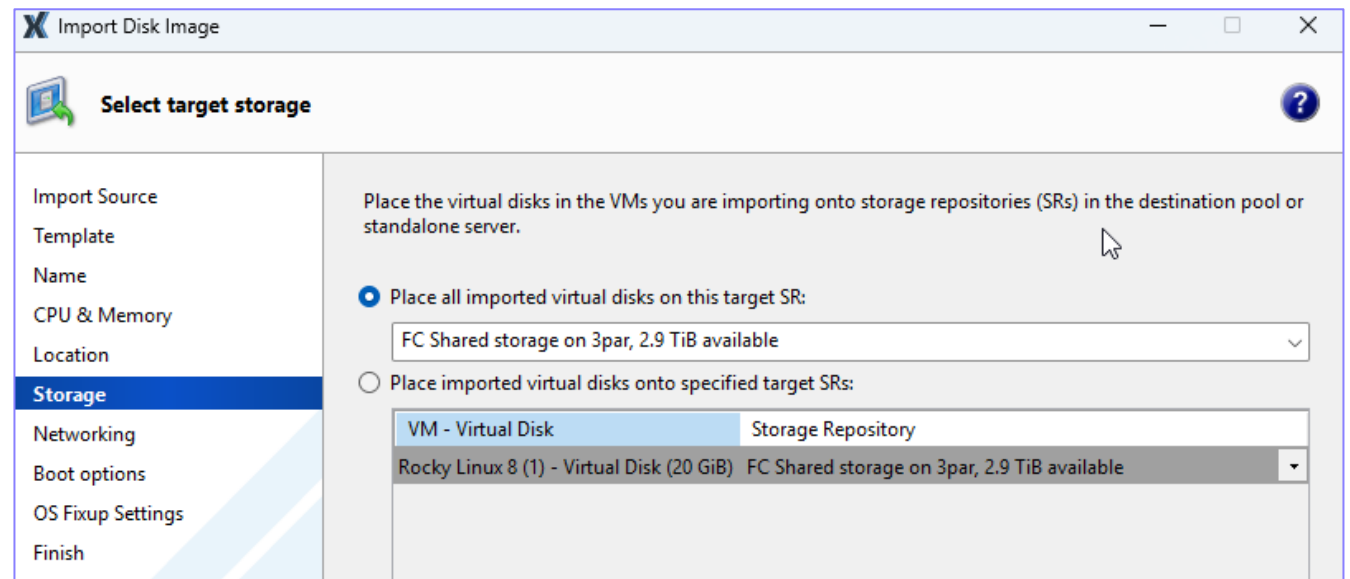
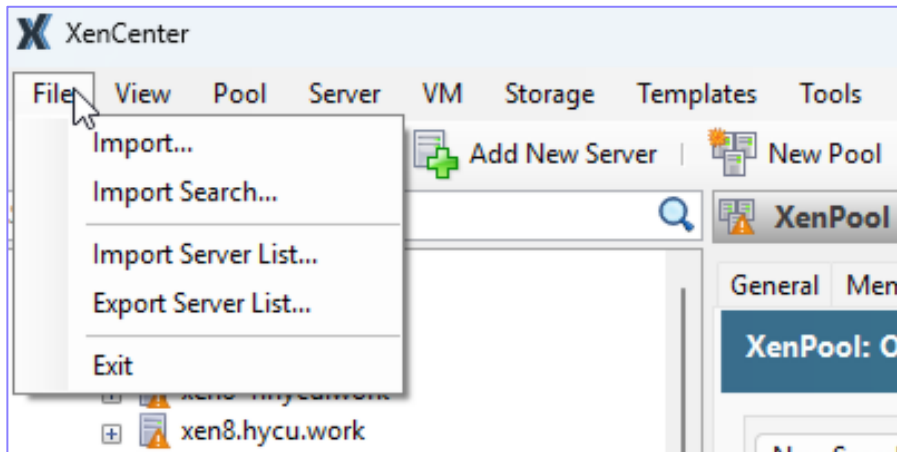


以上で展開作業は終了

シナリオ 4：XenServerへのバックアップコントローラーの展開

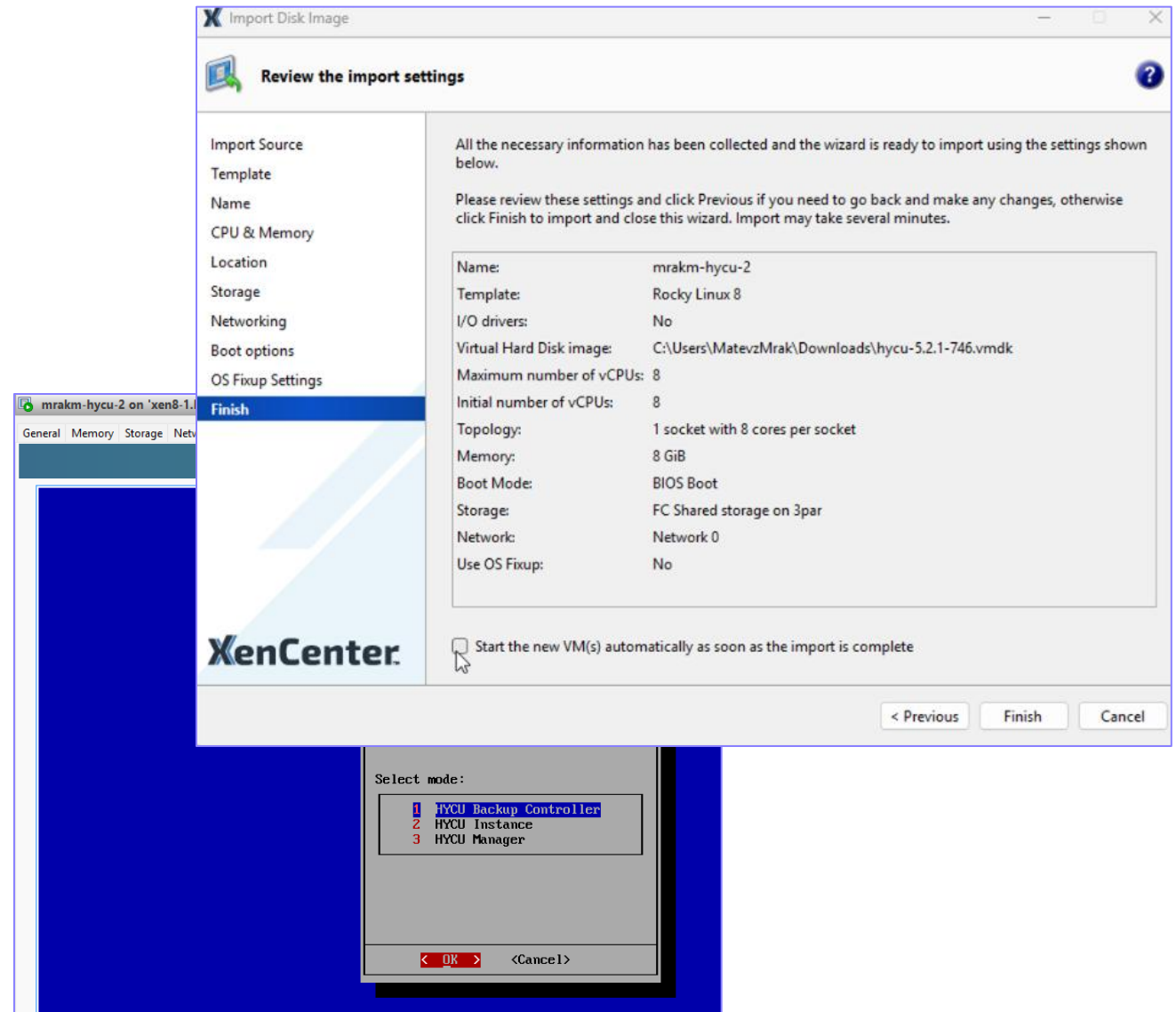
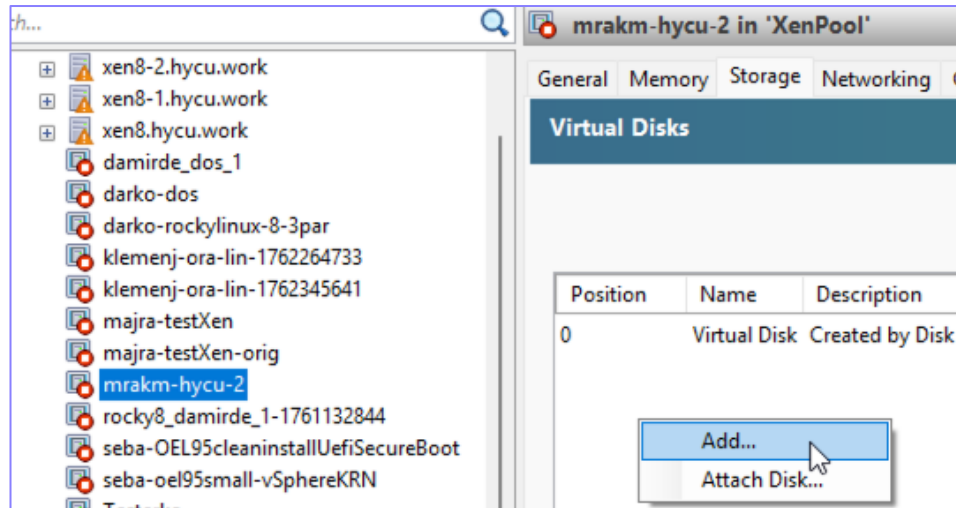
① vmdkイメージを用いて仮想マシンを作成

- ・ XenCenter のインストール必須
- ・ Storage欄、「Place all imported virtual disks on this target SR」と「BIOS Boot」を指定



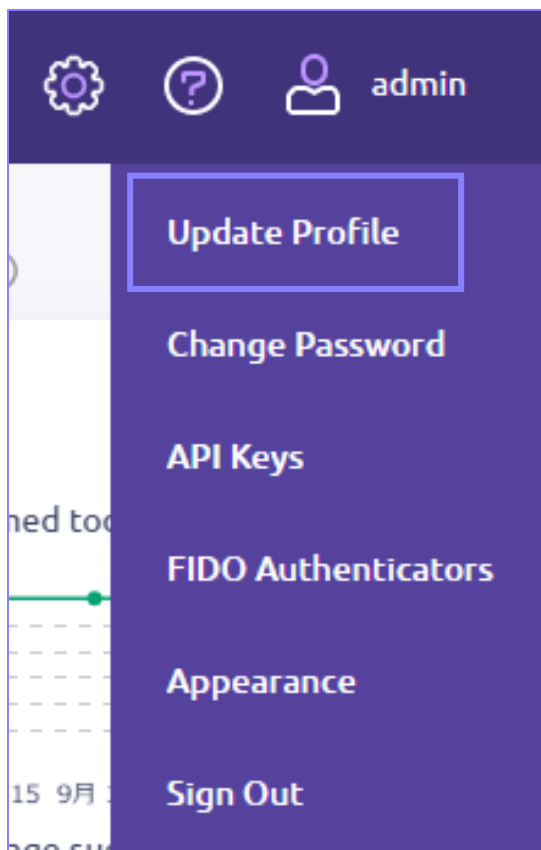
シナリオ 4 : XenServerへのバックアップコントローラーの展開

② 128GBディスクをアタッチ



言語の切り替え

サインイン後、最初は英語画面になっていますが、アカウント毎に言語の指定が可能です。
表示言語を切り替えるには、画面右上のアカウントをクリックし、[Update Profile]を選択します。
[Language]で日本語を選択し、[Save]ボタンをクリックします。

A screenshot of the 'Update Profile' form. The form has a title bar with a question mark and a close button. It contains the following fields: 'Name' (text input with 'admin'), 'Email - Optional' (text input), 'Language' (dropdown menu with '日本語' selected and a red box around it), and 'Two-factor authentication' (toggle switch). At the bottom right, there are 'Close' and 'Save' buttons.

インスタンスの展開

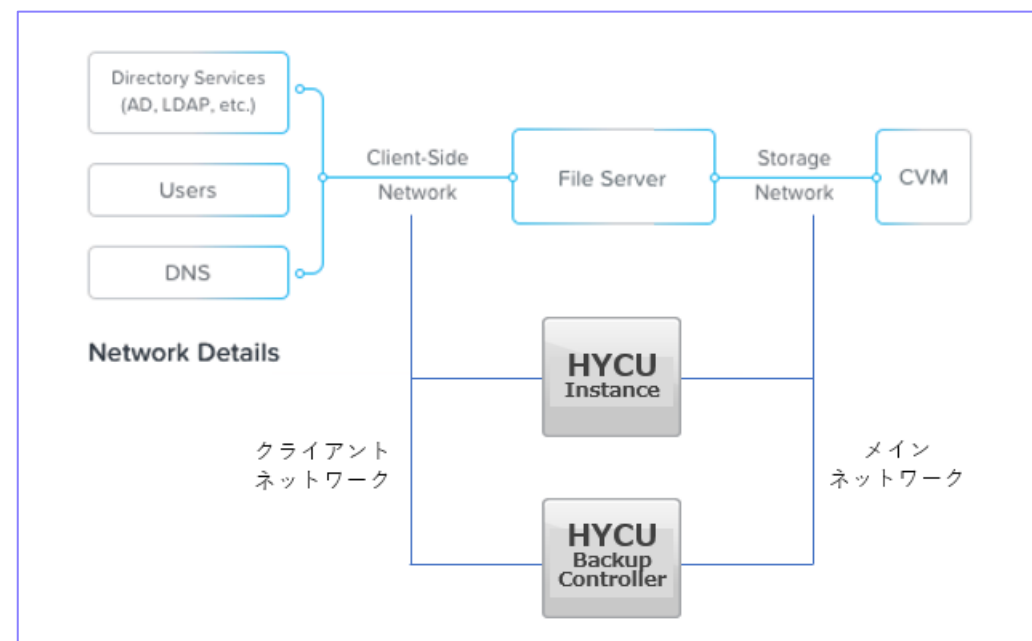
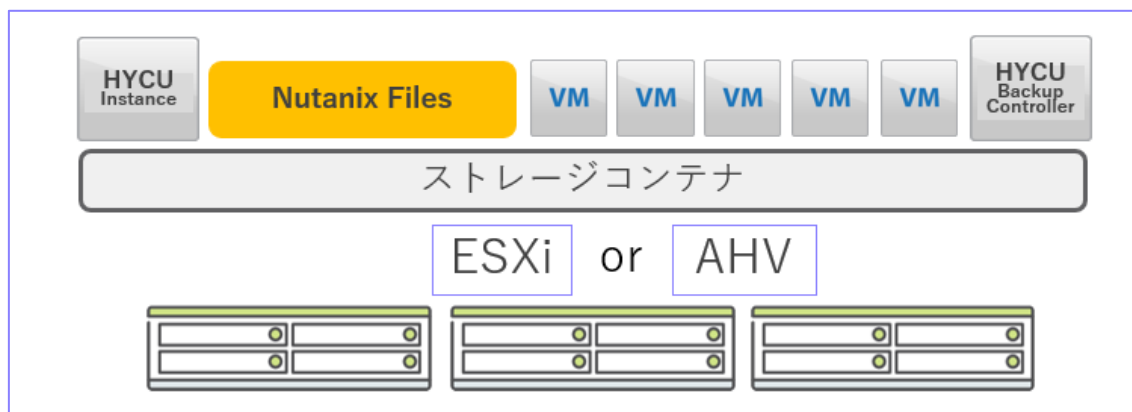
Instanceについて

バックアップの設定はBackup Controllerから行い、Instanceはファイルサーバーのバックアップ、VMware vSphere環境でのHotAdd転送モードのVMバックアップ、マルウェア/ランサムウェアスキャンの処理を行います。NIC 1 枚構成の場合は特に複雑な展開作業は必要なく、管理画面から簡単にInstanceを展開できます。Nutanix Filesの場合、管理ネットワークとクライアントネットワークが分離されていることが多く、このような構成ではInstanceも複数のNIC構成となります。本セクションではNutanix Filesを前提としてNIC 2 枚構成の設定について記載しています。

Nutanix Filesのバックアップ

バックアップコントローラーはNutanix CVMと通信をするため、インスタンスも同様にNutanix CVMと通信するネットワークに接続します。ただし、FilesのバックアップはSMB共有フォルダ/NFS共有フォルダ単位で取得するため、クライアント側のネットワークとも通信できる必要があります。

下図のように、「Storage Network」と「Client-Side Network」の両方と通信できる必要があります。



Nutanix Filesのバックアップ

両ネットワーク間が疎通する環境では、バックアップコントローラーとインスタンスはNIC1枚を使ってネットワークに接続できます。ですが、両ネットワークが疎通しない環境では、NICを2枚登録し各ネットワークに接続設定を行う必要があります。今回は「Storage Network」と「Client-Side Network」が完全に分離されていることを前提にした手順をご紹介します。設定の流れはこちらです。

事前準備：

- バックアップコントローラーにソースとしてNutanix Filesクラスタを登録
- Nutanix FilesクラスタにHYCUイメージファイルをアップロード

設定手順：

1. バックアップコントローラー画面から、2枚目のNICのネットワークを設定
2. バックアップコントローラー画面から、インスタンスを手動展開
3. インスタンスのNIC設定

事前準備

① ソースの追加

HYCU画面でソースに進みます。ハイパーバイザーとしてNutanix Files クラスタを登録します。



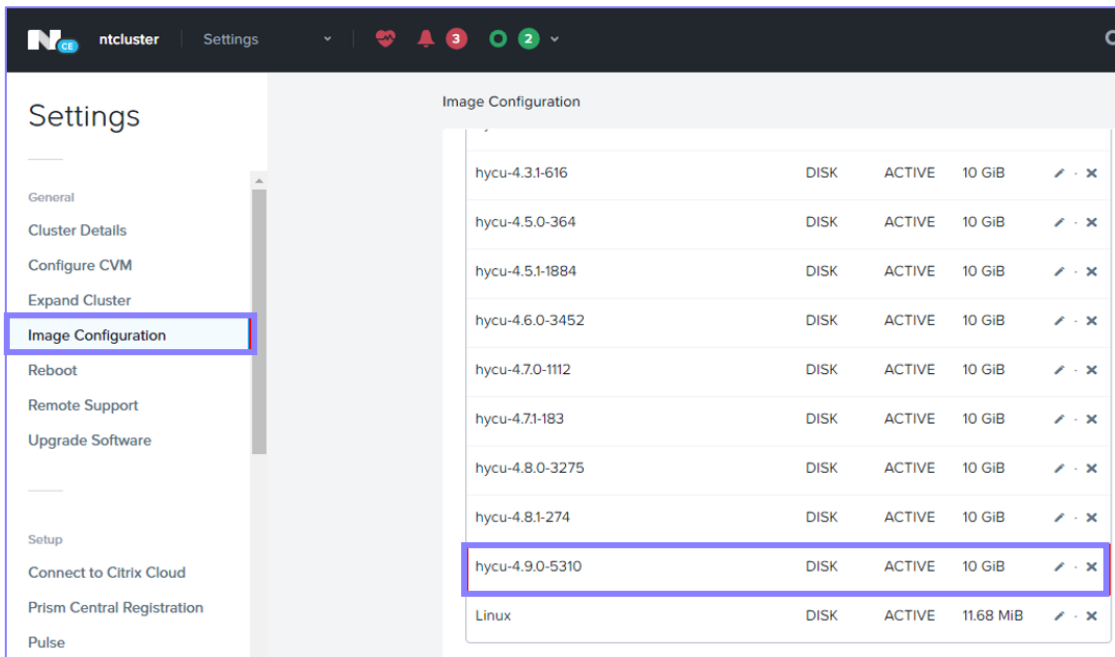
The screenshot shows the 'ハイパーバイザー > 新規' (Hypervisor > New) form. The form includes fields for URL (with a hint icon and example: https://<Source hostname/IP>:<port>), ユーザー名 (Username), and パスワード (Password). There is also a checkbox for '証明書認証を有効にする' (Enable certificate authentication). The form has buttons for '閉じる' (Close), '前へ' (Previous), and '次へ' (Next).

事前準備

② イメージファイルのアップロード

例：hycu-4.9.0-5310.qcow2の場合

※登録名はイメージ名と統一すること



The screenshot shows the ncluster web interface. The left sidebar contains a 'Settings' menu with options like General, Cluster Details, Configure CVM, Expand Cluster, Image Configuration (highlighted), Reboot, Remote Support, Upgrade Software, Setup, Connect to Citrix Cloud, Prism Central Registration, and Pulse. The main area displays the 'Image Configuration' table, which lists various image configurations. The row for 'hycu-4.9.0-5310' is highlighted with a red box.

Image Name	Type	Status	Size	Actions
hycu-4.31-616	DISK	ACTIVE	10 GiB	✎ ✕
hycu-4.5.0-364	DISK	ACTIVE	10 GiB	✎ ✕
hycu-4.5.1-1884	DISK	ACTIVE	10 GiB	✎ ✕
hycu-4.6.0-3452	DISK	ACTIVE	10 GiB	✎ ✕
hycu-4.7.0-1112	DISK	ACTIVE	10 GiB	✎ ✕
hycu-4.7.1-183	DISK	ACTIVE	10 GiB	✎ ✕
hycu-4.8.0-3275	DISK	ACTIVE	10 GiB	✎ ✕
hycu-4.8.1-274	DISK	ACTIVE	10 GiB	✎ ✕
hycu-4.9.0-5310	DISK	ACTIVE	10 GiB	✎ ✕
Linux	DISK	ACTIVE	11.68 MiB	✎ ✕

1. バックアップコントローラーで2枚目のNIC設定

① Prism画面からバックアップコントローラーをシャットダウンし、2枚目のNICを追加します。
その後、マシンを起動します。

② HYCU管理画面にサインインし、画面右上の管理メニューから[ネットワーク]をクリックします。

③ 2枚目のNICを選択し、[編集]ボタンをクリックします。



The screenshot displays the HYCU Infrastructure Group management interface. On the left, the 'Infrastructure Group' sidebar lists various settings, with 'ネットワーク' (Network) selected. The main content area shows the 'ネットワーク' (Network) configuration page. At the top, there are tabs for '全般' (General) and 'スロットリング' (Throttling). Below, the 'ホスト名' (Host Name) field is set to 'hycubackup'. A table lists network interfaces with columns for MAC, DNS, ドメイン名 (Domain Name), リスニングポート (Listening Port), IPアドレス (IP Address), and ネットマスク (Netmask). The second interface (MAC: 00:0c:29:b3:28:9d) is selected, and the '編集' (Edit) button is highlighted. The bottom right corner contains '閉じる' (Close) and '保存' (Save) buttons.

MAC	DNS	ドメイン名	リスニングポート	IPアドレス	ネットマスク
00:0c:29:b3:28:93	192.168.146.11	dev.com	8443	192.168.146.17	255.255.255.0
00:0c:29:b3:28:9d	192.168.146.11	dev.com		192.168.25.129	255.255.255.0

1. バックアップコントローラーで2枚目のNIC設定

④ クライアントネットワーク側のIP設定を入力します。デフォルトゲートウェイをストレージネットワーク側で有効にする為、こちらは空白のままにし、[保存]をクリックします。
※クライアントネットワーク側にデフォルトゲートウェイを設定する場合はこちらにゲートウェイのIPアドレスを入力します。

ネットワーク > 00:0c:29:b3:28:9d

IPv4アドレス
172.146.1.11

IPv4ゲートウェイ - オプション

ネットマスク
255.255.255.0

☐ IPv6構成を有効化

ドメイン名 - オプション

DNS - オプション

☐ このポートでのリスニングを有効にする

リスニングポート

SSL証明書
選択してください

! HYCUネットワーク設定に変更を加えると、自動的にログアウトされ、セッションが再開されます。

閉じる

前へ

保存

「このポートでリスニングを有効にする」を有効化すると、HYCU管理画面に接続ができます。ポート番号を指定します。

1. バックアップコントローラーで2枚目のNIC設定

⑤ ネットワーク設定の変更により、一度セッションが切断されるため、再度接続します。
その後、ネットワーク設定が反映したことが確認できます。

ネットワーク

全般

スロットリング

ホスト名

hycubackup

編集

メインに設定

Rows per page 10 | Page < 1 > of 1 | 2

MAC	DNS	ドメイン名	リスニングポート	IPアドレス	ネットマスク
00:0c:29:b3:28:93	192.168.146.11	dev.com	8443	192.168.146.17	255.255.255.0
00:0c:29:b3:28:9d	192.168.146.11	dev.com		172.146.1.11	255.255.255.0

閉じる

保存

今回はストレージネットワーク側が[メイン]となっています。クライアントネットワークを経由してクラウド等にバックアップする場合、クライアントネットワーク側を[メインに設定]にする必要があります。これは、[メイン]のネットワークがデフォルトゲートウェイを持つ為です。

2. インスタンスの展開

① HYCUインスタンスメニューをクリックします。

② [+新規]ボタンをクリックします。



2. インスタンスの展開

③ インスタンスのIP設定を行います。ここでは、ストレージネットワーク側に接続するNICが1枚の構成になります。最後に[保存]をクリックします。数分後、インスタンスが正常に作成されたことが確認できます。

HYCUインスタンス > 新規

全般

VM名

hycuinstance

ネットワーク設定

ホスト名

hycuinstance

☒ DHCP

IPアドレス

192.168.146.18

ネットマスク/プレフィックス

255.255.255.0

自動

ゲートウェイ

192.168.146.2

自動

展開

宛先

ntcluster

ストレージコンテナ

default-container-70412818642825 - 370.54GB - 270.93GB free

ネットワーク

vlan0

閉じる 前へ 保存



HYCUインスタンス					
検索 Rows per page 10 Page < 1 > of 1 1 + 新規 🗑 削除 ✎ アップデート					
VM名	ホスト名	ソース	ステータス	バージョン	IPアドレス
N/A	hycuinstance		✓	4.9.0-5310	192.168.146.18

3. インスタンスのNIC設定

① Prism画面から **インスタンス** をシャットダウンし、2枚目のNICを追加します。その後、マシンを起動します。

② SSHで **インスタンス** に接続し、NICのネットワークを設定します。

ローカルコンソールのアカウント

ユーザー名：hycu

パスワード：hycu/4u

③ テンプレートファイルを/tmpディレクトリにコピーします。

```
cp /opt/grizzly/misc/ifcfg-mainnetwork.template /tmp/ifcfg-mainnetwork
```

もう1つコピーします。

```
cp /opt/grizzly/misc/ifcfg-mainnetwork.template /tmp/ifcfg-clientnetwork
```

3. インスタンスのNIC設定

④ メインネットワークのIP設定を行います。

`nano /tmp/ifcfg-mainnetwork`

⑤ 以下の値を入力します。

- `HWADDR=` (メインNICのMACアドレス)
※MACアドレスはPrismの仮想マシン設定から確認
- `DEFROUTE=yes` (デフォルトゲートウェイ側をYes)
- `IPADDR=` (IPアドレス)
- `PREFIX=` (サブネット)
- `GATEWAY=` (ゲートウェイ)
- `DOMAIN=` (ドメイン名)
- `DNS1=` (DNSサーバー)

⑥ 最後に、CTRL + X を入力し、次の確認にてY を入力し保存します。

```
# Important! Hardware address of a interface you want to override, obtained using ip address command
# example (between '-->' '<--'):
# 2: enp0s31f6: <BROADCAST,MULTICAST,UP,LOWER_UP> mtu 1500 qdisc fq_codel state UP group default qlen 1000
#    link/ether --> 50:6b:8d:6d:07:75 <-- brd ff:ff:ff:ff:ff:ff
#    inet 10.17.80.124/16 brd 10.17.255.255 scope global dynamic noprefixroute enp0s31f6
#        valid_lft 31266sec preferred_lft 31266sec
#
# CHANGE THIS !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
HWADDR=00:0C:29:81:71:F2
# CHANGE THIS !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

# LEAVE those options as they are!
BOOTPROTO=none
ONBOOT=yes
NM_CONTROLLED=no
TYPE=Ethernet
IPV4_FAILURE_FATAL=no
IPV6INIT=no

# Change this to "yes" ONLY if you want to override settings for default (main) route!
DEFROUTE=yes

# IP address you want to set for specific hardware address
IPADDR=192.168.146.18

# Network mask, for calculating it you can search for: https://duckduckgo.com/?q=cidr+calculator+online
# Most common options
# 255.255.255.0 --> 24
# 255.255.0.0 --> 16
# 255.0.0.0 --> 8
```

3. インスタンスのNIC設定

⑦ クライアントネットワークのIP設定を行います。

`nano /tmp/ifcfg-clientnetwork`

⑧ 以下の値を入力します。

- `HWADDR=` (クライアントNICのMACアドレス)
※MACアドレスはPrismの仮想マシン設定から確認
- `DEFROUTE=no` (デフォルトゲートウェイ側をYes)
- `IPADDR=` (IPアドレス)
- `PREFIX=` (サブネット)
- `GATEWAY=` (ゲートウェイ)
※ゲートウェイ側でない場合は空白
- `DOMAIN=` (ドメイン名)
- `DNS1=` (DNSサーバー)

⑨ 最後に、CTRL + X を入力し、次の確認にてY を入力し保存します。

```
# Important! Hardware address of a interface you want to override, obtained using ip address command
# example (between '-->' '<-->'):
# 2: eno0s31f6: <BROADCAST,MULTICAST,UP,LOWER_UP> mtu 1500 qdisc fq_codel state UP group default qlen 1000
#    link/ether --> 50:0b:8d:6d:07:75 <-- brd ff:ff:ff:ff:ff:ff
#    inet 10.17.80.124/16 brd 10.17.255.255 scope global dynamic noprefixroute eno0s31f6
#       valid_lft 31266sec preferred_lft 31266sec
#
# CHANGE THIS !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
HWADDR=00:0C:29:81:71:FC
# CHANGE THIS !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

# LEAVE those options as they are!
BOOTPROTO=none
ONBOOT=yes
NM_CONTROLLED=no
TYPE=Ethernet
IPV4_FAILURE_FATAL=no
IPV6INIT=no

# Change this to "yes" ONLY if you want to override settings for default (main) route!
DEFROUTE=no

# IP address you want to set for specific hardware address
IPADDR=172.146.1.12

# Network mask, for calculating it you can search for: https://duckduckgo.com/?q=cidr+calculator+online
# Most common options
# 255.255.255.0 --> 24
# 255.255.0.0 --> 16
# 255.0.0.0 --> 8

^G Get Help      ^O Write Out    ^W Where Is     ^K Cut Text     ^J Justify      ^C Cur Pos     M-U Undo       M-A Mark Text
^X Exit          ^R Read File    ^Y Replace      ^U Uncut Text   ^T To Spell     ^_ Go To Line   M-E Redo       M-G Copy Text
```

3. インスタンスのNIC設定

⑩ 編集したファイルを/hycudata/etc/sysconfig/network-scriptsにコピーします。

```
sudo cp /tmp/ifcfg-* /hycudata/etc/sysconfig/network-scripts
```

⑪ `cd /etc/sysconfig/network-scripts` コマンドを実行し、次に `ls` コマンドでifcfg-internal_xxx ファイルを探します。

```
[hycu@hycuinstance ~]$ cd /etc/sysconfig/network-scripts
[hycu@hycuinstance network-scripts]$ ls
ifcfg-internal_d8162d6f-1879-4324-a313-94e682cd7969  ifup-bnep
ifcfg-internal_f9b8b50a-5944-4a67-b904-24d2baaeb9c9  ifup-eth
ifcfg-lo                                              ifup-ippv
ifdown                                              ifup-ipv6
ifdown-bnep                                         ifup-isdn
ifdown-eth                                          ifup-link
```

⑫ `sudo rm ifcfg-internal_*` コマンドでファイルを削除します。

⑬ `sudo systemctl reboot` コマンドでインスタンスを再起動します。設定は以上です。

3. インスタンスのNIC設定（補足）

※クライアントネットワークを[メイン]に設定する場合、

インスタンス側の `/opt/grizzly/config.properties` ファイルに以下の値を登録し、インスタンスを再起動する必要があります。

`catalog.master.url.override=https://(IP address):8443`

このIP addressとは、バックアップコントローラーのストレージネットワーク側のIPアドレスです。この値により、クライアント側が[メイン]に変更されても、インスタンスは引き続きストレージネットワーク経由でバックアップコントローラーの設定情報を取得します。

設定方法はこちらです。

1. SSHで `インスタンス` に接続します。
2. `config.properties` ファイルを開きます。
`sudo nano /hycudata/opt/grizzly/config.properties` を実行します。
3. 一番下に `catalog.master.url.override=https://(IP address):8443` を追加します。
4. `CTRL + X` を入力し、次の確認にて `Y` を入力し保存します。
5. `sudo systemctl reboot` コマンドでインスタンスを再起動します。

以上です。

HYCUの運用

運用で必要となる作業

1. ソース（保護対象）としてNutanixクラスタを登録
2. ソースとしてNutanix Filesを登録
3. ターゲット（バックアップストレージ）の登録
4. ポリシー（バックアップ/アーカイブ等のジョブのルール）の作成と割り当て
5. 仮想マシン/ファイルフォルダ/アプリケーション単位の復元
6. ジョブの結果確認とイベント通知、ログ収集
7. アカウントの作成と権限付与

1. ソースとしてNutanixクラスタを登録

ソースとしてNutanixクラスタを登録

① HYCU画面でソースに進みます。

ハイパーバイザータブを選択し、「+新規」をクリックします。



ソースとしてNutanixクラスタを登録

② Nutanixクラスタ接続のため、次の値を入力します。

- URL：Nutanixクラスタのアドレスをhttps://xxx:9440の形式で入力
- ユーザー名：
- 上記ユーザーのパスワード：

※URLの最後の / は入力しないこと。入力すると無効なURLと表示されます。

※Nutanix側のアカウントはCluster Adminロールが必要です。

※vSphere環境ではvCenterを登録します。

※Hyper-V環境ではフェールオーバークラスタを
https://FQDN名で登録します。

ハイパーバイザー > 新規

URL ?

https://192.168.146.53:9440

ユーザー名

admin

パスワード

.....

☒ 証明書認証を有効にする

閉じる

前へ

次へ

ソースとしてNutanixクラスタを登録

登録が完了すると画面左側の「仮想マシン」メニューから保護対象のインベントリ情報が確認できます。

HYCU

Infrastructure Group

yukiharu.yoshida

ダッシュボード

アプリケーション...

仮想マシン

ボリュームグ...

共有フォルダ

バケット

ポリシー

ターゲット

ジョブ

イベント

レポート

セルフサービス

仮想マシン

バックアップ

資格情報

ポリシーの設定

検証

クラウドからのVMスピンアップ

構成

検索

Rows per page 50 | Page < 1 > of 2 | 77 VM

名前	ソース	ポリシー	コンプラ...	保護	検出	検証	R-SHIELD	資格情報...	所有者
☐ HYCU00SQL02	vcenter-esxi.amsdemo.ct	Gold	✓	✓	?	?	R		
☐ HYCU00-FedNet-SpinnerWIN	vcenter-esxi.amsdemo.ct	Bronze	✓	✓	✓	✗	R	FedNet	
☐ HYCU00DCNYFINVM005	vcenter-esxi.amsdemo.ct	Exclude	?	?	?	?	R		
☐ HYCU00DCNYENGVM005	vcenter-esxi.amsdemo.ct	Gold	✓	✓	?	?	R		
☐ HYCU00DCNYENGVM004	vcenter-esxi.amsdemo.ct	Gold	✓	✓	?	?	R		
☐ HYCU00DCNJFEDVM002	vcenter-esxi.amsdemo.ct	Bronze	✓	✓	!	?	R	VM02	
☐ HYCU00DCNJFEDVM001	vcenter-esxi.amsdemo.ct	Bronze	✓	✓	✓	?	R	Dev Admin	
☐ HYCU00Rocky Linux 8.10	Server	Exclude	?	?	?	?	R		
☐ HYCU00NJPHYLIN01	Server	Exclude	?	?	✓	?	R	LNx admin	
☐ HYCU00DCNJENG033_Phy	Server	Exclude	?	?	✓	?	R	MS admin	
☐ HYCU00SQL01EXP	nutanix-esx-demo	Exclude	?	?	?	?	R		
☐ HYCU00RONJSLSV012	nutanix-esx-demo	Bronze	✓	✓	?	?	R		

これでソースの登録は完了ですが、管理権限のある資格情報を割り当てることで、VM内のアプリケーション認識・アプリケーションバックアップ、プレ/ポストコマンドの実行、ファイルデータの直接復元等が実行できるようになります。

資格情報の割り当て

データベースが稼働するVM等の場合、整合性確保のため、資格情報を割り当てが必要なことがあります。

① 画面右上の[資格情報]ボタンをクリックします。



② [+ 新規]ボタンをクリックし、アカウントを登録します。

資格情報グループ > 新規

名前

root

プロトコル

Automatic

ユーザー名 ②

root

パスワード

閉じる

前へ

保存

③ [仮想マシン]ビューから対象となるVMもしくは物理マシンを選択し、再度[資格情報]ボタンをクリックします。割り当てるアカウントを選択し、[割り当て]ボタンをクリックして、割り当ては完了です。

資格情報グループ	
検索 Rows per page 50 Page < 1 > of 1 3	
名前	ユーザー名
Fedora Admin	admin
Linux Root	root
Windows Domain Admin	demolab.net\Administrator
閉じる 割り当て解除 割り当て	

資格情報の割り当て

[検出]列に緑のチェックマークが付けば、自動検出は正常に完了しています

保護 ?	検出 ? ^	資格情報グ...
✓	✓	Windows Do...
✓	✓	Windows Do...
✓	✓	Windows Do...
✓	✓	Fedora Admin

アプリケーションが自動検出されると、[アプリケーション]ビューに検出されたアプリケーションがリスト表示されます。

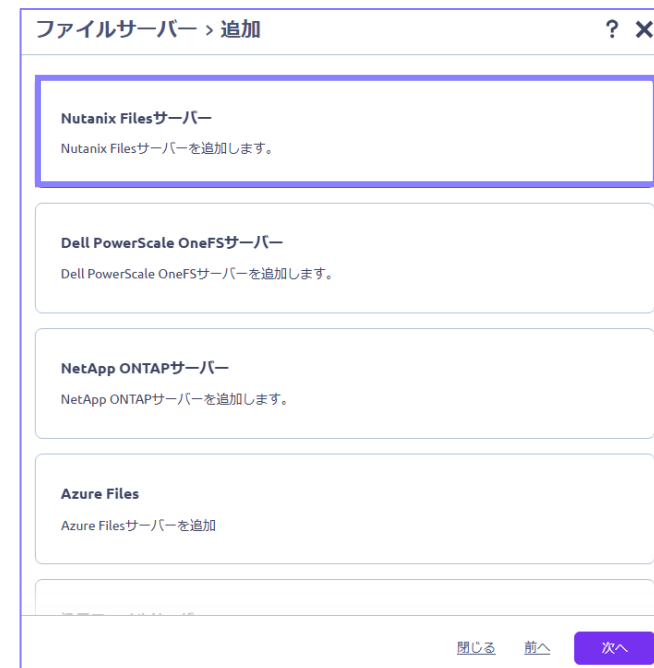
ダッシュボード アプリケーション 仮想マシン ボリュームグ... 共有フォルダ バケット ポリシー ターゲット ジョブ イベント レポート	アプリケーション						
	検索						
	名前 ^	タイプ	ソース	ポリシー	コンプラ... ?	保護 ?	
	☐ exchangeDEMO01.exchange.ct	MS Exchange Server	nutanix-demo	Bronze	✓	✓	
	☐ hycu.ct	MS Active Directory	nutanix-demo	Bronze	✓	✓	
	☐ HYCU00DCNJEXORAVM01\cdb1	Oracle Database	nutanix-esx-...	Bronze	✓	✓	
	☐ HYCU00DCNJEXSAPVM04\HXE	SAP HANA Database	nutanix-esx-...	Bronze	✓	✓	
	☐ HYCU00DCNJOPSV004\MSSQLSERVER	MS SQL Server	nutanix-demo	Bronze	✓	✓	
	☐ HYCU00DCNJOPSV005\MSSQLSERVER	MS SQL Server	nutanix-demo	Silver	✓	✓	
	☐ HYCU00DCNYP0SV001:5432	PostgreSQL	AHV-nutanix	Bronze	✓	✓	
	☐ HYCU00NDBSQLSRV01\MSSQLSERVER	MS SQL Server	AHV-nutanix	Bronze	✓	✓	
	☐ HYCU00NDBXSQLSRV01\MSSQLSERVER	MS SQL Server	nutanix-esx-...	Exclude	?	?	

2. ソースとしてNutanix Filesを登録

ソースとしてNutanix Filesを登録

① HYCU画面でソースに進みます。

ファイルサーバタブを選択し、「+新規」をクリックします。



ソースとしてNutanix Filesを登録

② Files接続のため、次の値を入力します。

- 表示名：任意の名前
- URL：Nutanix Filesのクライアントネットワーク側のアドレスをhttps://xxx:9440の形式で入力
- REST APIユーザー名：
- 上記ユーザーのパスワード：

ファイルサーバー > 追加 Nutanix Filesサーバー

表示名 - オプション

bostonafs

URL

https://bostonafs.demokab.net:9440

REST APIユーザー名

パスワード

閉じる

前へ

次へ

ソースとしてNutanix Filesを登録

③ 共有フォルダバックアップのため、次の値を入力します。

- SMBバックアップ管理ユーザー名：
- 上記ユーザーのパスワード：

SMBプロトコル

共有フォルダへのアクセスにSMBプロトコルを使用する

☒

SMBバックアップ管理ユーザー名

demolab.net\Administrator

パスワード

.....

NFSプロトコル

共有フォルダへのアクセスにNFSv4/NFSv3プロトコルを使用する [?]

☒

[閉じる](#) [前へ](#) [保存](#)

ソースとしてNutanix Filesを登録

以上で登録作業は完了です。

「共有フォルダ」メニューにNutanix Files上の共有フォルダが表示されます。

ソース				
ハイパーバイザー	クラウド	ファイルサーバー	オブジェクトサーバ	サ-
検索 Rows per page 10 Page < 新規				
ファイルサーバー名	バージョン	URL	タイプ	ユーザー名
bostonafs	3.8.1.3	https://bostonafs.demolab....	Nutanix Files	restapiuser

ダッシュボード アプリケーション... 仮想マシン ボリュームグ... 共有フォルダ バケット	共有フォルダ				
	検索 Rows p				
	☐ 名前	プロト...	タイプ	ファイ...	ポリシー
	☐ Marketing	SMB	Nutanix Files	bostonafs	Bronze
	☐ Research	NFS	Nutanix Files	bostonafs	Bronze

ソースとしてNutanix Filesを登録

※Nutanix FilesのクライアントネットワークのアドレスはPrism画面→[File Server]メニューから対象Filesを選択し、[Update]→[Network Configuration]画面から確認できます。
ホスト名へ名前解決できている場合はホスト名を使用できます。

ntnx-roboFile Server

File Servers

Name	Version	Share/Export Count	Open Connections	Space Used (Logical)	Space Used By Snapshots (Logical)	Protection Status	Recommendations	Actions
workshop-files	3.8.1.3	2	0	34.42 MiB	-	Protected	-	Launch Files Console

Summary > workshop-files

File Server Details

Shares/Exports

Monitor

Alerts

File Server Details

workshop-files

DNS Domain Namehycuworkshop.ct

Share/Export Count2

Open Connections0

Shares or Exports

+ New Share

2 Shares/Exports

Name	Share/Export Path	Protocol Type	Total Space	Open Connections	Used Space	Snapshot Space Usage	Restore Enabled
------	-------------------	---------------	-------------	------------------	------------	----------------------	-----------------

Update

Network Configuration

Update File Server Network

Client NetworkStorage Network

Set up a network which communicates between the File Server VMs as well as connectivity to DNS, AD and LDAP.

Directory Services (AD, LDAP, etc.)

Users

DNS

Client-Side Network

File Server

CVM

Network Details

Please remove existing file server DNS entries before changing the client network.

VLANVLAN.0 - Unmanaged

Subnet Mask255.255.255.0

Gateway10.169.28.250

1 IP address(es) required

FROM	TO	NO OF IPS	ACTIONS
10.169.28.96	10.169.28.96	1	

ソースとしてNutanix Filesを登録

※Nutanixにアクセスする際に使用するアカウント情報はPrism画面→[File Server]メニューから対象Filesを選択し、[Configure]→[Manage roles]画面から確認できます。

The screenshot shows the Nutanix Prism interface for managing File Servers. The 'File Servers' table lists the following details for 'workshop-files':

Name	Version	Share/Export Count	Open Connections	Space Used (Logical)	Space Used By Snapshots (Logical)	Protection Status	Recommendations	Actions
workshop-files	3.8.1.3	2	0	34.42 MiB	-	Protected	-	Launch Files Console

The 'Configure' dropdown menu is open, showing options: 'Create Share or Export', 'Manage roles' (highlighted), 'Directory Services', 'User Mapping', and 'DNS'.

The 'Manage roles' dialog box is shown, with the following sections:

Add admins

Add AD users as File Server Admins or Backup Admins. [?](#) [+ New user](#)

USER	ROLE	ACTIONS
hycuworkshop\administrator	File Server Admin: Full access	✎ ✕

REST API access users

Manage users on the file server with REST API access [?](#) [+ New user](#)

USERNAME	PASSWORD	ACTIONS
workshop	*****	✎ ✕

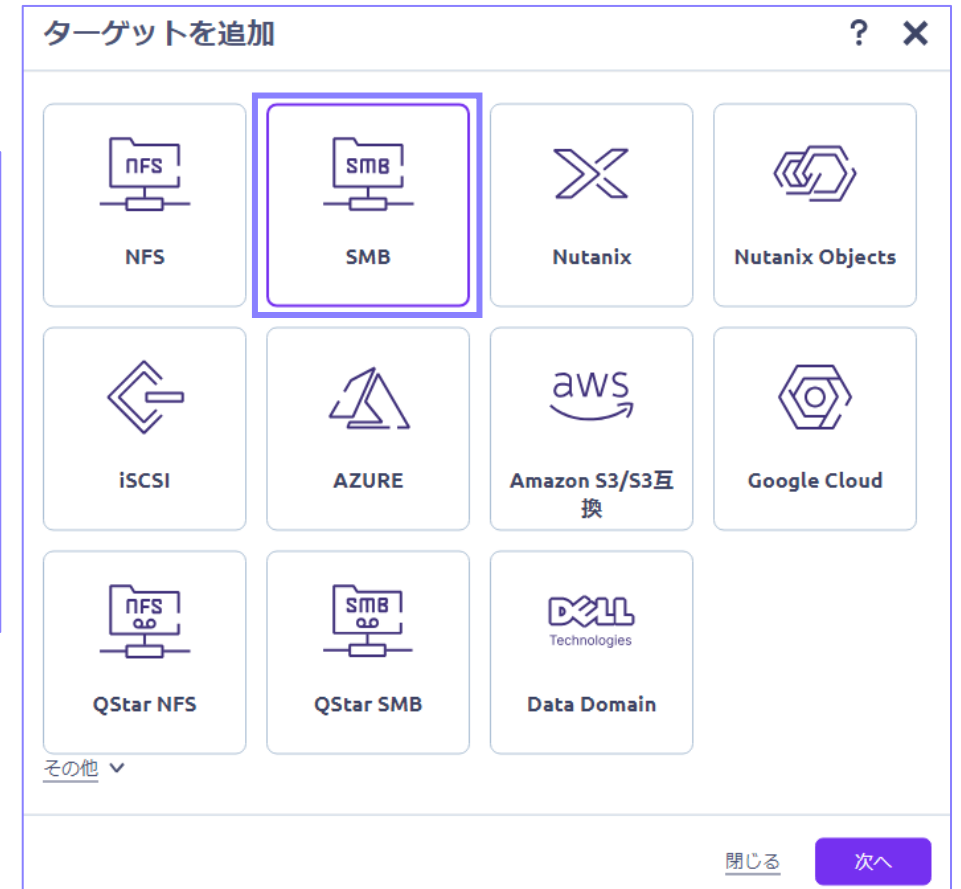
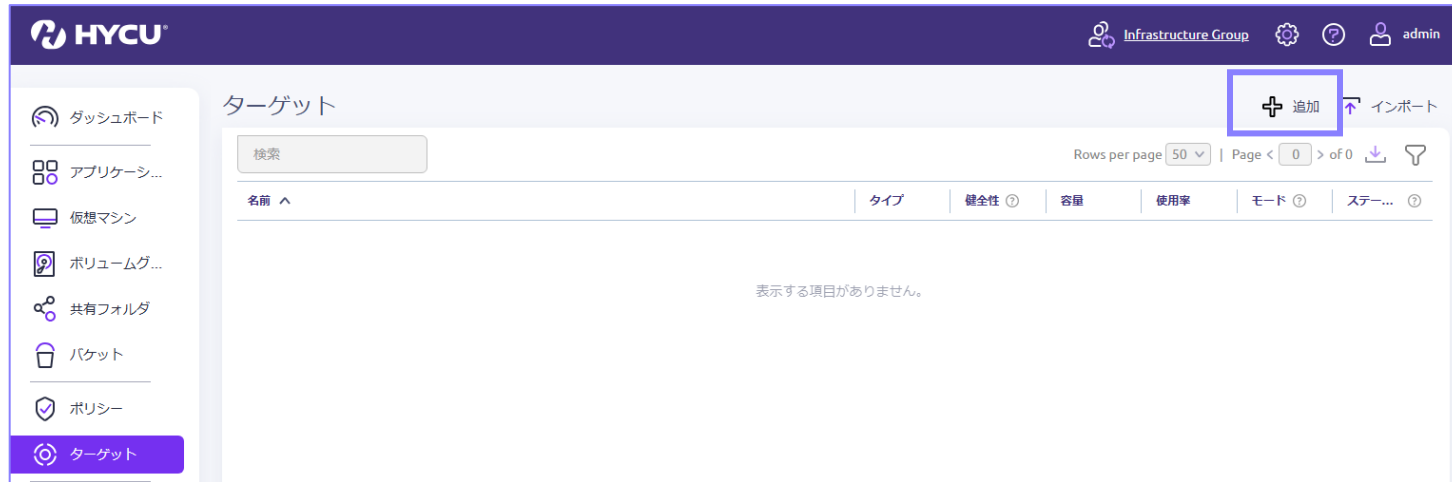
[Close](#)

3. ターゲットの登録

シナリオ 1：NASをバックアップターゲットとして登録

① HYCU画面左「ターゲット」を選択します

「+追加」ボタンをクリックし、タイプでSMBを選択します



シナリオ 1：NASをバックアップターゲットとして登録

② 任意のターゲット名を入力

[同時バックアップ数]欄に同時バックアップのジョブ数を入力します。VM 4 台を同時にバックアップする場合はここに 4 の値を入力します。1つのターゲットに対し複数台を同時バックアップできますが、ストレージのスループットやHYCU VMのリソースに大きく影響を受けるため、あまり大きな値を入力しないことが多いです。

[アーカイブに使用]欄は、アーカイブ専用ストレージの場合にトグルを有効にします。

[圧縮を有効にする]欄は、バックアップデータの圧縮を有効・無効にできます。

ターゲットを追加 > ターゲットオプション ? X

タイプ
SMB

名前
SMB

説明 - オプション

同時バックアップ数 ?
4

アーカイブに使用 ?

圧縮を有効にする ?

閉じる

前へ

次へ

シナリオ 1：NASをバックアップターゲットとして登録

③ ターゲットタイプの選択

権限のあるアカウント情報、SMBサーバー、共有フォルダの情報を
入力します。

[ターゲットの暗号化]を有効にすると、AES256によるデータ暗号化
が有効になります。データ転送中およびデータ保存中のデータが暗
号化されるため、セキュリティが強化されます。
[保存]ボタンをクリックすることで、ターゲット登録は完了です。

※NASの場合、容量オプションは空欄にします

追加 > ターゲットオプション

容量 - オプション ①

TiB

ドメイン - オプション

dev.com

ユーザー名 - オプション

HycuAdmin

パスワード - オプション

SMBサーバー名またはIPアドレス

192.168.146.13

共有フォルダ ②

smb

☒ ターゲットの暗号化

☒ 従量性ターゲット ①

閉じる

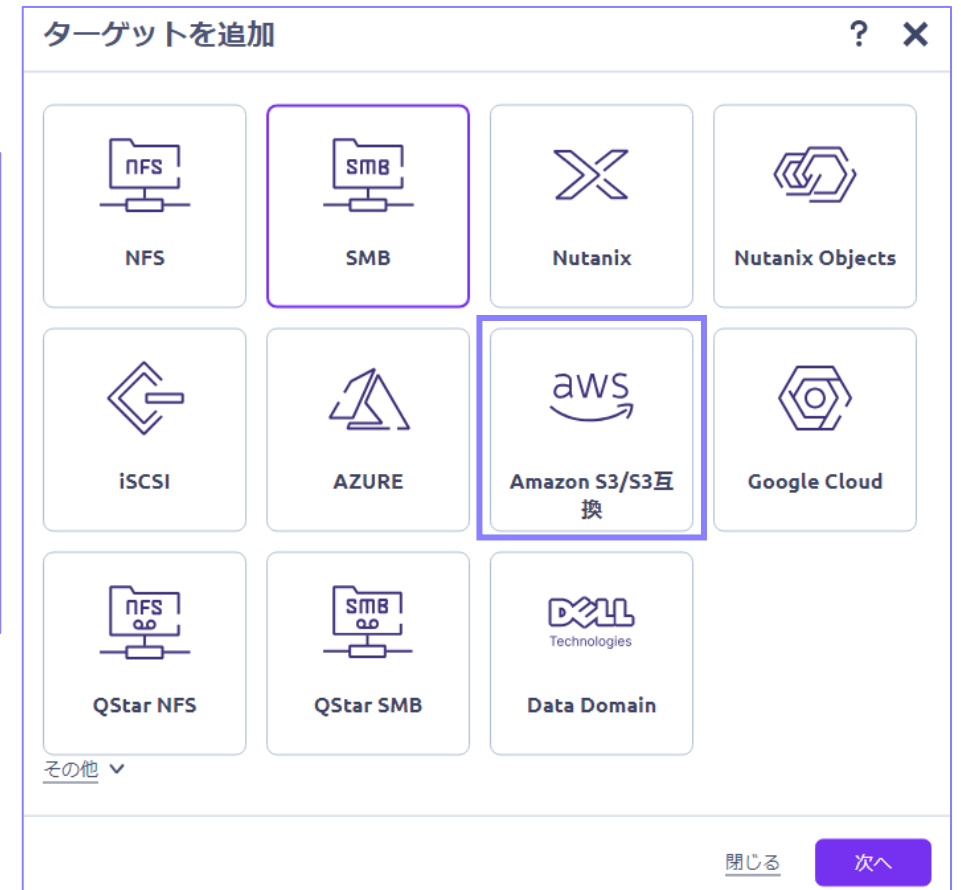
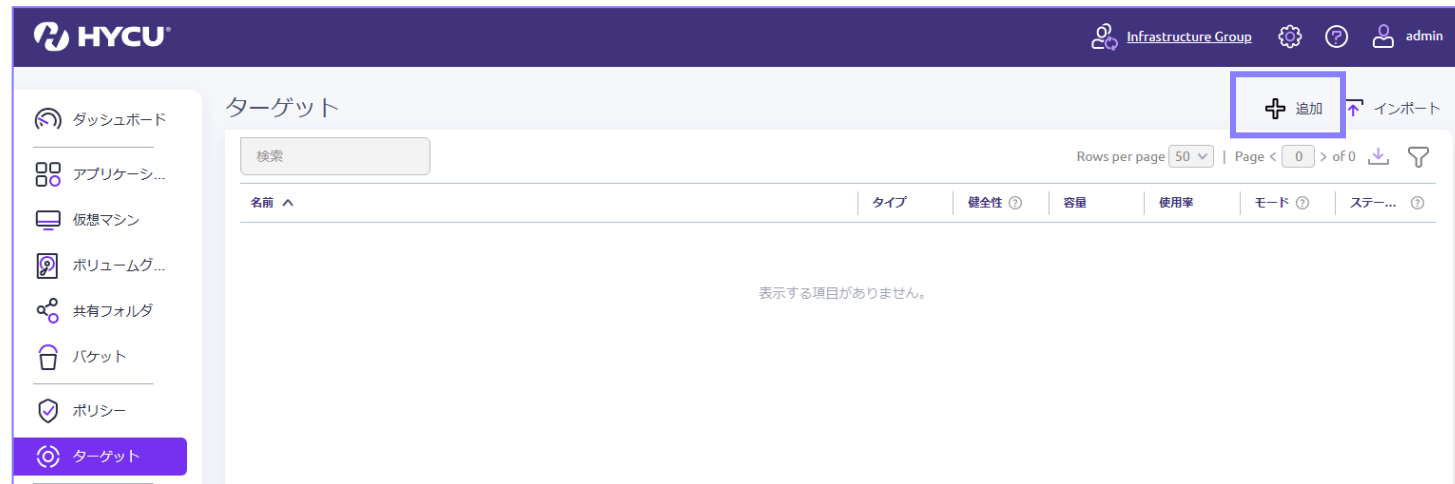
前へ

保存

シナリオ 2：クラウドをアーカイブターゲットとして登録

① HYCU画面左「ターゲット」を選択します

「+追加」ボタンをクリックし、タイプでAWS S3を選択します
※Wasabi等AWS S3互換ストレージもこのタイプを選択します



シナリオ 2：クラウドをアーカイブターゲットとして登録

② 任意のターゲット名を入力

[同時バックアップ数]欄に同時バックアップのジョブ数を入力します。VM 4 台を同時にバックアップする場合はここに 4 の値を入力します。1つのターゲットに対し複数台を同時バックアップできますが、ストレージのスループットやHYCU VMのリソースに大きく影響を受けるため、あまり大きな値を入力しないことが多いです。

[アーカイブに使用]欄は、アーカイブ専用ストレージの場合に **トグルを有効** にします。

[圧縮を有効にする]欄は、バックアップデータの **圧縮を有効** ・無効にできます。

※オブジェクトストレージをアーカイブターゲットにすると自動的に永久増分方式になります。

ターゲットを追加 > ターゲットオプション

タイプ
AWS S3

名前
AWS S3

説明 - オプション

同時バックアップ数 ②
4

☒ アーカイブに使用 ②

☒ 圧縮を有効にする ②

閉じる

前へ

次へ

シナリオ 2：クラウドをアーカイブターゲットとして登録

③ 接続情報の名を入力

追加 > ターゲットオプション

容量 ②

50

↑

↓

TiB

サービスエンドポイント

https://s3.amazonaws.com

ストレージクラス

既定

バケット名

hycujptarget

アクセスキーID

AKIAK5NBKWRT6CAOIBV

シークレットアクセスキー

.....

☐ バススタイルアクセス

☐ ターゲットの暗号化

☒ 従量性ターゲット ①

閉じる

前へ

保存

AWS S3バケットの場合、ストレージクラスを指定できます。

ストレージクラス

既定

S3 Standard

S3 Standard-Infrequent Access

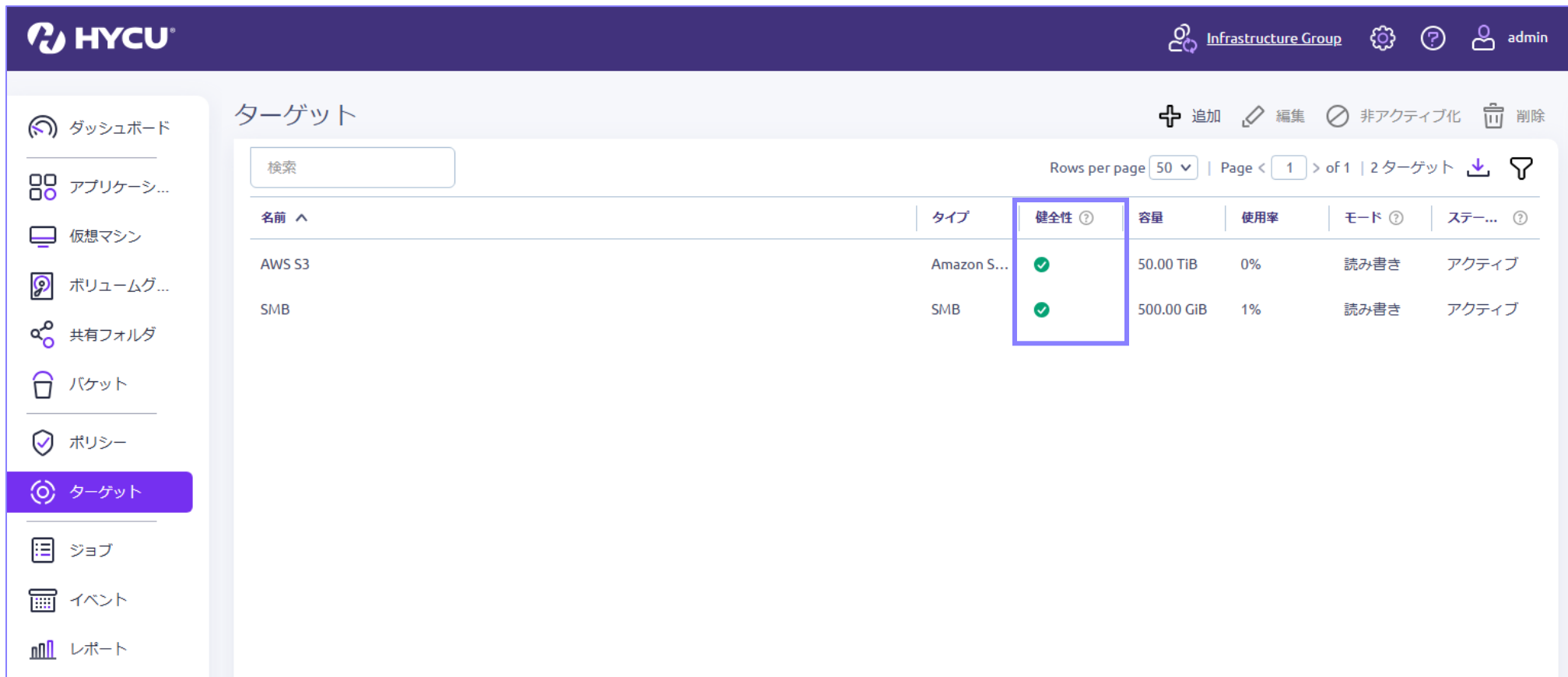
S3 Intelligent-Tiering

S3 One Zone-Infrequent Access

S3 Glacier Instant Retrieval

ターゲットの登録

「ターゲット」メニューを開くと、保存場所のタイプ、健全性、容量や使用率等が把握できるようになっています。健全性とは、15分毎に実行するストレージへの接続テスト・読み書きテストの結果で判断しており、成功すると緑のチェックマークになります。失敗時はストレージへのアクセスに問題が発生していることを意味します。



The screenshot shows the HYCU web interface. The left sidebar contains a menu with items: ダッシュボード, アプリケーシ..., 仮想マシン, ボリュームグ..., 共有フォルダ, バケット, ポリシー, ターゲット (highlighted), ジョブ, イベント, レポート. The main area is titled 'ターゲット' and contains a table of storage targets. The table has columns: 名前, タイプ, 健全性, 容量, 使用率, モード, and ステータス. Two targets are listed: AWS S3 and SMB. Both have a green checkmark in the '健全性' column. The '健全性' column header has a question mark icon. Above the table, there are controls for adding, editing, deactivating, and deleting targets, as well as pagination information (Page 1 of 1, 2 targets).

名前	タイプ	健全性	容量	使用率	モード	ステータス
AWS S3	Amazon S...	✓	50.00 TiB	0%	読み書き	アクティブ
SMB	SMB	✓	500.00 GiB	1%	読み書き	アクティブ

4. ポリシーの作成と割り当て

ポリシーについて

ポリシーとはデータ保護のルールであり、RPO（目標復旧時点）、RTO（目標復旧時間）、保持期間を元に設定し、バックアップ、コピー、アーカイブなどのジョブを1つにまとめて作成します。このポリシーを保護対象に割り当てることで、ジョブを実行します。

HYCU画面左「ポリシー」を選択します

The screenshot displays the HYCU web interface. On the left sidebar, the 'ポリシー' (Policy) option is highlighted. The main content area is titled 'ポリシー' and contains a table of policies. The table has columns for '名前' (Name), 'コンプ...' (Compressed), 'VM数' (VM Count), 'アプリ数' (App Count), '共有フ...' (Shared Folders), 'パケット...' (Packets), 'VG数' (VG Count), and '説明' (Description). The policies listed are Bronze, Exclude, Gold, and Silver. Below the table, the details for the 'Bronze' policy are shown, including a summary and a count of 0 items.

名前	コンプ...	VM数	アプリ数	共有フ...	パケット...	VG数	説明
Bronze	✓	0	0	0	0	0	Backup every 24h, recover within 24h
Exclude	✓	0	0	0	0	0	Backup not required.
Gold	✓	0	0	0	0	0	Backup every 4h, recover within 4h
Silver	✓	0	0	0	0	0	Backup every 12h, recover within 12h

Bronze

概要

UUID 0dbc97da-b7cd-42c6-9155-a7...

ポリシー適用のアイテム

0

ポリシーの作成



「既定に設定」ボタンは既定のポリシーを設定します。ポリシーを割り当てていないVMや共有フォルダにポリシーを割り当てます。Prismから新しくVMを作成し、HYCUがPrismと同期すると、この新しいVMにも既定のポリシーが割り当てられます。

「R-Shield」ボタンは異常検知（データ変更率の増大）、マルウェア/ランサムウェアスキャンを実行する時に使用します。

タイムウィンドウ → バックアップウィンドウの作成

「タイムウィンドウ」ボタンからバックアップウィンドウとコピーウィンドウを設定します。
ポリシー1つに対し、バックアップウィンドウを一つ割り当てることができる為、異なる時間帯にバックアップを実行するには複数バックアップウィンドウを作成すると役に立ちます。コピーウィンドウも同様です。

タイムウィンドウ

?

×

+

新規

編集

削除

検索

Rows per page 10 | Page < 0 > of 0

名前	タイプ	説明
表示する項目がありません。		

タイムウィンドウ > ウィンドウを選択

?

×

バックアップウィンドウ

バックアップジョブの開始を許可する時間帯を定義します。

コピーウィンドウ

コピージョブの開始を許可する時間帯を定義します。

閉じる

前へ

次へ

平日は増分バックアップのみ、週末は完全バックアップと増分バックアップを実行するようなルールを作成することができます。

バックアップウィンドウ > 新規

?

×

名前

バックアップウィンドウ

説明 - オプション

タイムゾーン

Asia/Tokyo (UTC+09:00)

あなたのローカルタイムゾーン
Asia/Tokyo (UTC+09:00)

HYCUコントローラーのタイムゾーン
Etc/UTC (UTC+00:00)

Full/Incremental

Incremental Only

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

月曜

火曜

水曜

木曜

金曜

土曜

日曜

タイムフレーム

すべてクリア

月曜 00:00 - 06:00 ✕

月曜 20:00 - 24:00 ✕

火曜 00:00 - 06:00 ✕

火曜 20:00 - 24:00 ✕

水曜 00:00 - 06:00 ✕

水曜 20:00 - 24:00 ✕

木曜 00:00 - 06:00 ✕

木曜 20:00 - 24:00 ✕

金曜 00:00 - 06:00 ✕

金曜 20:00 - 24:00 ✕

土曜 00:00 - 24:00 ✕

日曜 00:00 - 24:00 ✕

閉じる

前へ

保存

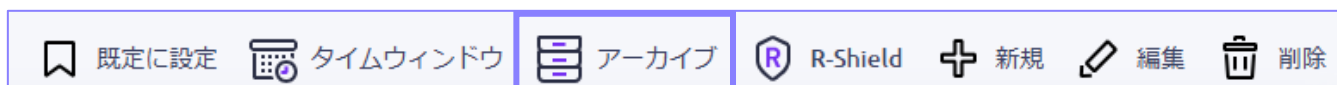
アーカイブポリシーの作成

シナリオとしては、S3バケット等へ永久増分方式でデータを保存する場合にアーカイブポリシーを作成します。
NASへのバックアップ時には、アーカイブは特に不要です。

「アーカイブ」ボタンをクリックし、アーカイブのルールを作成します。

ターゲット作成の際に、「アーカイブに使用」トグルを有効化したターゲットが、アーカイブ保存先になります。
日次、週次、月次、年次のジョブが作成でき、組み合わせは自由です。

※オブジェクトストレージへのアーカイブは永久増分方式となり、それ以外のストレージへのアーカイブは常に完全データ方式になります。



アーカイブ

+ 新規

編集

削除

検索

Rows per page 10 | Page < 0 > of 0

名前	説明
表示する項目がありません。	

アーカイブ > 新規

全般

名前
アーカイブポリシー

説明 - オプション

オプション
☒ 日次 ☐ 週次 ☐ 月次 ☐ 年次

開始
0:00

タイムゾーン
Asia/Tokyo (GMT +09:00)

日次
繰り返し間隔
1 日
☐ 平日のみ実行

保持期間
14 日

ターゲット
AWS S3

閉じる

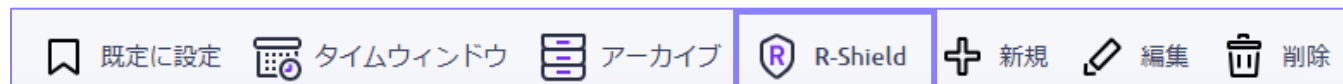
前へ

保存

R-Shieldポリシーの作成

R-Shieldは、異常検知（バックアップデータの著しい増加）やマルウェア/ランサムウェア検知を行う場合に設定します。異常検知はエディション問わず使用可能、マルウェアスキャンはプレミアムエディションのみ使用可能です。

※Backup ControllerにCPU/メモリリソースを追加する必要がありますが、ゆとりがない場合はInstanceを展開し、Instanceにスキャンを実行させることもできます。どのマシンがスキャンを実行するかは製品が自動判断します。



R-Shield

検索

Rows per page 10 | Page < 0 > of 0

名前	説明
表示する項目がありません。	



R-Shield > 新規

名前
Scan

説明

☒ 異常検知

検出しきい値 200 %

検出範囲 5

数量単位 バックアップ

! 異常検知ステータスを表示するには、検出範囲内に少なくとも5つのバックアップが必要です。

☒ マルウェアスキャン

! マルウェアスキャンには十分なリソースが必要です。リソース関連のエラーが発生した場合は、HYCUインスタンスを追加してください。

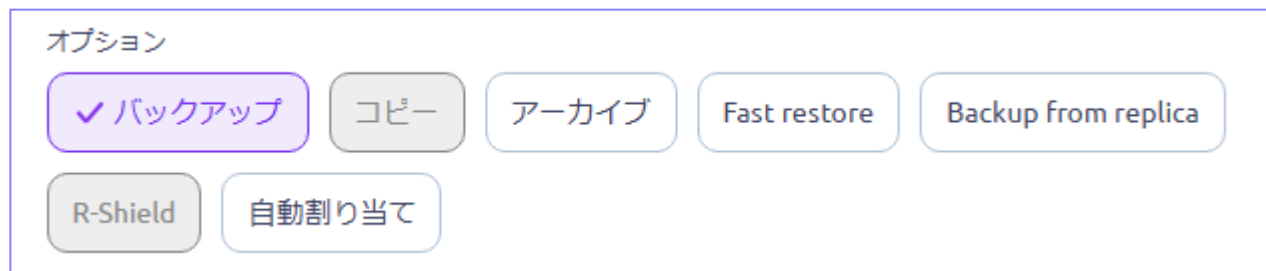
閉じる 前へ

保存

バックアップポリシーの作成

「+新規」ボタンからポリシーを作成します

デフォルトでは[有効なオプション]欄でバックアップにチェックが入っています。バックアップのみ実行する場合はこのままで下の設定に進みますが、アーカイブジョブ等の追加が必要な場合はチェックを入れます。バックアップウィンドウ設定とコピーウィンドウはトグルを有効にすることで設定できます。



オプション

✓ バックアップ コピー アーカイブ Fast restore Backup from replica

R-Shield 自動割り当て

コピー：コピージョブを有効にします。バックアップジョブ完了後、別のターゲットにデータコピーを行います。リソースに空きのあるタイミング（非同期）で行い、コピーウィンドウで実行時間帯を指定できます。

アーカイブ：アーカイブジョブを有効にします。

Fast restore：スナップショットの保持期間を指定します。複数世代のスナップショットを保持することで、迅速な復元が必要な場合にはスナップショットから高速復元を実現にします。

Backup from replica：Nutanix保護ドメインを活用し、Nutanixリモートクラスタ上のVMからバックアップをする場合、ローカルにレプリケートされたレプリカからバックアップを実行します。

R-Shield：データ変更率の閾値設定や、マルウェア/ランサムウェアスキャンの実行設定を行います。

自動割り当て：Nutanix Prism Centralのカテゴリ、VMware vCenterのタグやカスタム属性を指定することで、対象VMにポリシーを自動で割り当てます。

シナリオ 1：NASへのバックアップポリシー

NASへのバックアップは定期的に完全バックアップを取得します。[新しいバックアップチェーンを開始する]は、完全バックアップと増分バックアップの連結に関する設定です。

[バックアップのしきい値]次回の完全バックアップを実行するまでのしきい値を指定します。デフォルトでは25%となっており、初回完全バックアップの後は増分バックアップを実行しますが、前回の完全バックアップから計算してデータ変更率が25%になると、再度完全バックアップを実行します。

[バックアップチェーンの長さ]では完全バックアップと増分バックアップの世代数を指定します。この値を7にすると、完全バックアップ+増分バックアップ6世代=7世代となります。その次のバックアップが完全になります。

[バックアップのしきい値]と[バックアップチェーンの長さ]の両方を有効にすると、どちらからの条件に当てはまる時に完全バックアップを実行します。

※[バックアップウィンドウ]の制限により、完全バックアップが実行されないこともございます。その場合は設定より多く増分バックアップが実行されます。

新しいポリシー

?

×

名前

NASへのバックアップ

説明・オプション

オプション

✓ バックアップ

コピー

アーカイブ

Fast restore

Backup from replica

R-Shield

自動割り当て

バックアップ

バックアップ頻度 ①

1

日

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

㏀

㏁

㏂

㏃

㏄

㏅

㏆

㏇

㏈

㏉

㏊

㏋

㏌

㏍

㏎

㏏

㏐

㏑

㏒

㏓

㏔

㏕

㏖

㏗

㏘

㏙

㏚

㏛

㏜

㏝

㏞

㏟

㏠

㏡

㏢

㏣

㏤

㏥

㏦

㏧

㏨

㏩

㏪

㏫

㏬

㏭

㏮

㏯

㏰

㏱

㏲

㏳

㏴

㏵

㏶

㏷

㏸

㏹

㏺

㏻

㏼

㏽

㏾

㏿

㐀

㐁

㐂

㐃

㐄

㐅

㐆

㐇

㐈

㐉

㐊

㐋

㐌

㐍

㐎

㐏

㐐

㐑

㐒

㐓

㐔

㐕

㐖

㐗

㐘

㐙

㐚

㐛

㐜

㐝

㐞

㐟

㐠

㐡

㐢

㐣

㐤

㐥

㐦

㐧

㐨

㐩

㐪

㐫

㐬

㐭

㐮

㐯

㐰

㐱

㐲

㐳

㐴

㐵

㐶

㐷

㐸

㐹

㐺

㐻

㐼

㐽

㐾

㐿

㑀

㑁

㑂

㑃

㑄

㑅

㑆

㑇

㑈

㑉

㑊

㑋

㑌

㑍

㑎

㑏

㑐

㑑

㑒

㑓

㑔

㑕

㑖

㑗

㑘

㑙

㑚

㑛

㑜

㑝

㑞

㑟

㑠

㑡

㑢

㑣

㑤

㑥

㑦

㑧

㑨

㑩

㑪

㑫

㑬

㑭

㑮

㑯

㑰

㑱

㑲

㑳

㑴

㑵

㑶

㑷

㑸

㑹

㑺

㑻

㑼

㑽

㑾

㑿

㒀

㒁

㒂

㒃

㒄

㒅

㒆

㒇

㒈

㒉

㒊

㒋

㒌

㒍

㒎

㒏

㒐

㒑

㒒

㒓

㒔

㒕

㒖

㒗

㒘

㒙

㒚

㒛

㒜

㒝

㒞

㒟

㒠

㒡

㒢

㒣

㒤

㒥

㒦

㒧

㒨

㒩

㒪

㒫

㒬

㒭

㒮

㒯

㒰

㒱

㒲

㒳

㒴

㒵

㒶

㒷

㒸

㒹

㒺

㒻

㒼

㒽

㒾

㒿

㓀

㓁

㓂

㓃

㓄

㓅

㓆

㓇

㓈

㓉

㓊

㓋

㓌

㓍

㓎

㓏

㓐

㓑

㓒

㓓

㓔

㓕

㓖

㓗

㓘

㓙

㓚

㓛

㓜

㓝

㓞

㓟

㓠

㓡

㓢

㓣

㓤

㓥

㓦

㓧

㓨

㓩

㓪

㓫

㓬

㓭

㓮

㓯

㓰

㓱

㓲

㓳

㓴

㓵

㓶

㓷

㓸

㓹

㓺

㓻

㓼

㓽

㓾

㓿

㔀

㔁

㔂

㔃

㔄

㔅

㔆

㔇

㔈

㔉

㔊

㔋

㔌

㔍

㔎

㔏

㔐

㔑

㔒

㔓

㔔

㔕

㔖

㔗

㔘

㔙

㔚

㔛

㔜

㔝

㔞

㔟

㔠

㔡

㔢

㔣

㔤

㔥

㔦

㔧

㔨

㔩

㔪

㔫

㔬

㔭

㔮

㔯

㔰

㔱

㔲

㔳

㔴

㔵

㔶

㔷

㔸

㔹

㔺

㔻

㔼

㔽

㔾

㔿

㕀

㕁

㕂

㕃

㕄

㕅

㕆

㕇

㕈

㕉

㕊

㕋

㕌

㕍

㕎

㕏

㕐

㕑

㕒

㕓

㕔

㕕

㕖

㕗

㕘

㕙

㕚

㕛

㕜

㕝

㕞

㕟

㕠

㕡

㕢

㕣

㕤

㕥

㕦

㕧

㕨

㕩

㕪

㕫

㕬

㕭

㕮

㕯

㕰

㕱

㕲

㕳

㕴

㕵

㕶

㕷

㕸

㕹

㕺

㕻

㕼

㕽

㕾

㕿

㖀

㖁

㖂

㖃

㖄

㖅

㖆

㖇

㖈

㖉

㖊

㖋

㖌

㖍

㖎

㖏

㖐

㖑

㖒

㖓

㖔

㖕

㖖

㖗

㖘

㖙

㖚

㖛

㖜

㖝

㖞

㖟

㖠

㖡

㖢

㖣

㖤

㖥

㖦

㖧

㖨

㖩

㖪

㖫

㖬

㖭

㖮

㖯

㖰

㖱

㖲

㖳

㖴

㖵

㖶

㖷

㖸

㖹

㖺

㖻

㖼

㖽

㖾

㖿

㗀

㗁

㗂

㗃

㗄

㗅

㗆

㗇

㗈

㗉

㗊

㗋

㗌

㗍

㗎

㗏

㗐

㗑

㗒

㗓

㗔

㗕

㗖

㗗

㗘

㗙

㗚

㗛

㗜

㗝

㗞

㗟

㗠

㗡

㗢

㗣

㗤

㗥

㗦

㗧

㗨

㗩

㗪

㗫

㗬

㗭

㗮

㗯

㗰

㗱

㗲

㗳

㗴

㗵

㗶

㗷

㗸

㗹

㗺

㗻

㗼

㗽

㗾

㗿

㘀

㘁

㘂

㘃

㘄

㘅

㘆

㘇

㘈

㘉

㘊

㘋

㘌

㘍

㘎

㘏

㘐

㘑

㘒

㘓

㘔

㘕

㘖

㘗

㘘

㘙

㘚

㘛

㘜

㘝

㘞

㘟

㘠

㘡

㘢

㘣

㘤

㘥

㘦

㘧

㘨

㘩

㘪

㘫

㘬

㘭

㘮

㘯

㘰

㘱

㘲

㘳

㘴

㘵

㘶

㘷

㘸

㘹

㘺

㘻

㘼

㘽

㘾

㘿

㙀

㙁

㙂

㙃

㙄

㙅

㙆

㙇

㙈

㙉

㙊

㙋

㙌

㙍

㙎

㙏

㙐

㙑

㙒

㙓

㙔

㙕

㙖

㙗

㙘

㙙

㙚

㙛

㙜

㙝

㙞

㙟

㙠

㙡

㙢

㙣

㙤

㙥

㙦

㙧

㙨

㙩

㙪

㙫

㙬

㙭

㙮

㙯

㙰

㙱

㙲

㙳

㙴

㙵

㙶

㙷

㙸

㙹

㙺

㙻

㙼

㙽

㙾

㙿

㚀

㚁

㚂

㚃

㚄

㚅

㚆

㚇

㚈

㚉

㚊

㚋

㚌

㚍

㚎

㚏

㚐

㚑

㚒

㚓

㚔

㚕

㚖

㚗

㚘

㚙

㚚

㚛

㚜

㚝

㚞

㚟

㚠

㚡

㚢

㚣

㚤

㚥

㚦

㚧

㚨

㚩

㚪

㚫

㚬

㚭

㚮

㚯

㚰

㚱

㚲

㚳

㚴

㚵

㚶

㚷

㚸

㚹

㚺

㚻

㚼

㚽

㚾

㚿

㜀

㜁

㜂

㜃

㜄

㜅

㜆

㜇

㜈

㜉

㜊

㜋

㜌

㜍

㜎

㜏

㜐

㜑

㜒

㜓

㜔

㜕

㜖

㜗

㜘

㜙

㜚

㜛

㜜

㜝

㜞

㜟

㜠

㜡

㜢

㜣

㜤

㜥

㜦

㜧

㜨

㜩

㜪

㜫

㜬

㜭

㜮

㜯

㜰

㜱

㜲

㜳

㜴

㜵

㜶

㜷

㜸

㜹

㜺

㜻

㜼

㜽

㜾

㜿

㝀

㝁

㝂

㝃

㝄

㝅

㝆

㝇

㝈

㝉

㝊

㝋

㝌

㝍

㝎

㝏

㝐

㝑

㝒

㝓

㝔

㝕

㝖

㝗

㝘

㝙

㝚

㝛

㝜

㝝

㝞

㝟

㝠

㝡

㝢

㝣

㝤

㝥

㝦

㝧

㝨

㝩

㝪

㝫

㝬

㝭

㝮

㝯

㝰

㝱

㝲

㝳

㝴

㝵

㝶

㝷

㝸

㝹

㝺

㝻

㝼

㝽

㝾

㝿

㞀

㞁

㞂

㞃

㞄

㞅

㞆

㞇

㞈

㞉

㞊

㞋

㞌

㞍

㞎

㞏

㞐

㞑

㞒

㞓

㞔

㞕

㞖

㞗

㞘

㞙

㞚

㞛

㞜

㞝

㞞

㞟

㞠

㞡

㞢

㞣

㞤

㞥

㞦

㞧

㞨

㞩

㞪

㞫

㞬

㞭

㞮

㞯

㞰

㞱

㞲

㞳

㞴

㞵

㞶

㞷

㞸

㞹

㞺

㞻

㞼

㞽

㞾

㞿

㟀

㟁

㟂

㟃

㟄

㟅

㟆

㟇

㟈

㟉

㟊

㟋

㟌

㟍

㟎

㟏

㟐

㟑

㟒

㟓

㟔

㟕

㟖

㟗

㟘

㟙

㟚

㟛

㟜

㟝

㟞

㟟

㟠

㟡

㟢

㟣

㟤

㟥

㟦

㟧

㟨

㟩

㟪

㟫

㟬

㟭

㟮

㟯

㟰

㟱

㟲

㟳

㟴

㟵

㟶

㟷

㟸

㟹

㟺

㟻

㟼

㟽

㟾

㟿

㠀

㠁

㠂

㠃

㠄

㠅

㠆

㠇

㠈

㠉

㠊

㠋

㠌

㠍

㠎

㠏

㠐

㠑

㠒

㠓

㠔

㠕

㠖

㠗

㠘

㠙

㠚

㠛

㠜

㠝

㠞

㠟

㠠

㠡

㠢

㠣

㠤

㠥

㠦

㠧

㠨

㠩

㠪

㠫

㠬

㠭

㠮

㠯

㠰

㠱

㠲

㠳

㠴

㠵

㠶

㠷

㠸

㠹

㠺

㠻

㠼

㠽

㠾

㠿

㡀

㡁

㡂

㡃

㡄

㡅

㡆

㡇

㡈

㡉

㡊

㡋

㡌

㡍

㡎

㡏

㡐

㡑

㡒

㡓

㡔

㡕

㡖

㡗

㡘

㡙

㡚

㡛

㡜

㡝

㡞

㡟

㡠

㡡

㡢

㡣

㡤

㡥

㡦

㡧

㡨

㡩

㡪

㡫

㡬

㡭

㡮

㡯

㡰

㡱

㡲

㡳

㡴

㡵

㡶

㡷

㡸

㡹

㡺

㡻

㡼

㡽

㡾

㡿

㢀

㢁

㢂

㢃

㢄

㢅

㢆

㢇

㢈

㢉

㢊

㢋

㢌

㢍

㢎

㢏

㢐

㢑

㢒

㢓

㢔

㢕

㢖

㢗

㢘

㢙

㢚

㢛

㢜

㢝

㢞

㢟

㢠

㢡

㢢

㢣

㢤

㢥

㢦

㢧

㢨

㢩

㢪

㢫

㢬

㢭

㢮

㢯

㢰

㢱

㢲

㢳

㢴

㢵

㢶

㢷

㢸

㢹

㢺

㢻

㢼

㢽

㢾

㢿

㣀

㣁

㣂

㣃

㣄

㣅

㣆

㣇

㣈

㣉

㣊

㣋

㣌

㣍

㣎

㣏

㣐

㣑

㣒

㣓

㣔

㣕

㣖

㣗

㣘

㣙

㣚

㣛

㣜

㣝

㣞

㣟

㣠

㣡

㣢

㣣

㣤

㣥

㣦

㣧

㣨

㣩

㣪

㣫

㣬

㣭

㣮

㣯

㣰

㣱

㣲

㣳

㣴

㣵

㣶

㣷

㣸

㣹

㣺

㣻

㣼

㣽

㣾

㣿

㤀

㤁

㤂

㤃

㤄

㤅

㤆

㤇

㤈

㤉

㤊

㤋

㤌

㤍

㤎

㤏

㤐

㤑

㤒

㤓

㤔

㤕

㤖

㤗

㤘

㤙

㤚

㤛

㤜

㤝

㤞

㤟

㤠

㤡

㤢

㤣

㤤

㤥

㤦

㤧

㤨

㤩

㤪

㤫

㤬

㤭

㤮

㤯

㤰

㤱

㤲

㤳

㤴

㤵

㤶

㤷

㤸

㤹

㤺

㤻

㤼

㤽

㤾

㤿

㥀

㥁

㥂

㥃

㥄

㥅

㥆

㥇

㥈

㥉

㥊

㥋

㥌

㥍

㥎

㥏

㥐

㥑

㥒

㥓

㥔

㥕

㥖

㥗

㥘

㥙

㥚

㥛

㥜

㥝

㥞

㥟

㥠

㥡

㥢

㥣

㥤

㥥

㥦

㥧

㥨

㥩

㥪

㥫

㥬

㥭

㥮

㥯

㥰

㥱

㥲

㥳

㥴

㥵

㥶

㥷

㥸

㥹

㥺

㥻

㥼

㥽

㥾

㥿

㦀

㦁

㦂

㦃

㦄

㦅

㦆

㦇

㦈

㦉

㦊

㦋

㦌

㦍

㦎

㦏

㦐

㦑

㦒</

シナリオ 2 : AWS S3への永久増分ポリシー

AWS S3への永久増分方式は
「バックアップ=スナップショット」と「アーカイブ」
の組み合わせになります。

新しいポリシー

名前

AWS S3への永久増分

説明 - オプション

オプション

バックアップ

バックアップ頻度 ①

1

日

保持期間

4

週

バックアップターゲットタイプ

☒ スナップショット

☐ ターゲット

☒ バックアップウィンドウを使用する

バックアップウィンドウ ①

バックアップウィンドウ

管理

アーカイブ

データアーカイブ

アーカイブポリシー

閉じる

保存

シナリオ 3：ファイルサーバーの永久増分バックアップの有効化

ファイルサーバーは共有フォルダ単位で「永久増分方式」を有効・無効設定できます。

1. 「共有フォルダ」メニューから対象共有フォルダを選択し、「構成」ボタンをクリック
2. 「永久増分バックアップ」トグルを有効化

以上です。バックアップポリシー内のチェーン設定がどのようなになっていても、共有フォルダのバックアップは常に増分バックアップになります。

The screenshot displays the HYCU web interface. On the left is a navigation sidebar with options like 'ダッシュボード', 'アプリケーション', '仮想マシン', 'ボリュームグループ', '共有フォルダ' (highlighted), 'ポリシー', 'ターゲット', 'ジョブ', 'イベント', 'レポート', and 'セルフサービス'. The main area is titled '共有フォルダ' and shows a list of folders: 'Marketing' (checked) and 'Research'. A '構成' (Configure) modal window is open over the 'Marketing' folder. Inside this modal, there is a text field for 'フォルダパスを除外' (Exclude folder path) with the placeholder '例: /<absolute_path>' and an '追加' (Add) button. Below this is another section for 'フォルダパスを除外' with a toggle switch for '永久増分バックアップ' (Permanent incremental backup) which is currently turned on. At the bottom of the modal are '閉じる' (Close) and '保存' (Save) buttons. The background interface includes a top navigation bar with 'Infrastructure Group', settings, help, and user 'yukiharu.yoshida'. Below the folder list is a table with columns: '名前', 'プロトコル', 'タイプ', 'ファイルサ...', 'ポリシー', 'コンプライ...', '保護', and '所有者'. The table lists two policies: 'Silver - WORM' and 'onze', both with green checkmarks in the '保護' column. At the bottom of the interface, there are links for 'ファイルの復元', '有効期限を切る', and 'アーカイブの実行', along with pagination for '8 復元ポイント'.

ポリシーの割り当て

管理画面左の「アプリケーション、仮想マシン、ボリュームグループ、共有フォルダ、バケット」のメニューに進みます。保護対象を選択後、「ポリシーの割り当て」ボタンをクリックし、保護対象へポリシーを割り当てます。

The screenshot displays the HYCU management interface. On the left, a sidebar contains navigation links: ダッシュボード, アプリケーシ..., 仮想マシン (highlighted), ボリュームグ..., 共有フォルダ, バケット, ポリシー, ターゲット, and ジョブ. The main area is titled '仮想マシン' and shows a table of virtual machines. The first row, 'TENANTA_VM1', is selected. A modal dialog titled 'ポリシーの割り当て' is open, showing a list of policies to assign to the selected VM. The policies are: Bronze, Exclude, Gold, NASへバックアップ (highlighted), and Silver. The dialog includes a search bar, pagination controls (Rows per page: 50, Page 1 of 1), and buttons at the bottom: 閉じる, 割り当て解除, and 割り当て.

仮想マシン

検索

選択済: 1 | Rows per page: 50 | Page < 1 > of 1 | 19 VM

名前	ソース	ポリ...	コンプ...	保護	検出	検証	R-SHIE...	資格情...	所有者
☒ TENANTA_VM1	ntcluster	?	×	?	?	?	R		
☐ TENANTA_VM2									
☐ TENANTA_VM3									
☐ TENANTB_VM4									
☐ TENANTB_VM5									
☐ TENANTB_VM6									
☐ TENANTC_VM7									

ポリシーの割り当て

検索

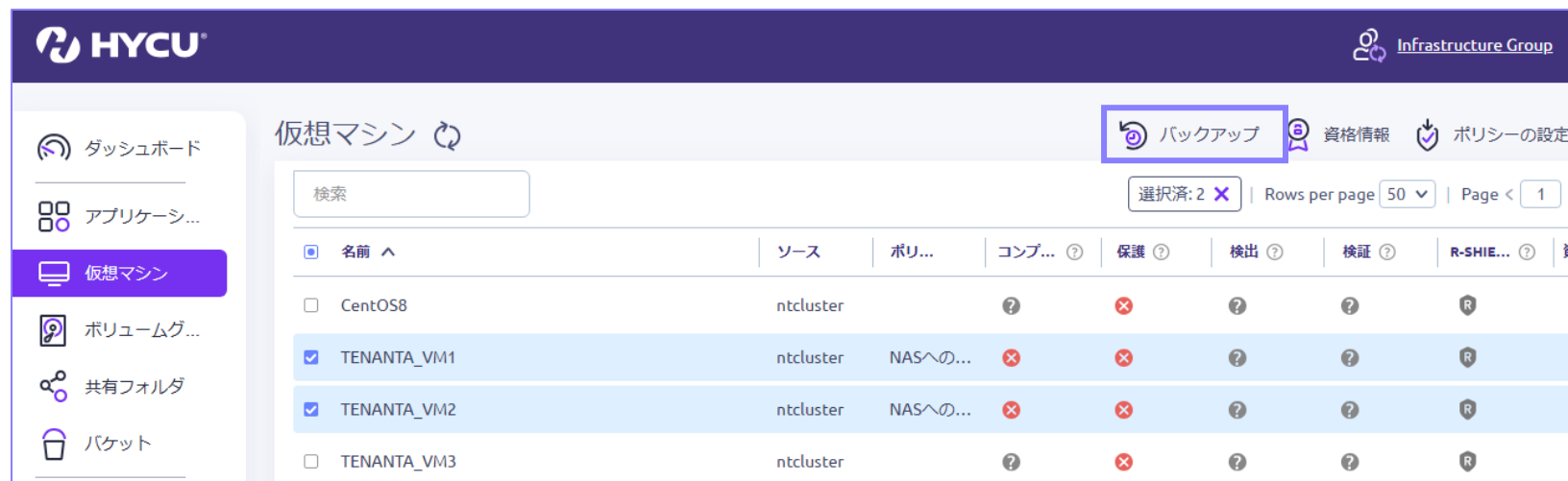
Rows per page: 50 | Page < 1 > of 1 | 6 ポリシー

名前	説明
Bronze	Backup every 24h, recover within 24h
Exclude	Backup not required.
Gold	Backup every 4h, recover within 4h
NASへバックアップ	
Silver	Backup every 12h, recover within 12h

閉じる 割り当て解除 割り当て

バックアップの手動実行

管理画面左の「アプリケーション、仮想マシン、ボリュームグループ、共有フォルダ、バケット」のメニューへ進みます。保護対象を選択後、「バックアップ」ボタンをクリックし、手動実行します。



HYCU Infrastructure Group

ダッシュボード
アプリケーション...
仮想マシン
ボリュームグ...
共有フォルダ
バケット

仮想マシン

検索

選択済: 2 | Rows per page: 50 | Page: 1

名前	ソース	ポリ...	コンプ...	保護	検出	検証	R-SHIE...
☐ CentOS8	ntcluster		?	×	?	?	R
☒ TENANTA_VM1	ntcluster	NASへの...	×	×	?	?	R
☒ TENANTA_VM2	ntcluster	NASへの...	×	×	?	?	R
☐ TENANTA_VM3	ntcluster		?	×	?	?	R



バックアップ

?

×

こちらをバックアップしますか？ TENANTA_VM1 そして TENANTA_VM2 仮想マシン？

☐ 完全バックアップを実行

キャンセル

はい

バックアップのステータス確認

保護対象を選択すると、画面下に詳細ビューが表示されます。

バックアップステータスのチェックをクリックすると、ジョブのステータス画面に移動します。

BCKPアイコンはバックアップの意味であり、カーソルを合わせると有効期限が表示されます

FULLは完全バックアップ

INCRは増分バックアップ

COPYはコピーデータ

ARCHはアーカイブ

SNAPはスナップショットを意味します

ディスクを除外したバックアップは
アイコンに●が付きます

The screenshot displays the HYCU backup management interface. On the left is a sidebar with navigation options: アプリケーション..., 仮想マシン, ボリューム..., 共有フォルダ, バケット, ポリシー, ターゲット, ジョブ, イベント, レポート, and セルフサービス. The main area shows a table of backup jobs. The selected job, HYCU00DCNJDEVVM004, is highlighted. Below the table, the detailed view for this job is shown, including its summary, source, operating system, and IP address. A table of recovery points is also displayed, showing the backup type (INCR, BCKP, COPY, SNAP), compliance status, and backup status. A tooltip for the SNAP icon indicates it is a snapshot with an expiration date of 2026/8/16 1:41.

名前	ソース	ポリシー	コンプライ...	保護	検出	検証	R-SHIELD	資格情報...	所有者
☐ HYCU00DCNJDEVVM001	nutanix-demo	Devops_Cold	✓	✓	?	?	ⓘ		Devops
☐ HYCU00DCNJDEVVM002	nutanix-demo	Bronze	✓	✓	?	✓	ⓘ		
☐ HYCU00DCNJDEVVM003	nutanix-demo	Bronze Azure	✓	✓	✓	?	ⓘ		Dev Admin
☒ HYCU00DCNJDEVVM004	nutanix-demo	Bronze AWS	✓	✓	✓	?	ⓘ		Dev Admin
☐ HYCU00DCNJDEVVM005	nutanix-demo	Bronze Google	✗	✓	✓	✓	ⓘ		Dev Admin
☐ HYCU00DCNJDEVVM006	nutanix-esx-demo	Bronze	✓	✓	✓	?	ⓘ		Dev Admin
☐ HYCU00DCNJDEVVM007	nutanix-demo	Devops_Cold	✓	✓	?	?	ⓘ		Devops
☐ HYCU00DCNJDEVVM008	nutanix-demo	Cold	✓	✓	?	?	ⓘ		

概要	復元ポイント	コンプライ...	バックアップ...	R-SHIELD	復元ステータス
HYCU UUID 49bd41d6-398e-496f-b257-e925a24fec85	☒ 2026/8/9 1:41:06	INCR BCKP COPY SNAP	✓	ⓘ	
ソースUUID b4ac84ad-7b5a-4296-ba82-05d0c2bab503	☐ 2026/8/8 1:56:05	INCR BCKP COPY SNA	スナップショット 有効期限: 2026/8/16 1:41	✓	ⓘ
オペレーティングシステム Linux 3.10.0-1127.13.1.el7.x86_64 (CentOS Lin...	☐ 2026/8/7 2:08:34	INCR BCKP COPY SNAP	✓	✓	ⓘ
IP アドレス 10.169.27.59	☐ 2026/8/6 2:19:18	FULL BCKP COPY SNAP	✓	✓	ⓘ

バックアップのステータス確認

「ジョブ」メニューからジョブを選択すると、ジョブの詳細が確認できます。
「レポートを見る」ボタンからも同じ情報を確認できます。

ダッシュボード

アプリケーション...

仮想マシン

ボリュームグ...

共有フォルダ

バケット

ポリシー

ターゲット

ジョブ

イベント

レポート

セルフサービス

<

v5.3.0-3901

ジョブ

検索

選択済: 1

Rows per page 50

Page 1 of 187

9342 ジョブ

🔍

名前	ステータス	作成日時	終了日時
☒ HYCU00SQL02 を NUS Objects へバックアップ	🟢	2026/8/9 20:41:41	2026/8/9 20:56:05
☐ HYCU00DCNYOSVM01 を 01_NFS_Shared へバックアップ	🟢	2026/8/9 20:25:59	2026/8/9 20:26:38
☐ HYCU00SQL02 を NUS Objects へバックアップ	🔴	2026/8/9 20:25:59	2026/8/9 20:26:11
☐ HYCU05-ANALNXVM01 を 01_NFS_Shared へバックアップ	🟢	2026/8/9 19:56:17	2026/8/9 19:56:34
☐ HYCU00DCNJDEVVM002 を 01_NFS_Shared へバックアップ	🟢	2026/8/9 19:55:59	2026/8/9 19:56:14
☐ WORMメンテナンス	🟡 10%	2026/8/9 18:38:57	保留
☐ HYCU00DCNYENGVM004 を NUS Objects へバックアップ	🟢	2026/8/9 18:26:00	2026/8/9 18:26:18

HYCU00SQL02 を NUS Objects へバックアップ

概要	名前	ステータス	開始日時	完了	
UUID	22b5ef65-8513-4ac8-adff-818bbb80e9b	初期化	🟢	2026/8/9 20:41:41	2026/8/9 20:41:41
タイプ	完全バックアップ	バックアップの準備	🟢	2026/8/9 20:41:41	2026/8/9 20:41:42
バックアップUUID	3442a8d8-3d3e-4118-9e5c-dfe67c1d3a98	変更ブロックトラッキングを有効化	🟢	2026/8/9 20:41:42	2026/8/9 20:41:45
元の仮想マシン	HYCU00SQL02	プラットフォームの準備状況を確認	🟢	2026/8/9 20:41:45	2026/8/9 20:41:45
元のソース	vcenter-esxi.amsdemo.ct	スナップショットを作成	🟢	2026/8/9 20:41:45	2026/8/9 20:41:47

5. データの復元

復元の粒度

仮想マシン：

- 仮想マシン丸ごとを元場所や異なる環境（別ハイパーバイザーやクラウド*）に復元
- ディスク単位の復元
- ファイル/フォルダ単位で元の場所やNASへ復元、ダウンロード

物理マシン：

- マシン丸ごとを仮想環境やクラウド*に復元
- ファイル/フォルダ単位で元の場所やNASへ復元、ダウンロード

ファイルサーバー：

- ファイル・フォルダを元の場所や別のNASへ復元、ダウンロード

アプリケーション：

- Exchangeデータベースまたはメールボックスの復元
- MS SQLやOracle、PostgreSQLデータベースの復元
- Active DirectoryやSAP HANAマシンの復元

*クラウドへの復元（移行）にはプレミアムライセンスが必要です

仮想マシンの復元

HYCU画面左「仮想マシン」を選択し、次に対象マシンを選択します

HYCU

Infrastructure Group admin

ダッシュボード
アプリケーション...
仮想マシン
ボリュームグ...
共有フォルダ
バケット
ポリシー
ターゲット
ジョブ
イベント
レポート

仮想マシン

検索

選択済: 1 X | Rows per page 50 | Page < 1 > of 1 | 19 VM

名前	ソース	ポリシー	コンプ...	保護	検出	検証	R-SHIE...	資格情...	所有者
☒ TENANTA_VM1	ntcluster	NASへのバ...	✓	✓	?	?	R		
☐ TENANTA_VM2	ntcluster	NASへのバ...	✓	✓	?	?	R		
☐ TENANTA_VM3	ntcluster	AWS S3へ...	✓	✓	?	?	R		
☐ TENANTB_VM4	ntcluster	AWS S3へ...	✓	✓	?	?	R		
☐ TENANTB_VM5	ntcluster		?	✗	?	?	R		

ファイルの復元 復元 有効期限を切る

TENANTA_VM1

選択済: 1 X | Rows per page 50 | Page < 1 > of 1 | 2 復元ポイント

概要	復元ポイント	コンプラ...	バックア...	R-SHIELD	復元ステ...		
HYCU UUID b9dd5b15-a28d-488b-b13f-ffeda...	☒ 2025/9/20 15:55:42	INCR	BCKP	SNAP	✓	✓	R
ソースUUID 7d0ffb4d-be29-4846-b068-935ac...	☐ 2025/9/20 15:36:58	FULL	BCKP		✓	✓	R

ディスク容量 1.00 GiB

メモリ 1.00 GiB

v5.2.0-4695

仮想マシンの復元



各ボタンの用途はこちら：

[ファイルの復元] ファイル/フォルダ単位の復元を実行

[復元] 仮想マシンを元の場所や異なる場所、異なるプラットフォームに復元します

[有効期限を切る] バックアップデータを保持期限切れ（削除）にします（復元ではありません）

[R-Shieldステータス] R-Shieldポリシーの結果に対し、OKか否かを入力できます。

[マルウェアスキャンの実行] マルウェア/ランサムウェアスキャンを実行します。

[スナップショットの再作成] NutanixやVMware vSAN/vVolスナップショットを再作成します

[アーカイブの実行] 手動でアーカイブジョブを実行（復元ではありません）

仮想マシンの復元

「復元」ボタンをクリックします



[VMの復元]を選択すると元のマシンを削除し、バックアップデータを元の設定で復元します。

[VMのクローン]を選択し、[次へ]をクリックして、次に進みます。

仮想マシンの復元

VM復元のオプション > VMのクローン

!

仮想マシンを元の場所または新しい場所に復元することで、元の仮想マシンのクローンを作成できます。この場合、元の仮想マシンは上書きされません。

元のソース
Nutanix AHV/ntcluster

宛先ソース
元のソース (Nutanix AHV/ntcluster)

!

選択した復元ポイントのプラットフォーム準備状況チェックが成功しませんでした。

閉じる 前へ 次へ

停止状態のVMをバックアップしている場合、この警告が表示されますが問題ありませんので、無視してください。



VM復元のオプション > VMのクローン

全般

ストレージコンテナ
元の場所 (ntcluster/default-container-70412818642825 (270.87 GiB の空き容量))

復元元
自動

新しいVM名
SVR04-1705373642

☒ 元のVM設定を使用 ①

vCPU(S)
1

vCPUあたりのコア数
1

メモリ
1 GiB

☒ 仮想マシンの電源をオンにする

ネットワーク

+ 新規 ✎ 編集 🗑 削除

ネットワークアダプター (NIC)	VMネットワーク	MACアドレス
Network adapter 1	vlan0	50:6b:8d:b7:59:cd

☐ 元のMACアドレスを維持 ①

閉じる 前へ 復元

☒ 自動

←

アーカイブ

スナップショット

復元に使用するデータ

- ・スナップショット
- ・バックアップ
- ・コピー
- ・アーカイブ

を明示的に指定できます。

仮想マシンのファイル復元

「ファイルの復元」ボタンをクリックします



ファイルの復元

?

✕

復元に使用する階層を選択します：

復元元

自動

▼

☒ 自動

アーカイブ

スナップショット



ファイルの復元

?

✕

ファイルパス

C:/Users

検索

Rows per page 50 | Page < 1 > of 1 | 7

▼

☒ Local Disk (C:)

> ☐ \$Recycle.Bin

> ☐ Documents and Settings

> ☐ PerfLogs

> ☐ Program Files

> ☐ Program Files (x86)

> ☐ ProgramData

> ☐ Recovery

> ☐ System Volume Information

> ☒ Users

> ☐ Windows

☒ 名前 ▼

タイプ

容量

変更日

☒ Administrator

Directory2022/10/13 1:33:08

☒ Administrator.DEMOLAB

Directory2022/10/28 4:44:18

☒ All Users

Symlink_di...2016/7/16 22:34:35

☒ Default

Directory2022/10/13 1:33:08

☒ Default User

Symlink_di...2016/7/16 22:34:35

☒ Public

Directory2016/11/21 17:17:20

閉じる

次へ

仮想マシンのファイル復元

単一ファイルの復元 > ファイルとフォルダの選択

仮想マシンに復元
ファイルを元の仮想マシンまたは別の仮想マシンに復元します。

外部共有フォルダに復元
ファイルを外部NFSまたはSMB共有に復元します。

ダウンロード
ファイルをローカルにダウンロードする

閉じる

前へ

次へ



単一ファイルの復元 > 仮想マシンに復元

全般

プレ/ポストスクリプト

仮想マシン
HYCU00DCNJENGVM001 (Original)

パス
☒ 元の場所
☐ 別の場所

同じVM上のパス
C:\Users\username\AppData\Local\Temp

ファイルがすでに存在する場合に実行するアクション ①
☒ 上書き
☐ スキップ
☐ 元の名前を変更
☐ 復元後の名前の変更

ACLの復元
☒

閉じる

前へ

復元

仮想マシンへの直接復元を実行するには資格情報の割り当て（権限の付与）が必要です。
資格情報未割り当ての場合は選択できません。

MS SQLデータベースの復元

「アプリケーション」メニューから対象データベースを選択し、「復元」ボタンをクリックします

The screenshot displays the HYCU console interface. On the left is a sidebar with navigation options: ダッシュボード, アプリケーション, 仮想マシン, ボリュームグループ, 共有フォルダ, バケット, ポリシー, ターゲット, ジョブ, イベント, レポート, and セルフサービス. The main area is titled 'アプリケーション' and contains a table of applications. The application 'HYCU00DCNJOPVSM004\MSSQLSERVER' is selected. Below the table, a '復元' (Restore) button is highlighted with a red box. To the right of the '復元' button are other actions: 'クラウドへのスピンアップ', '有効期限を切る', 'R-Shieldステータス', and 'アーカイブの実行'. Below the '復元' button, a detailed view for the selected application is shown, including its HYCU UUID, version, and virtual machine. A table of restoration points is also displayed, with the first point selected.

アプリケーション

名前	タイプ	ソース	ポリシー	コンプラ...	保護	検出	R-SHIE...	資格情報	所有者
☐ HYCU00DCNJEXSAPVM04\HXE	SAP HANA Database	nutanix-esx...	Bronze	✓	✓	✓	R	VM資格情報	
☒ HYCU00DCNJOPVSM004\MSSQLSERVER	MS SQL Server	nutanix-de...	Bronze	✓	✓	✓	R	VM資格情報	
☐ HYCU00DCNJOPVSM005\MSSQLSERVER	MS SQL Server	nutanix-de...	Silver	✓	✓	✓	R	VM資格情報	
☐ HYCU00DCNYP0SM01:5432	PostgreSQL	AHV-nutanix	Bronze	✓	✓	✓	R	postgres	
☐ HYCU00NDBSQLSRV01\MSSQLSERVER	MS SQL Server	AHV-nutanix	Bronze	✓	✓	✓	R	VM資格情報	
☐ HYCU00NDBXSQLSRV01\MSSQLSERV...	MS SQL Server	nutanix-esx...	Exclude	?	?	✓	R	VM資格情報	

HYCU00DCNJOPVSM004\MSSQLSERVER

概要	復元ポイント	コンプラ...	バックア...	R-SHIELD	復元ステ...		
HYCU UUID 00c912f4-8652-49e4-be17-bd86...	☒ 2025/9/19 19:40:21	INCR	BCKP	SNAP	✓	✓	R
バージョン 11.0.2100.60	☐ 2025/9/18 19:55:21	INCR	BCKP		✓	✓	R
仮想マシン HYCU00DCNJOPVSM004	☐ 2025/9/17 20:10:30	INCR	BCKP		✓	✓	R
最後に成功したバック... 20 h 33 min 7 s	☐ 2025/9/16 20:25:30	INCR	BCKP		✓	✓	R

MS SQLデータベースの復元

復元対象のデータベースを選択し、ポイントインタイムで戻したい任意の時点を入力します。

なるインスタンスを指定し、異なる場所にデータベースを復元することも可能です。

Restore MS SQLサーバー

サーバー全体を復元

仮想マシンを復元して、アプリケーションサーバー全体を復元します。

データベースを復元

選択したデータベースを復元します。

閉じる

次へ



Restore MS SQLサーバー > データベース

ターゲットインスタンス

HYCU00DCNJOPSVM001\MSSQLSERVER

宛先可用性グループ

アイテムは利用できません

復元元

自動

☐ インスタンス全体

☒ データベース名

☒ bigdb

☐ master

☐ model

☐ msdb

☐ Northwind

ポイントインタイム

2024/1/16 9:40

!

選択した復元ポイント (2024/1/15 21:56:46) と (2024/1/16 9:40:46) の間の時間を指定する必要があります。

閉じる

前へ

次へ

MS SQLデータベースの復元

データベースの復元オプションを指定する。

Restore MS SQLサーバー > データベース復元オプション

データベースを復旧状態のままにする

☐

既存のデータベースを上書きする

☒

データベースプレフィックス

hycu_202401160308909_

新しいデータベースファイルの場所

C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL13.MSSQLSERVER\MSSQL\DATA

新しいデータベースログの場所

C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL13.MSSQLSERVER\MSSQL\DATA

閉じる

前へ

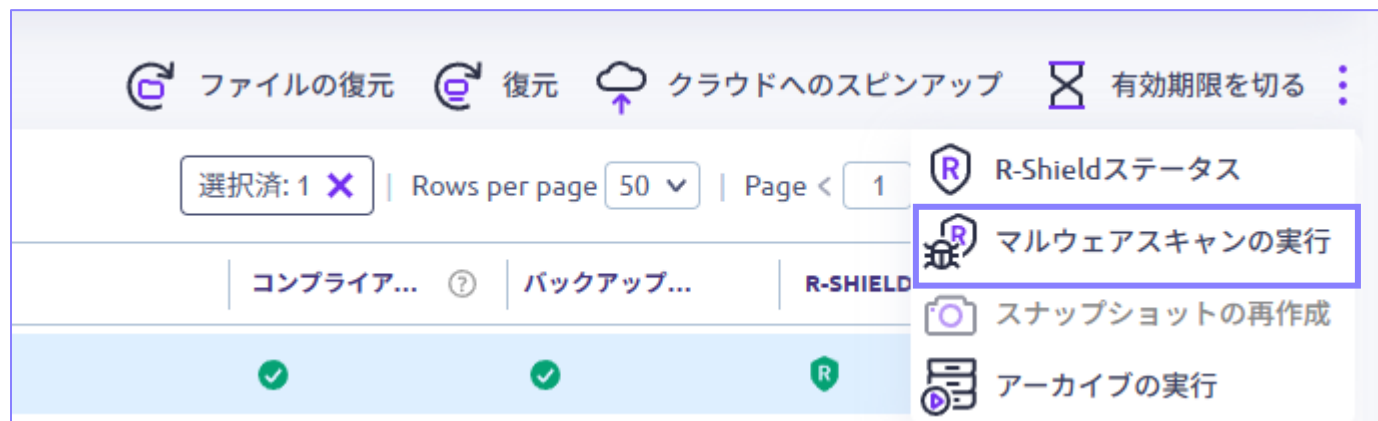
復元

マルウェアスキャンの実行

マルウェア/ランサムウェアスキャンは仮想マシン/物理マシン/共有フォルダに対して実行できます。

※共有フォルダのスキャンはスナップショットに対して行いますので、バックアップデータに対するスキャンはできません。汎用ファイルサーバーのバックアップではスナップショットを使用しないため、汎用ファイルサーバーの共有フォルダをスキャンすることはできません。

- VMの場合、スキャン開始ポイントとして、スナップショットまたはバックアップを選択できます。
- スキャン対象としてすべてのデータまたは増分（変更）データを選択できます。



6. ジョブの結果確認とイベント通知、ログ収集

ジョブの結果確認とイベント通知

管理画面左の「ジョブ」や「イベント」メニューから、ログを確認

イベントはEメールやWebhookによる通知が可能

管理画面のタイムスタンプはブラウザ（OS設定を継承）のタイムゾーンを使用しています。

内部的にはUTCを使用しますが、イベント等を確認すると日本時間で表示されます。

HYCU

ダッシュボード

アプリケーション...

仮想マシン

ボリュームグ...

共有フォルダ

バケット

ポリシー

ターゲット

ジョブ

イベント

レポート

セルフサービス

ジョブ

検索

Rows per page

名前	ステータス	作成日時
> HYCU00NDBPOSTGR02 を 01_NFS_Shared へバックアップ		2025/9/20 16:06:11
HYCU00-AGMSSQL01 を 01_NFS_Shared へバックアップ		2025/9/20 15:36:11
HYCU00DCNJDEVVM003 を 01_NFS_Shared へバックアップ		2025/9/20 15:36:11
nutanix-afs 上の共有 Accounting の復元ポイントを合成します		2025/9/20 15:25:40
nutanix-afs 上の共有 backups の復元ポイントを合成します		2025/9/20 15:25:38
nutanix-afs の backups を 01_NFS_Shared へバックアップ		2025/9/20 15:25:05
nutanix-afs の Accounting を 01_NFS_Shared へバックアップ		2025/9/20 15:25:05
> HYCU00NDBMONG001 を 01_NFS_Shared へバックアップ		2025/9/20 14:55:05
HYCU00DCLJSAPVM05 を 01_NFS_Shared へバックアップ		2025/9/20 14:25:06
HYCU00DCNYENGVM005 を Nutnaix-Iscl へバックアップ		2025/9/20 14:25:06
HYCU00DCNYENGVM004 を 01_NFS_Shared へバックアップ		2025/9/20 14:25:05
HYCU00-cab-rshield-scanner-92 を 01_NFS_Shared へバックアップ		2025/9/20 13:55:05

HYCU

Infrastructure Group

ダッシュボード

アプリケーション...

仮想マシン

ボリュームグ...

共有フォルダ

バケット

ポリシー

ターゲット

ジョブ

イベント

レポート

セルフサービス

イベント

検索

Rows per page 50 | Page < 1 >

ステ...	メッセージ	カテゴリ	タイムスタンプ
	仮想マシンの同期が成功しました。	システム	2025/9/20 16:14:20
	HYCU00DCNJDEVVM003 INCREMENTAL_BACKUP のコピーに適切なターゲットがありません！	システム	2025/9/20 16:13:57
	HYCU00DCNJDEVVM003 FULL_BACKUP のコピーに適切なターゲットがありません！	システム	2025/9/20 16:13:57
	123-csv INCREMENTAL_BACKUP のコピーに適切なターゲットがありません！	システム	2025/9/20 16:13:57
	ファイルサーバーの同期に失敗しました。	システム	2025/9/20 16:13:50
	ログインユーザー名：yukiharu.yoshida、ログイン元IP：111.102.205.97、ログインステータス：SUCCESSFUL	セキュリティ	2025/9/20 16:11:57
	HYCU00DCNJDEVVM003 INCREMENTAL_BACKUP のコピーに適切なターゲットがありません！	システム	2025/9/20 16:10:24
	HYCU00DCNJDEVVM003 FULL_BACKUP のコピーに適切なターゲットがありません！	システム	2025/9/20 16:10:24
	123-csv INCREMENTAL_BACKUP のコピーに適切なターゲットがありません！	システム	2025/9/20 16:10:24
	HYCU00DCNJDEVVM003 INCREMENTAL_BACKUP のコピーに適切なターゲットがありません！	システム	2025/9/20 16:10:04
	HYCU00DCNJDEVVM003 FULL_BACKUP のコピーに適切なターゲットがありません！	システム	2025/9/20 16:10:04
	123-csv INCREMENTAL_BACKUP のコピーに適切なターゲットがありません！	システム	2025/9/20 16:10:04

ログ収集

システム障害やバックアップ失敗等、HYCUサポートにトラブルシューティングを依頼する際はログを収集し、送付する必要があります。

画面右上歯車から「ロギング」に進み、「ログを取得する」をクリックします。



ロギング ? X

全般

ログファイルをダウンロードして表示する

ログを取得する

ログファイルをHYCUカスタマーサポートに送信する ①

ログを送信

① テレメトリデータの共有を有効にした後でのみ、ログをHYCUにアップロードできます。

設定

最大ログファイルサイズ (MiB)

200

ログファイル数

9

レベル

☒ 情報

☐ 詳細

アウトバウンドRESTの呼び出しレベル

オフ

インバウンドRESTの呼び出しレベル

オフ

☒ アップグレード後も設定を維持

閉じる 既定 保存

※詳細なログを取得する場合はレベルを情報から詳細に変更します。

※ログは循環ログです。古いログは上書きされるため、古いログを長く保持するには最大ログファイルサイズを大きくします。

7. アカウソトの作成と権限付与

IDプロバイダーの追加

ローカルアカウント以外、例えばActive Directoryのアカウントを使用してHYCU管理画面にサインインするには、画面右上歯車から「IDプロバイダー」に進み、Active Directory等のIDプロバイダーを登録する必要があります。



The image shows the 'IDプロバイダー > 新規' (New ID Provider) form. The form has a title bar with 'IDプロバイダー' and a close button. Below the title bar is a search bar and a table with columns for '名前' (Name). The form body contains the following fields:

- 全般** (General)
 - 名前: HYCU AD
 - タイプ: Active Directory (dropdown menu)
 - ドメイン: (text input)
 - プロバイダーURL: (text input, example: ldap(s)://<ドメインコントローラーホスト名/IP>:<ポート>)
 - SSL証明書: (button)
 - ☒ サービスアカウントを使用する ②
 - ユーザー名: (text input)
 - パスワード: (text input)

At the bottom right, there are buttons for '閉じる' (Close), '前へ' (Previous), and '保存' (Save).

アカウントの作成

管理画面左の「セルフサービス」メニューに進み、「ユーザーの管理」ボタンをクリックします。

HYCU Infrastructure Group admin

セルフサービス

検索

Rows per page 50 | Page < 1 > of 1 | 1グループ

グループ	作成時間	ステータス	説明
Infrastructure Group	2025/9/20 13:22:28	アクティブ	

+ ユーザーの管理 + 新規 編集 非アクティブ化 削除

+ グループに追加 編集 グループ内のロールの変更 削除 グループから削除

Infrastructure Group

概要	ユーザー名	ユーザーロール	タイプ	IDプロバイダー	2FA	前回のアクセス	ステータス
UUID	admin	管理者	HYCU			2025/9/20 16:18:20	アクティブ
作成日	2025/9/20 13:22:28						

アカウントの作成

「+新規」 ボタンをクリックし、ユーザーを追加します。

ユーザーの管理 ? X

+ 新規 編集 削除 非アクティブ化

検索

Rows per page 10 | Page < 1 > of 1 | 1

ユーザー名	タイプ
admin	HYCU

ユーザーの管理 > 新規 ? X

ユーザー名

AdminJp

認証タイプ

HYCU

HYCU ✓

OIDCユーザー

OIDCグループ

ADユーザー

ADグループ

新しいパスワード

パスワードを再入力

閉じる 前へ 次へ

グループとロールを指定します。

ユーザーの管理 > グループにユーザーを追加 ? X

ユーザーグループ - オプション

Infrastructure Group X v

ユーザーロール

管理者 v

管理者

バックアップと復元オペレーター

復元オペレーター

バックアップオペレーター

閲覧者

閉じる 前へ 保存

このユーザーグループに割り当てられた後にサインインできるよ
グループに割り当ててることをお勧めします。

権限付与

グループにアカウントが追加されました。

HYCU®

Infrastructure Group

admin

ダッシュボード

アプリケーション...

仮想マシン

ボリュームグ...

共有フォルダ

バケット

ポリシー

ターゲット

ジョブ

イベント

レポート

セルフサービス

セルフサービス

検索

Rows per page 50 | Page < 1 > of 1 | 1グループ

グループ	作成時間	ステータス	説明
Infrastructure Group	2025/9/20 13:22:28	アクティブ	

Infrastructure Group

概要

UUID 5c557144-9ec7-4a16-aacf-251c1404ebd2

作成日 2025/9/20 13:22:28

ポリシー数 5

ユーザー名	ユーザーロール	タイプ	IDプロバイダー	2FA	前回のアクセス	ステータス
admin	管理者	HYCU			2025/9/20 16:18:20	アクティブ
adminjp	管理者	HYCU				アクティブ

アップグレード（バージョンアップ）

製品のアップグレード：事前準備

事前に新しいバージョンのアップグレード用イメージをサポートポータルからダウンロードします。

※バージョン5.2.0以降からアップグレード方法が変更されました。

※作業前にバックアップするか、仮想基盤側でスナップショットを作成することをお勧めします。

事前作業

① ジョブの停止

「画面右上の歯車」→「電源オプション」に進み、「すべて一時停止」を選択の上、保存ボタンをクリックします。



電源オプション

すべて一時停止

すべてのバックアップコントローラーのアクティビティを一時停止します。現在実行中のジョブは正常に完了することができます。

☐ 以下の時間後に自動再開 1 時間

クリーンアップを一時停止

ターゲットのクリーンアップを一時停止し、有効になっている場合は、イベントとジョブのページを一時停止します。スナップショットのクリーンアップは影響を受けません。

再開

HYCUバックアップコントローラーのアクティビティを続行できるようにします。

Close

Save

製品のアップグレード

② バックアップ用として、Nutanix PrismからHYCU VMのスナップショット作成を推奨します。

③ ソフトウェアのアップグレードに進みます。



④ リリースに進み、アップグレード元で「ファイルをアップロード」を選択し、ダウンロードしたhycu-x.x.x-xxx.hyimgを選択します。最後に「ソフトウェアのアップグレード」ボタンをクリックします。



製品のアップグレード

⑤ アップグレード実行中は強制的にログオフされ、ログインはできません。
※アップグレードは5分程度で完了します。



⑥ アップグレード完了後にログインします。
画面左下に表示されるバージョンから、
x.x.x-xxxへ更新されたことが確認できます。



アップグレード完了後、Nutanix Prismで作成した
スナップショットは削除して大丈夫です。
インスタンスは次回同期時に自動的にアップグレード
します。10分程度で完了します。
インスタンスメニューから確認できます。

HYCUインスタンス						?	×
						+ 新規 削除 アップデート	
検索						Rows per page 10 Page < 1 > of 1 1	
VM名	ホスト名	ソース	ステータス	バージョン	IPアドレス		
N/A	hycuinstance		✓	5.2.1-785	192.168.146.18		

事後作業

⑦ ジョブの再開

「画面右上の歯車」→「電源オプション」に進み、「再開」を選択の上、Saveボタンをクリックします。以上です。



アップデート（修正パッチ適用）

製品のアップデート：事前準備

アップデートとは、バージョンアップではなく同一バージョン内で修正パッチを適用することであり、通常はサポートチームから提供されます。

※サポートポータルには表示されません。

事前作業

① ジョブの停止

「画面右上の歯車」→「電源オプション」に進み、「すべて一時停止」を選択の上、保存ボタンをクリックします。



電源オプション

すべて一時停止

すべてのバックアップコントローラーのアクティビティを一時停止します。現在実行中のジョブは正常に完了することができます。

☐ 以下の時間後に自動再開 1 時間

クリーンアップを一時停止

ターゲットのクリーンアップを一時停止し、有効になっている場合は、イベントとジョブのパージを一時停止します。スナップショットのクリーンアップは影響を受けません。

再開

HYCUバックアップコントローラーのアクティビティを続行できるようにします。

Close

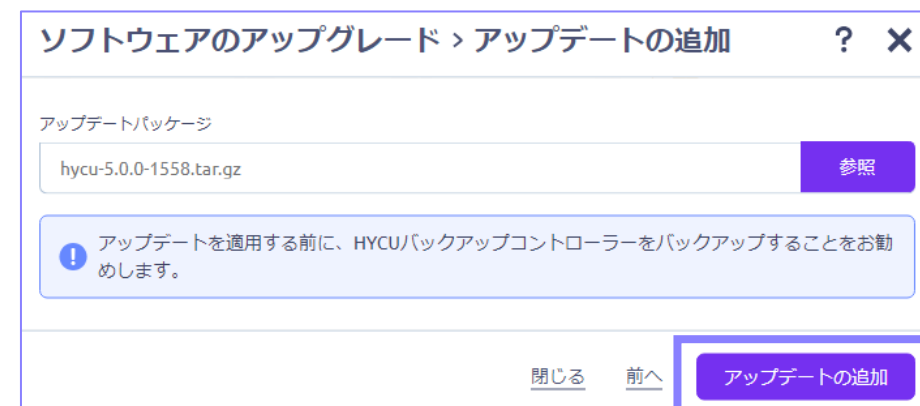
Save

アップデート（修正パッチ）の適用

② ソフトウェアのアップグレードに進みます



③ アップデートを選択し、ダウンロード済みのアップデートを追加します



アップデート（修正パッチ）の適用

- ④ 追加したアップデートを適用します。
※自動的にサインアウトします。
数分で再サインイン可能になります。
バックアップコントローラー側は以上です。

ソフトウェアのアップグレード

リリース

アップデート

+

追加

🗑️

削除

ℹ️

情報

アップデートラベル	追加日	適用
hycu-5.0.0-1558	2024/8/8	

!

アップデートを適用する前に、HYCUバックアップコントローラーをバックアップすることをお勧めします。

閉じる

アップデートを適用



- インスタンスも同様にアップデートします。
⑤ インスタンスに進みます。

Infrastructure Group

?

⚙️

クラウドアカウント	電源オプション
暗号化	シークレット管理
IDプロバイダー	SMTPサーバー設定
HYCUインスタンス	ソフトウェアのアップグレード
iSCSIイニシエーター	ソース
ライセンス	SSH認証
ロギング	SSL証明書
ネットワーク	テレメトリ
保持期限管理	

アップデート（修正パッチ）の適用

⑥ アップデートをクリックします。

HYCUインスタンス

検索

Rows per page 10 | Page < 1 > of 1 | 1

VM名	ホスト名	ソース	ステータス	バージョン	IPアドレス
N/A	hycuinstance		!	5.0.0-1491	192.168.146.18

HYCUインスタンスのバージョンがHYCUバックアップコントローラーのバージョンと異なります。HYCUインスタンスをバージョン hycu-5.0.0-1558 にアップグレードしてください。

HYCUインスタンス > アップデート

追加 削除 情報

アップデートラベル	追加日	適用
hycu-5.0.0-1558	2024/8/8	

閉じる 前へ アップデートを適用

⑦ 数分後、インスタンスメニューを再表示すると、アップデートが適用されたことが確認できます。

HYCUインスタンス

検索

Rows per page 10 | Page < 1 > of 1 | 1

VM名	ホスト名	ソース	ステータス	バージョン	IPアドレス
N/A	hycuinstance		✓	5.0.0-1558	192.168.146.18

以上でアップデート作業は終了です。

事後作業

⑧ ジョブの再開

「画面右上の歯車」→「電源オプション」に進み、「再開」を選択の上、保存ボタンをクリックします。以上です。



セルフサービス

①グループ「テナントA」の作成

The screenshot displays the HYCU Self-Service portal. The left sidebar contains navigation links: ダッシュボード, アプリケーション, 仮想マシン, ボリュームグループ, 共有フォルダ, ポリシー, ターゲット, ジョブ, イベント, レポート, and セルフサービス (highlighted). The main content area is titled 'セルフサービス' and shows a table of groups. A modal window titled '新しいグループ' is open, with the following fields:

- 名前: テナントA
- 説明 - オプション: (empty)
- 詳細設定 ^
- 自動割り当て ①: (empty)
- キー: (empty) : 値: (empty) [追加]
- TAGS: (empty)
- 閉じる [保存]

Red text overlay: ハイパーバイザー側のカテゴリ、VMタグ、カスタム属性を指定することで、テナントにVMを自動割り当てすることもできます。

②テナントAへアカウントを追加

HYCU®

Infrastructure Group

admin

ダッシュボード

アプリケーション

仮想マシン

ボリュームグループ

共有フォルダ

ポリシー

ターゲット

ジョブ

イベント

レポート

セルフサービス

検索

Rows per page 50 | Page < 1 > of 1 | 2グループ

グループ

作成時間

ステータス

説明

Infrastructure Group

2024/1/16 22:37:01

アクティブ

テナントA

2024/1/17 10:36:02

アクティブ

グループにユーザーを追加

ユーザー名

tenantadmin

ユーザーロール

管理者

閉じる

ユーザーを追加

グループに追加

グループ内のロールの変更

グループから削除

タイプ

IDプロバイダー

2FA

前回のアクセス

ステータス

表示する項目がありません。

概要

UUID

作成日

ポリシー数

非標準のポリシー数

3

0

③リソースをテナントAに割り当て

The screenshot displays the HYCU console interface. The top navigation bar includes the HYCU logo, the user 'admin', and various utility icons. The left sidebar contains a menu with options like 'ダッシュボード', 'アプリケーション', '仮想マシン', 'ボリュームグループ', '共有フォルダ', 'ポリシー', 'ターゲット', 'ジョブ', 'イベント', 'レポート', and 'セルフサービス'. The main content area is titled '仮想マシン' and shows a table of virtual machines. A modal window titled 'グループ' (Group) is open, displaying a search bar and a list of groups, with 'テナントA' (Tenant A) selected. The modal also includes buttons for '閉じる' (Close), '割り当て解除' (Remove Assignment), and '割り当て' (Assign).

HYCU® Infrastructure Group admin

バックアップ 資格情報 ポリシーの割り当て 検証 構成

選択済: 3 X Rows per page 50 Page < 1 > of 1 | 1グループフィルター済

所有者

仮想マシン

検索

名前	ソース	ポリシー	コンプライ...	保護	検出	資格情報ク...	検証	所有者
☐ hycubackup	ntcluster	?	?	?	?	?	?	?
☒ SVR01								
☒ SVR02								
☒ SVR03								
☐ SVR04								
☐ SVR05								
☐ SVR06								
☐ WINSVR1								
☐ WINSVR10								
☐ WINSVR11								
☐ WINSVR2	ntcluster	?	?	?	?	?	?	?
☐ WINSVR3	ntcluster	?	?	?	?	?	?	?

グループ

検索 Rows per page 50 Page < 1 > of 1 | 1グループフィルター済

名前 説明

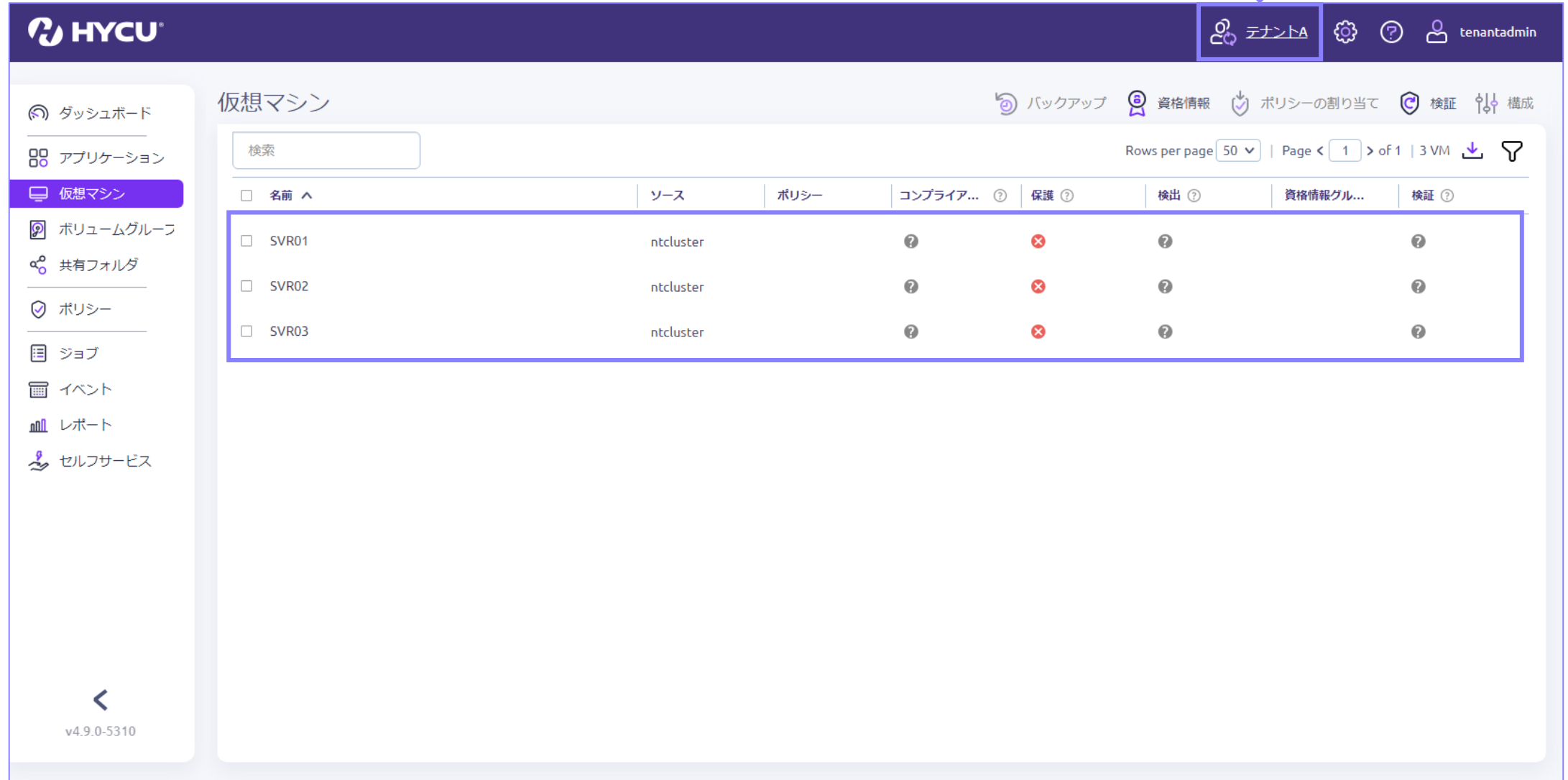
テナントA

閉じる 割り当て解除 割り当て

v4.9.0-5310

④テナントAのアカウントでサインイン

テナントAに割り当てられたリソースのみ表示される



HYCU

テナントA

tenantadmin

ダッシュボード
アプリケーション
仮想マシン
ボリュームグループ
共有フォルダ
ポリシー
ジョブ
イベント
レポート
セルフサービス

仮想マシン

検索

Rows per page 50 | Page < 1 > of 1 | 3 VM

☐ 名前	ソース	ポリシー	コンプライア...	保護	検出	資格情報グル...	検証
☐ SVR01	ntcluster		?	×	?		?
☐ SVR02	ntcluster		?	×	?		?
☐ SVR03	ntcluster		?	×	?		?

<
v4.9.0-5310

※既定では全てのポリシーが表示されるため、グループ毎に表示するポリシーを制限する場合は次の手順を実行してください。

HYCU®

テナントA

tenantadmin

ダッシュボード

アプリケーション

仮想マシン

ボリュームグループ

共有フォルダ

ポリシー

ジョブ

イベント

レポート

セルフサービス

ポリシー

既定に設定

検索

Rows per page 50 | Page < 1 > of 1 | 4 ポリシー

名前	コンプラ...	VM数	アプリ数	共有フォ...	VG数	説明
Bronze	✓	0	0	0	0	Backup every 24h, recover within 24h
Exclude	✓	0	0	0	0	Backup not required.
Gold	✓	0	0	0	0	Backup every 4h, recover within 4h
Silver	✓	0	0	0	0	Backup every 12h, recover within 12h

Bronze

概要

UUID 5e9bfa53-871d-4aa2-a343-a0f61...

バックアップ Yes

バックアップターゲット... TARGET

バックアップ頻度 ② 1 days

復旧時間 ② 1 days

ポリシー適用のアイテム

0

仮想マシン 0

共有フォルダ 0

アプリケーション 0

ボリュームグループ 0

<

v4.9.0-5310

⑤グループに割り当てられたリソースのみ表示する

- ① HYCU Backup ControllerにSSH接続
ユーザー名：hycu
パスワード：hycu/4u
- ② `sudo nano /opt/grizzly/config.properties`を実行します
以下のパラメータを追加します
`policies.group.specific.synchronized=true`
`CTRL + X`を入力し、次の確認で`Y`を入力し保存します
- ③ `sudo service grizzly restart`コマンドでgrizzlyサービスを再起動し、
SSHセッションを終了します

⑥テナントアカウントでログインした画面

テナントA

tenantadmin

ダッシュボード

アプリケーション

仮想マシン

ボリュームグループ

共有フォルダ

ポリシー

ジョブ

イベント

レポート

セルフサービス

v4.9.0-5310

ポリシー

既定に設定

検索

Rows per page 50 | Page < 1 > of 1 | 1 ポリシー

名前

コンプラ...

VM数

アプリ数

共有フォ...

VG数

説明

Exclude

0

0

0

0

Backup not required.

Exclude以外のポリシーが表示されなくなります

Exclude

概要

UUID 1d8e2971-df69-47cb-9046-ee83...

ポリシー適用のアイテム

0

仮想マシン 0

共有フォルダ 0

アプリケーション 0

ボリュームグループ 0

⑦Admin（管理者）アカウントでサインインし、ポリシーを作成

※名前規則：グループ名_ポリシー名

The screenshot displays the HYCU web interface. A modal window titled "新しいポリシー" (New Policy) is open, allowing the creation of a new backup policy. The "名前" (Name) field is populated with "テナントA_バックアップ". The "説明 - オプション" (Description - Options) field is empty. Under the "オプション" (Options) section, the "バックアップ" (Backup) option is selected, along with "コピー" (Copy), "アーカイブ" (Archive), "FAST RESTORE", and "BACKUP FROM REPLICAS". There is also an "自動割り当て" (Automatic assignment) button. The "バックアップ" (Backup) section shows "バックアップ頻度" (Backup frequency) set to "1" and "週" (Weekly), and "復旧時間" (Recovery time) set to "1 days". The background shows the "ポリシー" (Policies) page with a list of policies and a sidebar with navigation links.

⑧再度テナントアカウントでサインイン



テナントA

tenantadmin

ダッシュボード

アプリケーション

仮想マシン

ボリュームグループ

共有フォルダ

ポリシー

ジョブ

イベント

レポート

セルフサービス

ポリシー

既定に設定

検索

Rows per page 50 | Page < 1 > of 1 | 2 ポリシー

名前	コンプラ...	VM数	アプリ数	共有フォ...	VG数	説明
Exclude	✓	0	0	0	0	Backup not required.
テナントA_バックアップ	✓	0	0	0	0	

Exclude

概要

UUID1d8e2971-df69-47cb-9046-ee83...

0

仮想マシン0

共有フォルダ0

アプリケーション0

ボリュームグループ0

「グループ名_ポリシー名」の
ポリシーだけが表示されます

<

v4.9.0-5310